

叢 稼
書 堂

錦 繡 段 俚 鮮 上

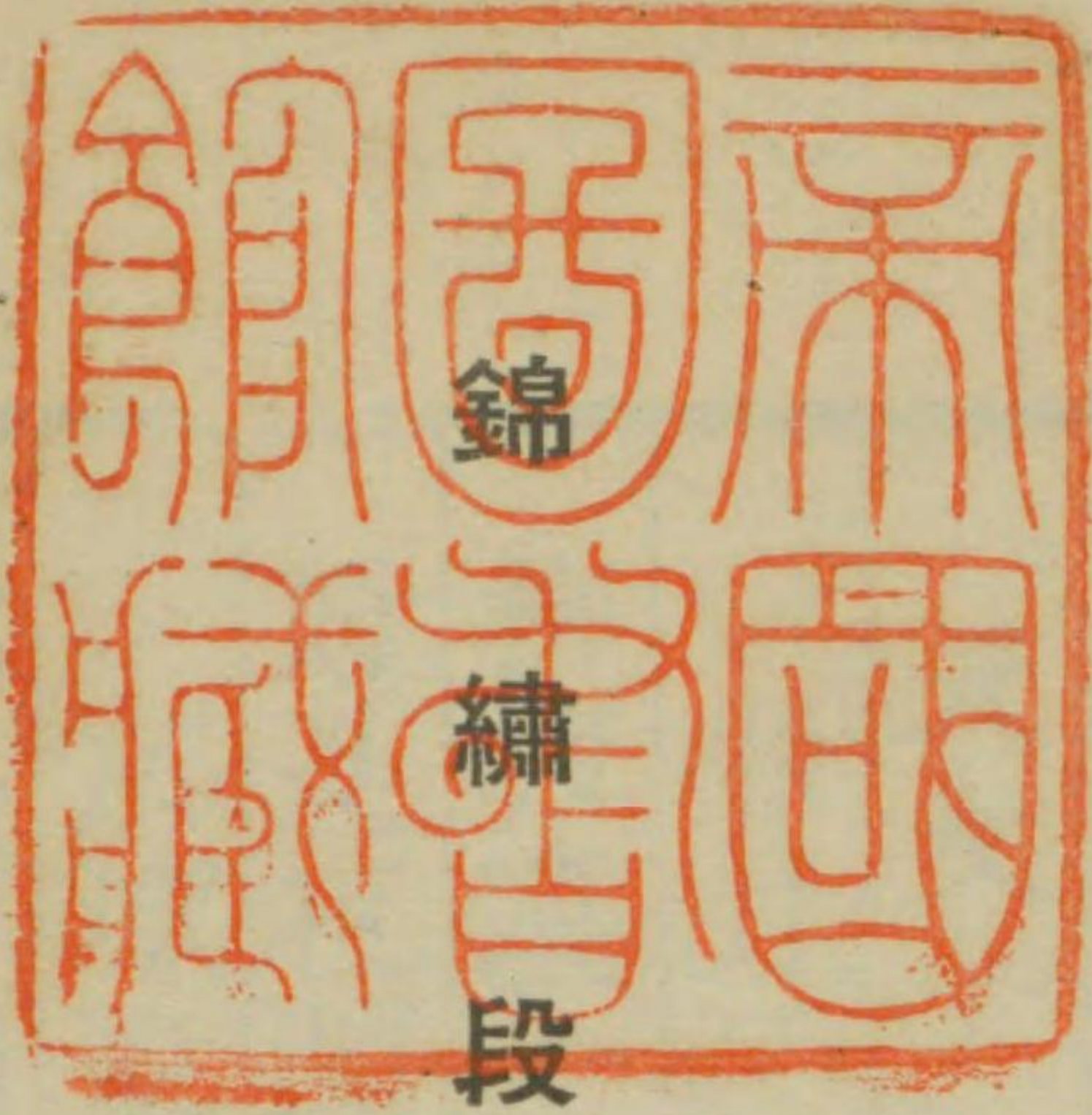
56
113

156-113



1200901380861

5



錦

藏

段

俚

解

上



新刊錦繡段

天文

春月

呂中孚

柳塘漠二暗啼鴉

一鏡晴飛玉有華

好是夜闌人不寤

半庭寒影三梨花

京城翫月

盧登舟

秋滿西湖月正圓

家二醉賞倚欄干

西風茅葦長淮地

應有征人帶淚看

錦繡段者東阜天隱之所編而未有刊
行茲悉取載籍文字鏤一字於一梓某
布諸一版印一紙纔改某布則渠祿亦
莫不適用此規模頃出朝鮮傳達
天聽乃依彼樣使工摹寫焉
叡恩厚在擬周詩六義教以化之家藏
人誦傳之不朽云

慶長第二歲在丁夷則下澣

臣僧南禪靈三誌焉

右靈三和尚ノ跋ニモ粗云ル如ク、後陽成帝ハ好學ノ君ニマシノ、
テ、夙ニ典籍ノ流布ヲ圖リ給ヒ、木活ノ字ヲ製セシメ、朝鮮ノ排字
法ヲ用テ、種々ノ書ヲ刊行セシメ、公卿僧侶等ニ下賜シ給ヒシ者、
今猶存ス、世ニ之ヲ慶長ノ勅版本ト稱ス、ソレヲ京師ノ鈴鹿三七
氏、影寫シテ、勅版集影トシタルヲ、友人谷村秋村君、態々更ニ一
二葉寫シテ示サレタル、今此ニ載セタル者はナリ、則チ拙著ヲシテ
九鼎大呂ヨリモ重カラシメタルハ、秋村君ナリ、余茲ニ深クソノ厚
意ヲ謝ス、

錦繡段俚解上目次

後陽成天皇勅版卷首并南禪寺僧靈三跋影寫

卷	一	天文	二十二首	地理	十五首	節序	三十二
卷	二	懷古	上二十七首	題詠	附		
卷	三	懷古	下四十六首	同			

錦繡段俚解叙

本編ハ、建仁寺天隱老ノ選ニシテ、ソノ徒、月舟和尚之カ抄ヲ作ル、天隱名ハ龍澤、默雲ト號ス、文明頃ノ僧ナリ、其言ニ云、詩者非吾宗所業也。雖レ然。古人曰。參レ詩如レ參レ禪。詩也禪也。到ニ其悟入。則非ニ言語所及也。又云。華晨月夕。手レ之口レ之。則詩之外無レ禪。禪之外無レ詩。於是始知淵明之詩有ニ達磨骨髓。后山之詩有洞家玄妙也。ト云リ、ゲニモ、此言ノ如ク、天地風雲、禽獸草木、琴碁書畫、歌舞戰鬪、渾テ參透セハ、何物カ禪ナラサラン、何事カ詩ナラサラン、吾、洛北大德寺ノ龍源院ニ寓スルコト年アリ、丈室ヲ參雨軒ト云フ、陸放翁カ詩ニ、老去同參唯夜雨、焚レ香臥聽畫簾聲。トアルニ取レルナリ、吾、之ヲ見テ、フト其集ニ思及ヘトモ、其本ナシ、因ツテ眞珠庵ノ宗壽和尚ニ借テ一讀ス、詩ノ數、凡二百餘首、多クハ宋、元ノ詩ヲ采ル、宋、元ノ詩ハ、理窟ニシテ、詩家ノ粉本トスヘキモノニハアラス、シカルヲ、五山ノ僧モ、宋元ノ習氣ヲ脱セサレハ、自然此種ノ詩ヲ好ミシ、ト見エテ、弃玉取石ノ類、極テ多シ、サレバ、本編ハ、既ク世ニステラレテ、今ハ、ソノ名

ヲダニ知ルモノモナキカ如クナレトモ、黑白相映シテ、其色愈明カニ、巧拙相照シテ、悟入自ラ深カルヘク、且又足利ノ末ヨリ、徳川ノ中世、唐詩選ノ行ハル、マテハ、三昧詩ト共ニ學者ノ徧ク玩ヒシ者ナレハ、カタク一讀ノ要ナキニアラス、因テ今茲消暑ノ閑ヲ偷ミ、且誦シ且抄シ、以テ此俚解ヲ作ル、是唯詩禪ニ參スルノ意ニ發セシノミニアラス、一ハ此集ヲ以テ它山ノ石トセハ、詩人ノ玉ヲ攻クニ少補ナキニシモアラジ、ト思ツレハナリ、學者夫コレヲ察セヨ、

庚戌歲秋八月立秋ノ後一日、化道人松月居東窓ノ下ニ識ス、

錦繡段俚解卷一

○天文二十一首

春月

呂中孚

柳塘漢々暗啼鴉。一鏡晴飛玉有華。好是夜闌人不寢。半庭寒

疎影在梨花。

夜闌ノ月ヲ賞スルナリ、漠々ハ、煙ノ形也、一鏡ハ、月ノ出ツルトキノサマ也、月ノ出ツルトキハ、大ケクミユルモノ故ニ、鏡ニミタテタリ、玉ハ、中天ニ到リシトキノ形ナリ、月、中天ニ到レハ、小サクミユルモノ故ニ、玉ニミタテタリ、華ハ、花ヤカナルナリ、半庭ノ寒影ハ、月既ニ西ニ傾キテ、庭ノ半ヲ照ス也、ソノ頃ニナレバ、ヒヤノスルモノ故ニ、半庭ノ寒影トハ云ルナリ、柳塘ノ邊リニ、暮煙棚引テ、柳ニスメル鴉ノ聲ハ、聞ユレトモ、形ハミエス、イト薄暗キ夕陰ナレハ、月モ程ナク出ツヘシ、ト待ケルホトニ、月ホノノト、東山ノ上ニ出ツレハ、煙モ次第ニ、收マリテ、晴ユ

ク空ニ、鏡ノ如クミユル月ノ飛フカ如ク、ハヤ中天ニ至テ、玉ノ如ク、極テ花ヤカナ
 リ、サレド、宵ノ間ハ、何トナウ物騒々シク、月モサエキラネハ、夜闌ノ月コソ、ト
 寢モネス、詠ムルホトニ、ハヤ西ニ傾キテ、人モ静マリ、月モ清ミテ、シカモ雪ヲ欺
 ク梨花ノ上ニ、影ノオチクル、身モ寒ク覺ユル景色、一段ト面白ゾ、トナリ、好是ノ
 二字、ソノ意ヲ知ラセタリ、起ハ、暮景、承ハ、月ノ旋轉、轉ハ、夜闌、結ハ、月ノ
 清景、上二句ハ、客、下二句ハ、主、漠々ノ字ヲ出シテ、煙ノ字ヲカクシ、暗ノ字ヲ
 出シテ、暮方ヲ見セ、鏡玉ノ二ツヲ以テ、月ノ大小ヲ寫シ、半庭ノ二字ヲ以テ、西ニ
 傾クノ景色ヲ示シ、且柳塘梨花、晴鏡玉華、啼鴉寒影上下映帶、人ヲシテ玩嚼ニタヘサ
 ラシム、是此詩ノ妙處、抄ニ、此詩ハ、動靜ノ二ツヲ作タゾ、一二ハ動、三四ハ靜ゾ、
 トイヘル、ソノ旨ヲエタリ、東坡ノ詩ニ、春宵一刻價千金。花有清香二月
 有陰。王荊公カ詩ニ、春色惱人眠不得。月移花影上欄干。晏元獻カ詩ニ、
 梨花院落溶々月。柳絮池塘淡々風。ナト云ル、是ソノ粉本、中孚、字ハ信
 臣、冀州南宮ノ人、科擧ヲ好マス、詩文ヲ以テ自娛ム、清潭集アリ、世ニ行ハル、紅

葉ヲ賦シテ云、張園多古木。蕭寺半斜陽。ト抄ニヒケリ、

京城翫月

盧登甫

秋滿西湖月正團。家々醉賞倚欄干。西風茅葦長淮地、應有征
 人帶淚看。

名月ヲ賞シテ征人ヲ思フナリ、抄ニ、西湖ハ杭州ノ錢塘縣ニアルヲ第一トス、宋南渡
 ノ後、コ、ニ行宮ヲオケリ、故ニ京城ト題シテ、西湖ヲ云ルカト云リ、長淮ハ北地ニ近
 ク、時ニ兵亂ウチ續イテ、月見ドコロデハ、ナカリシナリ、然ルニ心ナキモノハ、所ハ
 西湖、月ハ滿月、ト家々月見ノ宴ヲ張テ、タワイモノナキ姿ナリ、何ソ知ラン、
 ノ生茂レル長淮ノアタリハ、盡ク戰圖ニ入テ、幾万ノ兵士ハ、皆カワイ妻子ヲオキテ、
 軍ニ從フコトナレハ、秋風ノ吹キサムニ、此月ヲミハ、イカ斗悲シカルラント、想
 トヒヤリテ作りシナリ、一月ミバト、契リオキテシ、故郷ノ、人モヤ今夜袖ヌラスラン、
 ヨミシ歌ニヨク似タル詩ナリ、西湖長淮。團月西風。家々征人。醉賞帶

涙。兩々反映。字々含涙。是仁者ノ作ナリ、吾日露ノ戰役中ニテメラ、都ノモノハ、大カタ、カ、ル爲体ニシテ、有心ノ人ヲシテ眉ヲヒソメシメタリ、何國ノ地、イツレノ世ニテモ、俗情ニハ、カハリナキモノトミユ、

月

袁郊

嫦娥窃藥出人間。藏在蟾宮不放還。后羿徧尋無覓處。誰知天上亦容奸。

月ノ傳奇ヲノベテ、人間ニ姦物ノ多キヲ云ルナリ、昔、羿ト云后アリ、其妃ヲ嫦娥ト云、羿、不死ノ藥ヲ、西王母ヨリ賜ハル、嫦娥ソレヲ窃ミテ、月宮ニワシリ、蟾蜍トナリシトナリ、是ハ月ノ變ハラヌコトヲ云ルナリ、ヒキガヘルトナリシトハ、月中ノ兎ト云ト同シク、月ノ陰影ヲ象トルナリ、蟾宮ハ、月宮ナリ、徧尋ハ、人間界ヲナリ、第三句ハ、第一句ノ人間ヲウケ、第四句ハ、第二句ヲウケテ云リ、人間界ニ姦物ノ多キハ、當然ジャ、天上界ニモ、姦ヲ容ル、ニ非スヤトナリ、通篇理窟ニシテ、詩ニアラ

ス、只七言ニ字ヲ並ヘタルマテナリ

聽雨戲作

陸務觀

少年交友盡豪英。妙理時々得細評。老去同參唯夜雨。焚香卧聽畫簾聲。

老來友トスル者ハ、タゞ夜雨ノミト戯レニ作レルナリ、年ハ老テモ、友ノナキ身デモナクテ、唯夜雨ノミシタハシキニヒカレテ、カクイヘル故ナリ、妙理ハ、詩文ナトノナルヘシ、同參ハ、禪語ナリ、傳燈錄ニ、馬祖同參九人トアリ、畫簾ノ聲トハ、雨ダレノ聲ヲ云ナルヘシ、若イ時ハ豪英ノ人ニ交ハリテ、詩文ナトノ妙理ヲ互ニ論シアヒタレトモ、老テノ後ハ、サル友モ來ラス、我ヲオトナフ者トテハ、タゞ夜雨ノミト思ヘハ、香ヲタイテ佛ニ向ヒ、畫簾ヲメグル雨ダレノ聲ヲキ、ツ、禪理ニ參ストナリ、少年老去、交友同參、豪英夜雨、妙理焚香、細評臥聽ノ用字、左右照應、是ソノ結構、余紫林ノ山中ニ寓スル、夜ナドハ、友トスルモ、ノ晴ニハ恠鳴ノ聲、雨ニハ点滴ノ音

ヲ、天井ノ上ニキク、此ヨリ外ニ伴フモノハ、只吾影ノミ、放翁ハ、コノ境界ヲ戯レテ作リシカトモ、吾ニ於テハ、真境ナリ、ヨツテ「玉簾ノ軒端ノ雨モヨモスカラコトバフ友ノ數ナラメヤハ、ト口占シコトモアリツレト、知ル者ハシル、知ラサル者ハシラス

又

同

遶檐點滴如琴筑。支枕幽齋聽始奇。憶在錦城歌吹海。七年夜雨不曾知。

幽齋夜雨ノメヅラシクキコエタルヨリ、俗吏ニ身ヲナガク委ネシヲ悔イタル也、錦城ハ、蜀城ナリ、江山明媚、錯華如錦トテ、カク名ツケシ也、成都府ニアリ、放翁ハ、七年間、ソノ府ノ太守ヲ務メシナリ、成都ハ、繁華ノ地ニテ、藝妓舞子ノ歌吹、海ノ如ク、二六時中、キクモノトテハ、琴三味線ノ嘈雜ノミ、殊ニ家々ノ軒端ニハ、樋ヲカケタル故、雨ハフレトモ、点滴ノ聲モセス、カ、ル騒カシキ中ニ、月日ハ早イモノジヤ、昨日來タト思フホドニ、ハヤ足カケ七年、コノタビ暇ヲ乞テ、國許へ歸リ、幽齋ノ下

ニ臥シ、枕ヲサ、ヘテキケハ、軒端ヲメクル点滴ノ聲ハ、サナカラ琴筑ノ如ク、今更ノヤウニ、メツラシク思フナリ、カ、ル幽味ノ深キ者トモ知ラス、七年ノ間、俗吏ニウキミヲヤツシテ、歌吹海裏ニ沈ミキタリトハ、返ラヌコトナレトモ、悔シウ覺ユルゾトナリ、イカサマ、コノ通ニテ、カ、ル處ニ浮沈シテ、何トモ思ハヌハ、若イトキノ事ナリ、一朝ソノ愚ナルコトヲ思ヘハ、一時モ、スマレヌモノナリ、吾等ハ、京ニハ長ク住メトモ、紫林ノ山中ニアレハ、雨垂ノ聲ハ、珍シカラス、ソレ故ニ、ヨリノ故山ノ草廬ニカヘリヌレトモ、サシテ奇ナリトモ覺エス、シカルニ、余ガシレル人ノ、二條大宮ニスメルカ、寓院ニキテ、雨垂ノ聲ヲキ、テ、サテ久シブリニ、雨ダレノ聲ヲキ、ツ、トヒタブルニナツカシガリシハ、放翁ノ境界ニスメル故ナルヘシ、此詩ハ至テ巧ミナル作ナリ、通篇逆叙ナレハ、下ノ句ニ、ヨミ至テ、上ノ句意、始メテソレト知ラル、也、思ヘハ、錦城ノ歌吹海ニ、七年間キテ、夜雨ノ幽味ヲ覺エサリシ故、コタヒ幽齋ニテ、キクノ奇ナルヲサトルナリ、聽テ奇ラシク覺エシ故、ワラヤノ雨ノ音モ、琴筑ノ如ク、錦城ノ歌吹ニモマサルベウ聞キナサル、ナリ、点滴夜雨相

應シ、幽齋錦城相反シ、琴筑歌吹相映シ、聽始奇、不曾知、相對ス、放翁名ハ游、字ハ務觀、詩ハ曾茶山ニ本ツキ、茶山ハ韓子蒼ニ本ツク、三家句律相似テ、放翁ハ豪ヲ加フト云リ、

夏雨

孟叔異

倏然一雨送輕颺。客夢驚回夜寂寥。剛道是晴還未信。檐聲和月、落芭蕉。

^{ユフタチ}夕立ノ忽降り忽晴ル、ヲ云ナリ、脩、音ハシウ、颺ハ、ハヤチナリ、剛道ハ、ヤカテハレタカト思フナリ、和ハ、與ノ心ナリ、一粒^{ヒトツブ}ノ雨ハラ〜トフリキタト思フホトニ、サト風ノ吹キクルサマナリ、山雨欲來風滿樓ノ心也、ソノ涼シサニ、夢サメテ、アタリヲミレト、旅寢ノ床ナレハ、語ラフ人モナク、夜ハ至テ物淋シキ体ナリ、^{ハヤ}早ハレタカト思ヘトモ、又サリトモ信ゼラレズ、檐ヲメグル聲ノ芭蕉ニカ、ルヲキケバ、マダ晴レヌナリ、晴レヌカト思ヘハ、月影ノ芭蕉ニウツルガ見ユトナリ、是ネボ

ケノ情况ニシテ、即チ夕立ノケシキヲ寫セルナリ、驚ノ字、意ヲツケテ見ルヘシ、ビツクリシテサメタルハ、眞ノサメタルニアラス、下句ノ半信半疑ハ、此字ヨリ出來ル也、一雨輕颺、客夢寂寥、剛道未信、檐聲和月、其字ヲ下スノ妥當ナルヲ看ヨ、

中秋雨

張子^{一作龍}

雨聲敲作桂花寒。書伴孤灯照老顏。月色正供金闕宴。分光應不到人間。

中秋ノ無月ヲ詠シテ、諷意ヲ含メル也、敲クハ、桂花ヲウツナリ、照スハ古書ノテラス也、孤灯ヲ云ニアラス、孤燈ハ、書ヲ照シ、古書ハ、ソノ顔ヲ照スナリ、文天祥ガ正氣歌ニ、古道照顏色トアリ、是ソノ意ナリ、金闕ハ、天帝ノ宮ヲサス也、雨聲ハツ〜ト桂花ニカ、リテ、ウタ、寒サヲ催シ、今夜ハ、中秋ナレトモ、月ミエザレバ、孤燈ヲ点シテ書ヲヨム、古書ノ老顔ヲテラスノ樂ハアレトモ、月見ノ酒ヲクムノ樂ハアラズ、サレバ、今宵ノ月ヲ賞スルハ、アノ雲ノ上人^{ウヘヒト}ノミデ、人間ハソノ光ヲ

コトハ叶フマジキナリ、ア、世上ノ富貴ナル人ハ、日ニ游宴ニフケリ、貧賤ナルモノハ、ワケテ賜ハル常ニ窮餓ニ泣クモ、コノ通ジヤト、上ノ人ヲ諷スルノ意、言外ニアリ、且ヘ承句ノ書伴云々ト云ル、尤味アリ、讀書三昧、白首ニ至ルトモ、何ノ益カアル、徳孤ナラストイヘトモ、讀書隣ナシ、書中ニ富アリトイヘトモ、學者常ニ貧ナリ、只古書ノ孤灯ニ伴テ、老顔ヲ照シ、其心ヲ慰ムルノミニテ、カノ金闕ノ宴ニアツカリテ、榮耀ヲ極ムル者ハ、多クハは無學無識ノ俄分限者ノミナリトナリ、又按スルニ、金闕ヲ直ニ王宮トシ人間ヲ下民トミルモ亦通ス、

雨意

鄭清之

雲頭點地黑如黦。雨脚粘天未肯飛。待得風師來判斷。一齊併作晚涼歸。

雨模樣シテ終ニフラザリシヲ寫セル也、雨意ハ、アメモヤウ也、ユキモヤウヲ雪意ト云類也、黦ハ、音イナリ、黒キ木ナリ、黒色ニタトフル也、風師ハ、雨師ナト云類ニシテ、人ニタトヘシ也、今コ、ニ風師ノ字ヲ下シタルハ尤ヨシ、昔ハ裁判官ヲ士師ナト

云リ、判決ヲ下スナレハ、此字大ニ働ケリ、雲ノ頭ハ、地ニツイテ、黒クシテ動カス、雨ノ脚ハ、天ニヒツ、イテ、フリサウデフラズ、タ、何トナク、ムシヌクウアルホドニ、風ノ判官キテ、今日ハ雲雨無用ナリトノ判決ヲ下シケレハ、雲助ノ動カヌモノモ、動キ出デ、雨公ノ飛ハヌ者モ、トビ出テ、裁判所ノ前、一時ニ開ケタルヤウニ、一陣ノ風ニ吹拂ハレテ、雲助モ雨公モ、一齊ニ山ニ歸リ、サラリト涼シクナツタトナリ、何ダカ造リ花ミタヤウナル詩ニシテ、一向ニ面白キ處モナキニ、末一句下シエテ、ヤウノニ生氣ヅキタルコ、チスル詩ナリ、

天陰

趙仁甫

數日陰晴斷復連。不成輕暑不成寒。天公亦似摸稜手。欲雨欲晴持兩端。

數日ノ頑陰ヲ寫セルナリ、斷連ハ、陰タエテ晴ツラナル也、晴タエテ陰連ナル也、晴斷テ陰連ナル故、輕暑ヲモナサヌ也、陰斷テ晴連ナル故、輕寒ヲモナサヌ也、摸稜手

ハ、蘇味道ノ故事、新唐書列傳卷三十九、味道傳ニ、味道相位ニアリタレトモ、カツテ發明スルコトモナク、只脂韋自營ムノミ、カツテ人ニ謂テ云、吾ハ事ヲ決スルニ、明白ヲ欲セス、モシ誤ラハ、悔アラントテ、人ニ尋ネラル、コトアレハ、兩手ニテ床ノ兩端ヲ摸^ナデ、ムジ^ノセシカバ、時ノ人嘲リテ摸稜手トイヘルトゾ、今、天公モ、味道ニ似テ、晴陰ノ兩端ヲ持シ、毎日々々晴^{フリ}モセス、雨モセズトナリ、例ノ理窟一遍ノ作ニシテ、天下ノ惡詩也、

雷

韓致光

閑人倚柱笑雷公。又向深山霹怪松。必若有蘇天下意。何如驚^{スルニ}起武侯龍。

落雷ノ功ナキヲ笑フ也、閑人ハ、自道^イフナリ、倚柱ハ、夏侯玄カ故事、世說ニ、玄嘗テ柱ニ倚テ書ヲヨム、時ニ暮雨霹靂、ソノ倚^{モタ}レタ柱ヲヒキサキタルニ、玄神色變セザリキトナン、第二句ノ又ハ、其柱ヲ裂キタル上ニ、又深山ノ怪松ヲ引裂クトナリ、必

若ハ、恐クハ倒ナルヘシ、武侯龍ハ、韻ノ爲メ臥龍ノ武侯ヲ倒セシ也、雷公モ、沒分曉ジヤ、柱ヲサキタリ、老松ヲ折ツタリスルヨリ、モシ天下ノ蒼生ヲ蘇セシメントノ意アラバ、臥龍ノ諸葛武侯ノヤウナル人ノ、山中ニカクレキル傍ニ落チテ、驚起セシムルニ如クマジキニ、イタツラナル事ヲスル者カナ、ト雷公ヲ笑フナリ、盖今ノ君、夏侯玄ノ如キ人ヤ、怪松ノ如キ人ヲ用給ハサルニハアラネトモ、眞ニ天下ノ塗炭ヲ救ハントナラハ、諸葛武侯ノ如キ人ヲ起用スヘキモノヲトノ諷意ニシテ、思フニソノ頃、是ラニタトヘタル人ノ居タリシナルヘシ、

江霧

蕭則陽

紛々一氣裏長空。絕與鴻濛未判同。無數過船看不見。人聲却在^ニ櫓聲中。

河霧ニカクレテ船ノミエサルヲ寫セルナリ、鴻濛ハ、自然ノ天氣トアツテ、鴻濛未判ハ、天地ノ始マリヲ云ナリ、イツレヲソレト見エワカヌハ、天地ノ開ケザル時ニ同シト

也、人聲櫓聲ハ聞ユレトモ、無數ノ船ハ、一艘モミエストノ意ナルヘキニ、人聲却在櫓聲中ト云ルハ、イカニゾヤ、行舟ハ人聲ニヨツテ認ムヘケレトモ、人聲ハ櫓聲ニマギレテ聞エネハ、畢竟、櫓聲ノミ、キコユトノ意ニヤ、

春雪

欲積高深自不成。霏々連日尙縱橫。隨風強學楊花舞。使向櫓間作雨聲。

春雪ノフルアトヨリ消エユクサマヲ寫セルナリ、春ナレハ高ク深クツモラントストモ、オノツカラ消エテ積ラヌニ、毎日々々チラ／＼ト縦ザマ横ザマニ、尙フリキタル、ソノ風ニ隨テ輕クチルサマハ、揚花ノマフニ似テ、軒バノ上ニ積リシヨ、トミレハ、早消エテ雨垂トナルト也、自、尙、強、便ノ虚字ヲ以テ斡旋シテ、其融解ノ速キヲ寫セル、妙々、且起結照應常蛇ノ勢ヲナセルモ、法トスヘシ、

又

同

眼看平。白失前坡。三日青松奈老何。昨夜東風消不盡。古墻陰處曉猶多。

春雪ノ多キヲ寫セルナリ、奈老何トハ、青松モ眞白ニナツテ、白髮ノ老人ニナリタルヲイカニセントナリ、平白ノ二字、一篇ノ眼目ニシテ、通篇之ヲウツセルナリ、前坡ハ遠、古墻ハ近、白青夜曉、各相對ス、

夜雪

宋壺山

雪眼羞明夜轉飛。梅花未覺竹先知。一爐柴火三盃酒。誰記山陰有戴逵。

夜雪ニ閉籠メラレテ訪フ人モナキヲカコツ也、羞明ハ、マブガルナリ、二ノ句ハ、梅ノ覺エズ、竹ノ先ツ知ルト云ニアラス、梅花ハ白キ故、ソノ上ニ雪ノフルトモ覺エス、竹ハ青キ故、ソノ上ニカ、ルヲミテ雪ノフリケルヲ先ツ知ルトナリ、誰記ハ、誰モ山陰ノ風流ヲ追テ尋ヌルモノナシトナリ、山陰ハ、王子猷カ故事ニテ、戴安道ニ壺山

ソノ身ヲタトヘシ也、雪ノ眼ハ、日ノ中ヲマブガリテ、夜ニ入テ次第々々ニフリケルガ、梅花ノ上ニハ、夫トモミエス、青竹ノ上ニゾ、先ヅ知ラル、コノ寒夜ヲ凌カントテ、圍炉ニ柴ヲリクベテ、三杯ノ酒ニ暖ヲトルコノ身ヲ、誰一人訪クル者モナイト、獨夜ノ淋シキヲカコテル也、

五星

謝疊山

五緯煌々聚在秦。項王稱霸沛公臣。誰知四百年天下。已屬寬仁大度人。

五星ヲ觀テ沛公ノ天下ヲトルヲトセシヲ敍スル也、五緯ハ五星ナリ、星ノ定レルヲ經トシ、動クヲ緯トス、五星ハ歲星、熒惑星、太白星、辰星、鎮星ナリ、漢元年十月、五星、東井ニ聚マル、ト史ニミユ、東井ハ、秦ノ地ナリ、故ニ秦ニ在リト云リ、其時、項王ハ霸王ト稱シ、沛公ハ其臣ト稱セシガ、何ソ計ラン、天下、此沛公ニ屬シ、漢業四百年ニ傳ハルトハ、トナリ、寬仁大度ハ、沛公ノ偽善ニテ、天下ノ英雄モ庶民モ、

コノ寬仁大度ニタバカラルトモ知ラス、五星ノ東井ニ聚ルナド言立テ、沛公ノ天下ヲ取ルコトヲ祈リシハ、項王ガ亡秦ノ二ノ舞ヲナシ、ニヨルノミ、

清明雨

項庾老

三分春色二分塵。天到清明濁更昏。行客要尋沽酒處。被雲偷却杏花村。

清明頃ノ鬱陶シキ煙雨ノケシキヲ敍フル也、清明ハ、冬至ヨリ百五日目ヲ寒食トイヒ、其日ノ前夜ニ物ヲ煮テオイテ、其日ハ火ヲ禁シテ、ヒエタル物ヲクフ習ナリ、故ニ寒食ト云フトゾ、サテ寒食ヨリ三日目ヲ清明節ト云、花モサカリニ咲キテ、二分斗ハチツテ塵トナリ、雨フリガチニテ、天氣ドミノトシテ薄昏シ、旅客ナド、一杯ノ酒ヲ飲ントテ、杏花ノ村ヲ尋ヌレハ、棚引ク雲ニウヅモレテ、ソコトモミエズト也、偷却ハ、ヌスミトラル、ニテ、タチカクサル、ヲ云也、洛北黃梅院ノ金陵和尚、春ホド氣持ノワロキ時ハナク、秋ホト心チノヨキ時ハナシ、ト常ニイヘル、一理ナキニアラ

ス、此詩モ、ソノ趣ニテ、至テ物ムツカシキ作サマ也、之ヲ唐人ノ詩ニ比フレハ、乞食ト旦那トノ差アリ、杜牧カ詩ニ、清明時節雨紛紛、路上行人正斷魂、借問酒家在何處、牧童遙指杏花村、物ハ言ザマニヨツテ、ソノ雅俗工拙此ノ如シ

秋雨

釋贊寧

點々潭心細影微。冷侵虛閣透單衣。破除殘暑昏蒙去。勾引輕寒淡薄歸。

秋ノヒトサメニテ、暑去テ寒來タルヲ寫セル也、起ハ、秋雨ノシボトフリキテ、池心ニオツル体ナリ、承ハ、マダ暑ノ殘レハ、二階モアケガチニテ、人皆單衣ヲキテキルニ、此一雨ニテヒヤト身ニシムサマ也、サレハコノ雨コソ殘暑ノムシヌクイ天氣ヲ拂去テ、ソロソ薄寒ノ袂ス、シキ天氣ヲソ、ノカシテ、ツレカヘツタト也、殘暑ハ虚閣單衣ヲウケ、輕寒ハ冷透ノ二字ヲ承ク、上二句ハ單、下二句ハ對、

江雨

陸龜蒙

半波飛雨半波晴。漁曲飄秋野調清。各樣蓮船逗村去。笠檐蓑袂有殘聲。

秋雨ノアシノ疾キヲ寫セル也、飛雨ハ急雨ナリ、ムラサメノフリキテ、蓮ノ上ニハツト音スレトモ、マダ一方ハ晴タレハ、格別ナコトモアルマジ、ト秋風ノ吹キシクニ、漁夫ドモノ花歌ウタウテ、蓮ヲトル、ソノ聲ハ、ヒナビタレトモ、秋ノ空ナレハ、至テスミテ聞ユルナリ、サルホトニ、雨マツシクラニフリキタレバ、漁夫ドモアワテ、色々ノ采蓮船ヲノリステ、我サキニト、村サシテイニケルガ、ズツクリヌレテ、笠ノフチカラ、蓑ノ袂マデシタル雫、聲ナスバカリ也、逗村ハ、ワガ家マデハ、エユカズ、シバシ村ニツイテ、雨ヤドリスルサマサリ、様ノ字、一本ニ漾ニ作ル、亦通ス、第二句ハ晴ヲ承ケ、第四句ハ雨ヲ承ク、

晴

潘紫岩

西風一夜與晴期。紅日當天曉陸離。雲似敗棋無著處。山如宿

酒頓醒時。

空ノ朝ニハレタルヲ寫セルナリ、西風、晴ト申合セタルヤウニ、サツト吹クト、ヒトシクハレテ、朝日、雲間ヨリモレキテ、キラ／＼トヒカル、陸離ハ參差ノ良、キラ／＼トチラツク也、下二句ハ、全ク晴ヲ寫ス、雲ハ居處ナクナリ、山モサツバリト青ミワタルト也、敗碁ハ晴ニ對シ、宿酒ハ曉ニ對シ、不即不離ノ妙アリ、

浮雲

羅隱

溶々曳々自舒張。不向蒼梧即帝卿。莫道無心更無事。也曾愁殺楚襄王。

雲ハ無心ナル物ト云ルヲ打カヘシテ云ル也、溶々ハ雲ノ盛ナル良、曳々ハ棚引ク良、蒼梧ハ帝舜崩御ノ地、帝郷ハ白雲郷、ミナ雲ニ縁ノアル所ナリ、楚襄王ハ、巫山ノ神女ヲ夢ミシト云ルコトアリ、ソノ神女ハ、朝ニハ朝雲トナリ、暮ニハ行雨トナルト云々、今ソレヲ翻案シテ、雲ガ神女ニ化セシト云ナシ、也、雲ト云モノハ、溶々曳々

トシテオノツカラウチヒロガル者ニシテ、膚寸ノ雲モ終ニ滿天ノ雲トナル、ソノ雲、蒼梧ノ方ニ行カスンハ、必白雲郷ニ至ルヘシ、サレハ雲ハ中々多事ナルモノニシテ、又無心ナルモノニハアラス、其故ハ、カツテ巫山ノ神女トナツテ、宋ノ襄王ヲ惱殺セシメタルコトモアルモノヲトナリ、是モ例ノ理窟ノ詩ナリ、無事ノ二字、上ヲ承ケ、無心ノ二字、下ヲ起ス、

雪望

趙秉文

吹面風來受雪寒。寶花樓閣五雲端。船移忽碎瓊瑤影。丹鳳橋邊駐馬看。

雪中ノナガメヲ寫セルナリ、面ヲフク風ノ寒キニ、雪サヘマジリテ、イヨ／＼寒キ体也、寶花ハ、雪中ノ樓閣ヲミタテタルニヤ、帝城ノ樓閣ヲ望メハ、五雲ノ上ニ、タカ／＼トミエテ、其高ドノハ、玉ノ如ク、花ノ如シトナルヘシ、ソノ影ノ池ニウツレルニ、船ウゴケハ、忽チ瓊瑤ヲ碎クカ如ク、アマリノ面白サニ、丹鳳橋邊ニ馬ヲシバシ駐

メテナガメヤルトナリ、丹鳳橋ハ宮中ニアル橋ナルヘシ、大体ノ意ハ、通スルヤウナレトモ、第三ノ船ハ、イヅコノ川ヲユケル船ニカアラン、又雪見ノ船カ、常ノ船カ、分明ナラス、ソノ他、照應モナク、承接モナク、拙ノ拙ナルモノ也、此種ノ作、奚ソ選ニ入ル、ニ足ラン、

霧

白玉蟾

淡處還濃綠處青。江風吹作雨毛腥。起從水面縈層嶂。驚失林間一小亭。

霧ノ四方ヲカクセルヲ寫セルナリ、霧ノカ、リテ淡キ處ハ却テ濃ク、綠ナル處ハ却テ青ク、江風吹キタテハ、毛ノヤウナル細キリサメキ霧雨トナツテ、イト腥シ、ソノ霧水面ヨリ山々ノ腰ヲ回レハ、林間ノ一小亭モ、忽ミエズナリヌトナリ、何ノ趣味モナク、タゞ言ナリ、是亦奚トテ選ニ入レタルニカアラン、抄ヲミレハ、此詩、它本ニ大半ナシト云リ、

○地理 十五首

廬山雙劍峯

來鵠

倚天雙劍古今閑。三尺高於四面山。若使火雲燒得動。始應農器滿人間。

雙劍峯ハ劍ニ似タレトモ、治世ニモ亂世ニモ、人間ノ用ヲナサスト也、廬山ハ江西南康府ニアツテ、山中ニ大利ノ十ヶ寺モアリ、歸宋、開元、萬松、棲賢、羅漢、惠日等ナリ、カク禪寺ノ多キ山ニテ、此峯ハ香炉峰ト相對ス、故ニ一劍倚天ノ禪語ヲトル、閑ハ、ムダ也、漢高ハ三尺ノ劍ヲ提テ、天下ヲ定ムト云リ、故ニ三尺ノ語ヲ用テ、亂世ヲミセタリ、治世トナレハ、人皆劍ヲ賣テ牛ヲ買ヒ、刀ヲウリテ犢ヲカフト云リ、此雙劍ハ、天ニツ、タチタレトモ、古ノ亂世ニモ、今ノ治世ニモ、何ノ用ヲモナサス、徒ラニ高く立ルノミ也、モシ夏ノ火雲ヲ借テ、ヤキツブサル、モノナラハ、是ニテ百姓ノ鋤鋤ツクリテ、人間ノ役ニタテサセタキ者ヲトナリ、第二句ハ、古ノ字ヲウケテ亂世ヲ云ヒ、第四句ハ、今ノ字ヲウケテ治世ヲ云、是ラモ詩ニアラス、削ルヘシ、

江郎山

周雲叟

巨靈一夜劈山開。一石推從天外來。仙客斫開修月路。化工築作挽河臺。

江郎山ノ高キヲ寫セル也。巨靈ハ山ノ神ヲサス、此山ニツニ分レテ、上ニ大ナル岩ニツタテリ、絶頂ニ路アリ、挽河臺ト云モアリ、自然ニウテナヲナセル也、修月ハ、月宮ヲ修覆セルナリ、挽河ハ、天河ヲ挽回スル也、天河ニト、クホトノ臺モ、自然ニデキテアレハ、月宮ヲ修覆シニユク路サヘ開ケタル、メヅラシキ高山ナリト也、

吳興

林子中

遶郭芙蕖拍岸平。花深蕩漿不聞聲。萬家笑語荷花裏。知是人間極樂城。

吳興ハ蓮ノ多キ處ニテ、花ノサク頃ハ、極樂城也トナリ、此詩ハ極テ手ヅ、ナル作也、初二芙蓉ト云テ、轉ニ亦荷花ト云、殊ニ承ニ芙蓉ヲウケテ花深シト云シハヨケレ

トモ、轉トマタ重ナル、イタツラ也、且拍岸ハ、水ノ形容ナルヲ、芙蓉ニ用タルモイカ、芙蓉ヲ清波ナトニ作り、笑語荷花ヲ渾在芙蓉ナドニ作ラハ、聊カ之ニマサルヘシヤ、

三山即事

韓渥

中華地向城中盡。外國雲從島上來。四序有花長見雨。一冬無雪却聞雷。

三山ノ靈地ナルヲ寫セルナリ、三山ハ、蓬萊方丈瀛洲ノ三神山ヲサス也、海中ニアリ、城ハ福州城ヲ云也、福州ハ中國ノ境ニシテ、海中ノ三山ハ既ニ外國ナリ、四時花サイテ春雨長ヘニフル、冬ニナレハ雪ノフルヘキニ、却テ夏ノ雷ヲキク、雨ノ上ニ春ヲカクシ、雷ノ上ニ夏ヲカクス、四季ノ中ニ、春夏ノ二季アツテ、秋冬ノ二季ナキガ如シ、其靈地タル想フヘシ、通篇對句ヲ用テ對ナラサルカ如シ、唐人ノ作ハ、格別ナモノ也、第一ハ客ニシテ、第二ハ主、第三四ハ、第二ノ島ヲ承テ、ソノ主ヲ寫セル也、島ハ三島也、三山ハ海中ニアレハ、三島トモ云ル也、此詩、到江吳地盡、隔岸越

山多ヨリ脱化シ來ルニ似タリ、

太行山

范至能

西北浮雲捲暮秋。太行南麓照封丘。橫峯倒嶺知多少。行到燕山翠未休。

太行山ノ遠方マテミユルヲ云也、太行ハ河南懷慶府ニアリ、秋モクレユケハ、西北雪オコリテミエザレトモ、ソノ南麓ノ方ハ打開イテ、封丘ノアタリマデ照シミルコトヲウル也、ソノ山脈ノ峯々ハ、イカホドアルカ知ラネトモ、北ノ方燕山ニ至テモ、其黛色ハマダ見ユルトゾ、轉ハ承ヲ受ケ、結ハ起ヲ受ク、前ニハ照封丘ト云、後ニハ翠未休ト云、亦自ラ呼應ス、翠未休ハ杜詩望嶽ニ岱宗夫何如、齊魯青未了トアル、是其出据、遠方マテミユルノ意ナリ、坡詩ニ、太行千里送征鞍、ナト云ルモ、同一意ナリ、

曉井

李郢

桐陰覆井月斜明。百尺寒泉古甃清。越女携瓶下金索。曉天初

放轆轤聲。

明方井戸ノ水ヲ汲ムヲ云也、漢土ハ井ノフチニ青桐ヲ多クウユ、月斜明ハ、アリアケノ月ナリ、甃ハ石タ、ミナリ、金索ハ鐵索ナレトモ、富家ナルヲミセタルナルヘシ、青桐ノカゲニアル井ニ、アリ明ノ月ウツリ、其井ハ百尺モアリテ、石モテタ、ム、古キ井戸ナレトモ、湧出ツル水キヨク、見ルモキレイ也、越女朝早クオキテ、水汲ントテ、ツルベ索ヲ下ス、ソノロクロノ聲ノコロコロト聞ユルニ、目ヲサマストノ意、オノツカラ言外ニアリ、且越女ハ、田舎女ナレハ、至テマメニシテ、マダアリ明ノ月カゲウツルニ、ハヤオキテ、水ヲ汲初ムルモ、イトユカシ、唐人ノ詩ハ、何ノ事モナキウチニ、不盡ノ趣アリ、味フヘシ、

廬山瀑布

顧謹中

天女殷勤織得成。龍綃千尺脫機輕。剛風吹落廬山頂。錯被人呼瀑布名。

廬山ノタキヲ布ニミタテ、作りシ也、龍綃ハ龍ノ模様シタル薄絹也、コノ布ハ、人間ノオリタル布ニハ非ス、天ノ乙女ガ念頃ニオリナシタルニテ、ソノモヤウハ、アマ龍モヤウニテ、千尺モアルナリ、高機デサラ／＼トオリオロシタル也、ソレガ天ツ風ニ吹落サレテ、廬山ノ岩カベニカ、リシ故、アヤマツテ布引ノ瀧トハ人ニ名ツケラレシナリトゾ、李白カ詩ニ、日照香炉生紫煙。遙看瀑布掛長川。飛流直下三千尺。疑是銀河落九天。徐凝カ詩ニ、虚空落泉千丈直。雷奔入江不暫息。萬古長如白線飛。一條界破青山色。此三首ヲ合セミテ、其詩ノ愈降レルヲ思フヘシ、

汴梁士人家。有小石峯。玲瓏可愛。相傳宋宣和內府物也。

同

天星何代隕。虚空化作玲瓏小朶峯。曾是宣和殿中物。上頭銘刻護双龍。

盆石ヲ形容セシナリ、汴梁ハ宋ノ都シタル所ナリ、其地ノ士人カ家ニ盆石アリ、至テキ

レイ也、ソノ傳ニハ、宋ノ徽宗皇帝、宣和年間、花石綱トテ、諸方ヨリ珍花奇石ヲトリヨセテ、内府ニ納メラレシ、ソノ中ノ一物ナリトソ、天ノ流星、イツノ代ニ空ヨリオチテ、コノヤウナル美シキ盆山トハナリツルゾ、傳ヲキケハ、宣和殿中ノ御物ノ由、上ノ方ニ銘アリテ、ソノカタハラニ、双龍ヲキザメリトナリ、一山ヲ一朶ト云故ニ小朶峯ト云也、龍ハ富士コシノ龍ノヤウニ巧ミシナルヘシ、

方池

錢昭度

東道主人心匠工。鑿開方石貯漣漪。夜深却被寒星照。恰似山翁一局碁。

方池ヲ極力寫セル也、東道ノ主人トハ、左傳ノ語ニシテ、旅ノソラニテ主人トスル人ヲ云也、寒星ハサエワタレル星也、結句ハ、昔、王質ト云仙人、石ノ碁盤ニ碁ヲ打シト云、ソレヲ云ルナリ、旅ノ空ハ慰ムヘキ物モナシトテ、世話シテクル、主人ハ、工夫ナル人ニテ、四角ナル大石ヲホリテ、水ヲ貯ヘテミセテクレタ、夜フケニナレハ、詠

メニナラヌヤウニ、人ハ思ヘトモ、其頃ニナレハ、却テ空スミワタリ、星ノ影マテ水ニ
ウツレハ、ソノ影恰モ仙人ノゴバンノ上ニ白ヲ並ヘタヤウニミエテ、中々奇妙ゾト也、
或人、此詩ヲミテ嘲テ云、一局ノ碁、黒ガ全ク輸ケタルナルヘシト云ケルトゾ、星
ウツリテ白クミユル故、カクハ云ル也、唐ノ廖凝ガ白鷗ヲ詠セシ詩ニ、滿汀鷗不_レ散。
一局黒全輸トアルヲトツテ云ルナリトソ、

盆池

陳去非

三尺清池窓外開。茨菰葉底戲魚回。雨聲轉入_ニ浙江去。雲影還_ニ從_ニ震澤來。

三尺ノ盆池ヲ、萬頃ノ江湖ニミタテ、寫セルナリ、初二句ハ、三尺ノ盆池ヲ寫シ、終
二句ハ、萬頃ノ江湖ニミタテタル所ヲ寫ス、言フハ僅カ三尺ノ盆池ナレトモ、ソノ中
ニフリカ、ル雨聲ハ、浙江半夜ノ潮ニ似タリ、ウツル雲影ハ、震澤一片ノ雲ニ似タリ、
亦以テ臥遊ニ供スルニ足ルトナリ、イハユル小題大做ニシテ、甚深ノ理ソノ中ニア

リ、是コノ詩ノ妙境、震澤ハ、洞庭ノ一名ナリ、

松棚

陳元信

旋斫松枝架作棚。蒼髯如戟畫崢嶸。清陰堪愛還堪恨。遮却斜陽礙_ニ月明。

松棚ノ得失ヲ述フル也、旋ハソロ／＼ノ意也、崢嶸ハ高キ良、礙ハサ、ユルナリ、ジ
ヤマスルナリ、夏ノ至ルニツレテ、日覆ノ爲メニ、ソロ／＼ト松枝ヲキツテ棚ツクレ
ハ、松葉ハ戟ノ如ク、空ヲタカク掩テ、晝モヲグラク、夕日モサ、ネハ、イト涼シケレ
トモ、物ニハヨイコトハニツナイ、月見ノ邪魔ニナルガ恨メシイトナリ、轉ノ堪愛ハ、
上ヲ收メテ、下ノ斜陽ヲ起シ、堪恨ハ、下ノ月明ヲ呼テ、上ノ句ニ應ス、カノ浮雲
ノ詩ニ粗似タリ、

春題華陽觀

白居易

帝子吹簫逐鳳凰。空留仙洞號華陽。落花何處堪惆悵。頭白宮

人掃影堂。

帝子晋ノ故宮ヲ弔フナリ、晋ハ周靈王ノ太子ナリ、晋、笙ヲ好テフキ、鳳鳴ヲナス云々、ト劉向列仙傳ニミユ、後鳳凰ニ乗シテ去タアトニハ、仙洞ヲ空シクト、メテ、華陽觀ト號ス、落花ノ頃ニ、ソノ處ニ遊ヒ、何ガイツチ悲シイソト人間ハ、白頭ノ宮人ガ御影堂ノ蜘蛛ノ巢ヲ掃フホカニ、何モミエズ、殊ノ外アハレナルトナリ、落花ノ頃ニユキシ故ニ、題ニ春ノ字ヲ点セシ也、帝子宮人、仙洞影堂、起結呼應、

時習齋

宇文虛中

未厭平生習氣濃。更將餘事訓兒童。魯論二萬三千字。悟入從初一句中。

兒童ニ論語ヲ教フルヲ云也、宇文ハ宋ノ人ニテ、字ハ叔通、成都ノ生ニテ、黃門侍郎タリ、後、使ヲ奉シテ金ニ留メラレ、仕ヘテ翰林學士承旨トナル、論語ヲ殊ノ外愛シテ、其書齋ヲ時習ト名ツケタル由、習氣ハ、クサミナリ、坊主ハ坊主、官吏ハ官吏ノ

クサミアリ、吾ハ役人ニナツテモ、學者ノクサミヌケヌ也、只ヌケヌノミナラス、至テ濃イ、ソノ至テコイクサミノアルヲモ厭ハス、公事ノ外ニ、猶魯論ヲ兒共ニヲシフルノジヤ、其魯論ニハ、字數二萬三千字ハカリモアレド、聖人ノ道ニ悟入スルニハ、最初ノ一句ヨリスル外ハナイゾ、兒供ノトキヨリ、何ハサテオキ、論語ヲヨムガヨイ、論語一部ノ要ハ、又開卷第一章ノ一句ニアルゾ、吾モコノ故ニ書齋ニ名ツケタルゾ、時習ニハ許多ノ意味アリ、先、時ニ三義アリ、年齢ノ時アリ、四時ノ時アリ、二六時中ノ時アリ、悟入スル者ノトリノナルゾト、至テカタイ學者ニテ、吾邦ノ仁齋先生ノ如キ人ニテヤアリケム、シカルニ晩節ニ至テ、論語ヲハタト忘レタリ、

野堂

王庭筠

雲自如歸鳥自還。一堂足了一生閑。門前剝啄定佳客。簷外孱顏皆好山。

野堂ニ日ヲクラスノ意ヲ述ヘタル也、剝啄ハ戸ヲタ、ク聲也、孱顏ハ山ノ高キ良、雲

鳥スラ歸ルコトヲシル、マシテ吾人ニ於テヲヤ、人生五馬ノ榮華ヲステ、カヘリコシ
 チノ野中ノ庵、松ノ柱ニ竹ノ垣、軒モ扉モマバラナル、藁屋ノ床ニワラ菴、是モ古ヘ
 ノ錦ノ茵ト思ヘハ、一生ノ閑生涯ヲオクルニハ餘アリ、マシテ世ハ末世ニ及フトテモ、
 日月ハ地ニオチヌ習ナレハ、四海ハ皆兄弟ジャホドニ、路頭山林ノ賤シツトナツテモ、
 都鄙遠境ノ憐ミアルガ故ニ、門ヲ叩イテコト、フ者モ、必定佳客ニシテ、簷外ニ顔出
 スミネ〜モ、皆是好山ジャ、ソレヲ見ニクイ山ジャノ、イヤナ客ジャノ、ト思フハ、
 オノレノ心ノ醜イノジャ、イヤシイノジャ、我ヨケレハ、人モミナ善クナル、我惡
 ケレハ、人モミナワロクナル、胸ニカケタル人形箱、鬼ヲ出サウト佛ヲ出サウトジャ
 トノ心ナリ、隨分溜飲ノサガル詩ナリ、庭筍、字ハ子端、大定十六年、甲科ニ登リ、
 文彩風流一時ニ照映セリトソ、別ニ黃華山主トモ號セシトカヤ、

李子友雲樓

王敏夫

霧幕烟迷十二欄。壺觴招我一躋攀。黃簾捲起湘川竹。分得西

風數点山。



李氏カ友雲樓ノ高キヲ賞セシ也、初二句ハ逆敘ナリ、一日、一杯ノ酒ヲ酌ムカラト招
 カレシ故、一度尋ネカタ〜ユキシガ、其樓ハ、山上ニアツテ、十二欄ハ、名ニオヘル
 如ク、雲霧ノ中ニカクレテカスカ也、サテ其タカドノニアガレハ、湘川ノ竹ニテ編ミシ
 簾ノカ、レルヲ、キリ〜ト卷上クレハ、前面數点ノ山、眉頭ニオチテ、西風サツト樓
 ニ滿ツ、登ルサノ暑キニ、出タル汗モ、一時ニアラハレテ、エモイハズ、快味ヲ覺エシ
 ト也、九夏三伏ノ空ニモ、此詩ヲ一誦スレハ、イカサマニモ、兩腋ニ清風ノ生スルヲ覺
 ユ、只字句ノ中、霧幕ト言ナカラ、煙迷トイヘル、イカバ、高迷ナド、コソイフヘケレ、

○節序 三十二首

立春

蕭千巖

半夜新春入管城。平明銅雀綠苔生。浮漸把斷春風路。訴與青
 州借援兵。

立春ノ寒サヲ寫セル也、管城ハ筆ナリ、銅雀ハ銅雀臺ノ瓦硯ヲ云ナルヘシ、浮澌ハ硯中ニウケル氷ナリ、青州ハ酒ノ異名、援兵ハ酒力ノ援ヲカルニ喩ヘシナリ、アクレハ立春ジヤトテ、夜ノ間カラ筆トツテ立春ノ詩ナト作り、銅雀硯ニ墨スツテキルホトニ、夜モアケテ、アシタニナレハ、瓦硯ノ墨ハ、皆凍リテ池ノ中ニハリツメタリ、其氷ハ瓦ノ上ニ綠苔ノ生エタルカ如シ、畢竟春ニ入レハ、春風ノ吹カヌニハアラネトモ、其道筋ヲトヂツメテ通ハセヌハ、此氷ジヤホトニ、青州ノ從事ニ訴ヘ願テ、コノ硯ノ水ノ中ヘ酒ヲ少シ入レタナラハ、其力ニテ水モ凍ラヌデアラウト也、訴與ノ與ハ、助字也、酒ノ異名ヲ青州從事ト云ハ、世説ニミュ、齊ノ桓公ニ主簿アリテ、酒ノ善惡ヲヨク分チ、其男ニ先ツ飲シムルニ、ヨキヲハ青州從事ト云、ワロキヲハ平原督郵ト云ケルトソ、註ニ、青州ニ齊郡アリ、平原ニ膈縣アリ、從事ハ、齊ノ下ニ至ルヲ云、督郵ハ膈ノ上ニ至テ留マルヲ云ナリトソ、齊ハ膈ト同シクホソナリ、膈ハ胸膈ニテ、ムネノミゾオチノ所ナリ、ヨキ酒ハ、ホソノ下マテ、ツトユケトモ、ワロキ酒ハ、ミゾオチノ上ニツカヘテ下ラストナリ、ソレヲ從事ハ太守ノ供ナレハ、齊ノ城下ニ至ルニ

喩ヘ、督郵ハ其地ノ宿驛ヲ督スルモノナレハ、平原ノ膈縣ニ留マルニタトヘテ、ザレタルナリ、

寒食

孟雲卿

二月江南花滿枝。他鄉寒食遠堪悲。貧居往々無煙火。不獨明朝爲介推。

他郷ニアツテ貧苦ヲ悲ムナリ、介推ハ晋文公ノ臣ニシテ、功アツテ爵セラレス、綿山ニ隠レケルヲ、召セトモ至ラス、火ヲツケタラバトテ、山ヲヤキケレハ、終ニ燒死セリ、時ノ人之ヲ哀ミテ、其日ニハ火ヲ禁シテ寒食シケルヨリ、節ノ名トナツテ、其日ニハ墓參ナトスル習トナレリ、介推ヲ史ニハ介之推トカケリ、之ハ助字ニテ、源義經ヲ、源義經トヨバンカ如シ、江南アタリハ、如月ニナレハ、早ヤ花サキ出テ、人皆墓參ナトシケルニ、羈遊ノ身ナレハ、墓ニマキルコトモ叶ハス、殊ニ貧居ナレハ、火モタカヌコト往々アリ、明朝ハ介推ノ爲メニトテ、寒食スルノミニハアラヌゾトナリ、

寒食野望

僧聖徒

拜掃無過骨肉親。一年唯此兩三辰。塚頭莫種有花樹。春色不關泉下人。

拜掃ニユク人ノ、逝テカヘラヌ人ヲ悲シム情ヲ述ヘシ也、拜掃バカリハ、草葉ノ陰ニキル人モ、它人ノスルヲ好マネバ、骨肉ノ親ニ過タルコトハナイ、コトニ一年ノ中、只コノ兩三日ノ間ナレハ、ツトメテ參ルヘキナリ、サルニテモ、參ルタヒニ悲シキハ、歸ラヌ人ニモ似ズ、サキイヅルハ花ナレハ、墓ノ上ニハ花ノサク樹ハウエヌゾヨキ、春ノ花ノ色ハ、ナキ人ノカヘラヌニハ、聊モ遠慮ハセヌモノゾ、年々歳々花相似、歳々年々人不同ジャホドニ、ト聖徒ハ僧ナレトモ、鳥部野ヲナガメヤリテ、世ノ人ニ言サトセル也、

春日作

龍鱗洲

枯藤處々領春華。遮莫東風顛帽紗。点破蕪菁黃世界。一株香

雪小梨花。

處々ノ春景色ヲノブル也、枯藤ハ杖ヲ云也、枯ノ字、恐クハ杖ノ誤ナルヘシ、領ハ春ノ花ヲ我物ニスル意ナリ、顛ハフル也、ユルグトヨム、春風遍ク至レハ、藤ノ杖ヲツイテ、春華ヲ我物ニシテ見巡ル、是ガコナタノ本望ジャホトニ、東風ノキツウ吹テ紗帽ヲ吹キ動カスナトハ、サモアラバアレ、殊ニ菜種ノ花ノ野一面ニサキソロウテ、黃金世界ヲナセルニ、一株ノ小梨花、アワ雪ノ如ク、ソノ中ニウチマジルハ、一段ト見事ジャトナリ、洛北大宮頭ノ今宮ニヤドレル人ノ、今ハ菜花ノ眞盛ナレハ、ゴランニ入レタシトテ、余ヲ招ク、ユキテミレハ、愛宕ノコホリ、一面ノ菜花ナルニ、ソノ隅ニ一株ノ梨花アリテ、黃金界ヲサカヒタル、一幅ノ畫景ナリシ、此詩モカ、ル所ノケシキヲミテ寫シ、ニヤアラン、

又

寇平仲

白晝偶成芳草夢。起來幽興有新詩。風簾不動黃鸝語。坐見庭

花日影移。

春日ノ長閑ナルヲ賦セシ也、芳草夢ハ、謝靈運ガ夢中ニ、池塘春草生ト云句ヲエタリト云ヲ取レル也、白晝一睡、芳草ノ夢ヲミルホトニ、目サメテミレハ、幽興限ナク、自然詩ヲエタリト也、下二句ハ、ソノ幽興ヲ寫セル也、風簾モ動カス、イト長閑ナルニ、鶯ノ花間ニナクヲキ、テ、シラス〜時ヲ移シ、サマナリ、

又

開仲見

無名野草依人綠。有種山花稱意紅。春到人間無弃物。人心安得似東風。

天ニ偏私ナク、人ニ愛憎アルヲ述フル也、名モナキ草モ、人ノタケホドノビテ、緑ニ、種ノアル花ハ、殊ニオモハシゲニサケリ、春風一陣、人間ニ吹至レハ、何一品トシテ弃物ハナク、夫相應ニ盛ヲミスルガ、人ノ心ハ然ラス、何トゾ人ノ心モ東風ニ似テ、貴賤上下、貧富親疎ノ別ナク、各其才ヲ達シ、徳ヲ成ズルヤウニアリタキ者ゾトナ

リ、蓋、野草依人、山花稱意ハ、春帝ノ人間ニ至テ、弃物ナキ所、之ニ反シテ、或憎ニ野草。或愛ニ山花。ハ、人心ノ東風ニ似サル所ナリ、此間ニオノツカラ天人公私ノコトワリヲミル、寄託深遠ト云ツヘシ

又

僧法振

隄雲漠々雨漫々。揚柳如絲不厭看。見說前村風更惡。杏花無地避春寒。

柳ニハ雨ヲ厭ハネトモ、花ニハ風ヲ惡ムト也、一ニハ雨ヲノベ、二ニハ柳ヲノベ、三ニハ風ヲイヒ、四ニハ花ヲ云、疎枝大葉ノ詩ナリ

又

張公庠

一年春事又成空。擁鼻微吟半醉中。夾路桃花新過雨。馬蹄無處避殘紅。

落花ヲ惜ムノ情ヲ寫セル也、モハヤ一年ノ春事モ、又々空トナツタ、素面デハ花見モ出來マジト、半醒半醉ノホロ／＼エヒ、鼻聲ニカケテ、詩ヲ吟シツ、ユケバ、一シキリシツボリトフル春雨ニ、落花路ヲ埋ム、ソノ上ヲ馬ニ踏マスルモ、惜イコ、チハスレド、路モセニチル花ナレハ、ヨキテトホル處モナシトナリ、第一、全篇ノ意ヲ說破シ、第二行吟、第三落花、第四殘紅、首句ノ成空ニ應シテ結フ、擁鼻ハ、謝安ノ故事、效顰、側帽ト三幅對ノ話、擁鼻ハ石門文字禪ニ、側帽ハ北史獨孤信ガ傳ニ出、

又

方巨山

卷中未有好詩看。草滿池塘夢已殘。客又不來春已暮。一簾新雨杏花寒。

一首ノ好詩モデキヌ中ニ、春ノ暮行クヲ述ルナリ、第二ハ、謝氏ノ故事、謝靈運ハ夢中弟ノ惠連ニ逢テ、名句ヲエタト云フガ、吾ハ春帖ノ中ニ未タ一首ノミルヘキ好詩モナク、池塘春草ノ夢モ、ステニサメテ、客ノキテ詩思ヲ助クルナク、春モハヤクレテ一簾ノ雨モ、是マテニナキ寒サニテ、杏花モ全クチリハテタホトニ、此春ノ好詩ハ、デキズジマヒニナツタト也、コノ詩モ首句破題、巨山名ハ岳、秋崖ト號ス、宋理宗朝ノ人ナリ、

又

陳元信

兩三點兩淡煙裏。四五聲鶯濃綠中。吹盡殘紅無可落。晚來閑却一簾風。

花盡テ物靜ニナレル景色ヲ寫セル也、天ギル空ニ雨トイヘハ兩三點、青葉サシテ、イツコモ青ミワタル中ニ、晚鶯四五聲聞ユルノミ、今ハ殘紅モチリハテヌレハ、日モ入相ノ小簾フク風モ、至テヒマニナリヌト也、此詩淡煙ヨリ濃綠、濃綠ヨリ殘紅、殘紅ヨリ閑却ヲ出ス、雲ノ山ヲ出ツルカ如シ

春夜作

王安石

金爐香燼漏聲殘。剪々輕風陣々寒。春色惱人眠不得。月移花

影上欄干。

禁直ノ夜、花月ノ面白キニ眠ラレサリシヲ述フル也、荆公、内裏ニ一夜當直シケルニ、金炉ノ香キエテ、漏刻ノ聲モ既ニタエナントスルコロ、木ノシタ風ノサエワタルニ、月、花影ヲ移シテ、欄干ニ上ル、ソノ面白サニ惱亂サレテ、ヨモスガラエネムラデ、夜アケヌトソ、上二句順叙、下二句逆叙、イハユル順逆相救法、殊ニ上ハ富貴ノ相ヲウツシ、下ハ塵外ノ眞ヲ描キ、字々句々、化工アルヲ見ル、東坡カ歌管樓臺人寂々、鞦韆院落夜沈々ニ比ヘテ、甲乙アリト人ハイヘトモ、吾未之ニ左袒スルコトヲエス、オモフニ今日我邦ノ内臣ニシテ、宮中ニ直スルモノ、此等ノ詩ニ比スヘキ歌アリヤ否ヤ

又

陳歲一

坐到心清有妙香。蒲團紙帳任更長。閉門不愛庭前月。分付梅花自主張。

春夜梅花ノ月ヲ愛セサルヨシヲ述フルナリ、杜詩ニ、心清聞妙香トアツテ、心地清ケレハ、香ヲキクモ、妙處アリ、サレハコソ、蒲團ニネマリ紙帳ノ中ニキテ、更ノ長キニ任セテ、退屈モセヌノジヤ、梅花ノ月モヨサハヨケレトモ、月ミレバチマニ物コソ悲シケレハ、カクハ門ヲトヂテ、庭前ノ月ハ梅花ニ與ヘテ、月ノ主人公タラシムルノジヤトナリ、主張ハ禪語也、心清妙香ト言出シ、ユエ、主張ノ文字ヲ以テ結フ、此詩、詩ノ權貴賈秋壑ニ志ヲエスシテ作りシト云ヘハ、不平アリテ逃禪セシナルヘシ、

春曉

劉聲伯

黃鸝鳴斷雨濛々。生意晴光暖靄中。一草不花春有恨。曉來籬落盡東風。

東帝ニ偏私ナキヲ述フル也、鶯モナキヤミテ、雨ハモウノトフリツレトモ、煙タツウチニ、晴行クニヤアラン、朝日ノ窓ニサスミユ、春ニナリテ、一草一木モ花サカネハ恨ノアルモノナレハ、造化ニハナドカ偏私ノアルヘキヤ、朝起テミレハ籬落ノ草、

アマネク春風ニ吹カレテ、生意アルゾトナリ、第二、第四ヲ合セテ心ウヘシ、是章法ナリ、

夏日

黃晉卿

春盡餘寒去却回。江天五月未聞雷。南風祇存浮雲外。彈折朱絃喚不來。

氣候ノ不順ヲ賦セル也、今茲ハ珍ラシキ不順ジャ、餘寒夏ニ至テツキズ、江天五月ト云ニ、未一聲ノ雷ヲキカス、昔舜帝ハ五絃ノ琴ヲヒキテ、南風ノ詩ヲウタヒ、以テ下民ノ愠鬱ヲ解シト聞エシカ、我モ朱絃ヲ彈シテ南風ヲヨベトモ、浮雲ノ外ニアツテ、コノ下界ヘハ、中々來ラス、是デハ今茲ノ農作モイカバト、イト氣ヅカハルトナリ、詩中ニ、二月五月ナド月日ヲ用フルハ、格別ノ時ナリ、着眼スヘシ、彈折ハ彈盡ト云ハンカ如シ、

暑夜

僧李潭

此夜炎蒸不可當。開門高樹月蒼々。天河只在南樓上。不借人間一滴涼。

暑夜ノ外涼クシテ内熱キヲ云ル也、室内ノムシヌクイコト、何トモ當ルヘカラス、門ヲ開イテ外ニ出ツレハ、涼月高樹ノ上ニアツテ、其影木ノ葉ヲスキトホセハ、月ノ色マテモ蒼々トミエテ、イト涼シゲナリ、カ、レハ天ノ河風モ、イカ斗吹キサムラント思フ斗ナルニ、此ノ天ノ河モ、只南樓ノ外ニアルノミニテ、人間ノ室内ヘハ、一滴ノ涼ヲダニカシテクレヌハ、佛ノ慈悲トハ、カハツタモノジヤト、僧ナレハ、ハヤ大慈大悲ノ上ニ念及タルナルヘシ、第三ハ第二ニ應シ、第四ハ第一ニ應ス、

午熱

楊萬里

矮屋炎天不可度。高天爽氣亦全無。微風不被蟬飡却。留得些涼到老夫。

午熱ノタヘラレヌヲ寫セル也、矮屋ノスムヘカラサルハ、言フモ更ナリ、高天ヲミテ

モ、秋氣ハ全クナシ、サレバ萩ノウハ風アルカナキカニテ、ソレサへ蟬ニ吸取ラル、
斗ナリ、サレトモ午蟬イカ斗吸フトモ、吸盡サレマジケレハ、些少ノ涼ナリトモ殘シ
留メテ老夫ニ與ヘソウナ者ジヤ、アハレ此午熱ニハ、風蟬スラタヘラレマジキヲ、マシ
テ老夫ニ於テヲヤ、ト老ノ身ノキツウタヘカタキヲ寫セル、極テ曲折アリ、矮屋高天、
炎天爽氣、微風些涼、不可居全無、風蟬老夫、兩々反應、双々順啣、

八月十四夜

孫明復

銀漢無聲露暗垂。玉蟾初上欲圓時。清樽素瑟宜先賞。明夜陰
晴未可知。

三五ノ陰晴ハカラレネバ、コヨヒノ月ヲ先ツ賞スヘシト也、欲圓ハ、十四日ノ月ナレ
ハ也、

中秋

成文幹

王母粧成鏡未收。倚欄人在水精樓。笙歌莫占清光盡。留與溪

翁一釣舟。

中秋ノ月ハ、貧富同ク賞センコトヲ欲スト也、満月ノ東ニサシ上リタル、恰モ王母ノ
粧ヲナシテ鏡ヲマダ收メサルカ如シ、コノ月ヲ賞セントテ、富人ハ水精樓ニ登リ、笛
ヲ吹キ、歌ヲウタヒナトシテ、月見ノ宴ヲハルガ、アマリ我マ、スルナ、チト貧乏ナ
溪翁ノ一釣舟ニモ與ヘタガヨカラントナリ、此詩溪翁ヨリイハバ、卑屈ヲ免レス、傍
ヘノ人ヨリイハバ、溪翁ハウケサルヘシ、夫レ竿頭ノ清風、波上ノ明月、之カ主タル
者ハ、釣翁ニアラスヤ、何ソ富人ニ向テ憐ヲ乞ハンヤ、

又

劉無競

夜々池邊待月生。却悲此夜易天明。憑誰引取秋江水。添入銅
壺報曉更。

三五ノ夜ノ明易キヲ怨ムル也、池上ノ月ハ、格別ジヤ、トテ、ヨナノ池ノ邊ニ出テ
、月ノ上ルヲ待兼タルニ、イヨク今宵トナレハ、夜ノアキヤスキヲ奈何ニセン、

誰ゾニタノミテ、カノ秋江ノ水ヲ取ヨセテ、水時計ノ銅壺ニタツプリ入レソヘテ、マ
ダ夜ハアケヌゾト、人ニモ、知ラセタキモノゾトナリ、伊勢物語ニ

アカナクニマダキモ月ノカクル、カ山ノ端ワキテ入レズモアラナン

トイヘル戀ノ歌ニ似テ、穉氣可厭、曉更モ夜更ニアラズバ、キコエジ、

又

張景安

萬里秋空掛玉盤。瓊樓杳々想高寒。四時此月曾無別。人自今
宵冷眼看。

三五ノ月ヲ人ノ格別賞玩セルヲ云ル也、万里ノ秋空、日本バレニテ、月ハ玉盤ヲカケ
タルカ如シ、カウヤウノ晴レタル月ハ藁屋ノ中ニミルモ、ヒヤ／＼スルヲ、マシテ金
殿玉樓ノ上ニ見バ、サゾ寒カラント想ヤラル、ゾカシ、抑、四季折々ノ月ニハ、カハ
リナキニ、人ハ今宵ノ月ヲ殊ノ外賞翫シテ、明日ノ夜カラハ、冷眼ニミルゾワリナキ、
ト理窟ヲ云ル也、冷眼ハツレナクミルナリ、之ニ反シテ色目ヲツカフヲ暖眼ト云トカ

ヤ、

晚秋

李南金

籬菊有英工冷淡。老梅無葉試欹斜。化工不隔銅瓶水。一夜芙
蓉三四花。

花瓶ニ芙蓉ヲサシテ詠セシ也、晚秋ハ晚冬ノ交ナレハ、マガキノ菊モ英ハアレトモ、
冷淡ノ色ヲ巧ニアラハシ、老梅モ葉ハナケレトモ、枝ブリノ見エヨキヤウニ、チヨツ
ト試ミニツクロヒタル、サテ古銅ノ中ニ、芙蓉ヲ一二朶生ケタル、是モ一夜ノウチニサ
キタリ、造化ニハ本、私ナシト聞ユレハ、三種ノ草木ニ、中垣ノヘダテハナキモノト
ナリ、上二句ニハ、工試ナトノ字ヲ下シテ、剪綵ノ巧ヲツクシ、下二句ハ、サラリト
言流シタル、オノツカラ是作家ノ老手段、

又

陳去非

中夜淡月照三更。白露橫空河漢明。莫教西風吹葉盡。却愁無

處着秋聲。

秋聲ノ却テ愛スヘキヲ云ル也、秋聲ハ古來悲シキモノニ云ナセルヲ、此詩ハソレヲ翻
ジテソノウラヲ云ル、妙々、意ハ解ヲマタス、去非ハ簡齋ト號ス、

冬至

方巨山

至日觀書不幾行。梅梢橫月欲昏黃。漢宮紅影無人見。未必
一作 能 曾添一線長。

冬至ノ日ノ短キヲ詠セル也、至日ハ冬至ノ日ナリ、漢宮ハ昔、漢宮ノ官女、紅キ糸ヲ
以テ日ノ長短ヲハカリ、冬至ノ日ヨリ、日影ノ長サ一線ヲ増スト云ケルトゾ、我邦俗
ノ冬至ヨリ日ハ疊ノ一日ヅ、長クナルト云ルニ同シ、日至テ短ケレハ、書ヲヨミテモ、
イク、ダリモ讀マヌウチニ、ハヤ暮方ニナリテ、梅梢月ニ横ハルト也、昏黃ハ韻ノ爲
メニ倒セシ也、サテ漢ノ官女ハ紅線ヲ以テ日影ヲ測リシトハ傳フレトモ、人ノ目ニツ
カヌ程ナレハ、一線ノ長サヲ今日ヨリ増スト云コトハ、カツテナイコトジャ、ソレハ

ウソジャ、ト極テ短キヲイハントテ也、紅影ハ日影ヲ云ナルヘシ、不幾行、不添一線、
暗ニ相應ス、佳甚シ、

春日雜詠

陸務觀

攪睡禽聲曉。傍簷泥人花氣。午穿簾。歡情老去年々薄。困思春
來日日添。

老來遊春ノ情モ起ラヌヲ述ルナリ、春ニナレハ軒端ノ雀ハ、チヨ／＼ト曉方ノ眠ヲサ
マシ、今日モ天氣トシラスルカ如シ、小簾ニ入りクル花ノ香ハ、ムシアガリテ人ノ鼻
ヲツクハ、野山ノ遊ヲ促カスカ如シ、サレトモ今日ハ東山、アスハ西山ト思フ情モ、
老テノ後ハ、年々薄クナリテ、只孫子ノ事ヤラ死後ノ事ヤラ、色々心ニカ、ルコトノ
ミニテ、殊ニ春ノムシアツキニ、頭痛カスルヤラ、腰カイタムヤラデ、萬事休スジャ、
ト老境ヲアリノマ、ニ言出テ、楚々人ヲ動カス、樂天カ詩ニモ、年々老去歡情少、處々
春來感事深、トヨメル、同一意ナリ、通篇對句、

春遊

宋李任

草色紅城綠四圍。客中天氣近單衣。蛛絲似惜春深去。網住桃花不許飛。

春ヲ惜ミテ遊ヘルヲ云ルナリ、春モ早クレテ、草色四方ニカコメルハ、全ク夏景色シヤ、旅ノ空ニアレハ、單キルヤウニナルハヨケレトモ、只花ノチリハツルガヲシサニ、カウ日々アクガル、ノジヤ、春ヲ惜シムハ、ワレラ斗ジヤナイゾヨ、カノ蛛ノ巢ヲミレハ、桃ノ花ヲヒキトメテ、ヨソヘチルヲ許サヌ、虫マテモコノトホリジヤホトニトナリ、チト織巧ニ似タレトモ、面白シ、

又

趙秉文

無數飛花送小舟。蜻蜓欵立釣絲頭。一溪春水關何事。皺作風前萬疊愁。

春ノ暮レヌルヲ惜ムナリ、飛花ハ落花ナリ、欵ハ緩ノ心ニテ、ヒラ〜トユルクトブナリ、杜詩ニモ、欵々ト用タリ、無數ノ落花、風ニフカレテ流レユクハ、小舟ヲオクルヤウ也、蜻蜓ハヒラ〜トユルクトンデ、釣絲ノウヘニトマルモ、心アリゲナリ、一溪ノ春水、人事ニハ關カラサルモノナレトモ、ソレサヘ川ヅラニシワヲヨセテ、風前萬重ノ愁ガホナルハ、是モ春ノユクヲ惜ムナルヘシ、ト無情ヲ把テ有情ヲ形ス、妙、飛花風前、前後呼應、即溪水モ蜻蜓モ、皆コノ春風ノ花ヲチラスヲ惜ムノ意、言外ニ明カナリ、

又

同

煙外絲々風柳斜。春光又自到天涯。太平有象村々酒。寒食無家處々花。

客中春ニ逢フヲ悲ムナリ、煙ニカ、ル青柳ノ、イトノ亂レテ吹風ニ、靡クヲミレハ、春ノ日ノ光遍ネク天サカル、鄙ノ都ノ隔ハナシヤ、マシテヤ今日ハ寒食日、チマヤムスメノ墓參、ソレヲミコンデコ、カシコ、里村々ノ一膳店、一ブクガテラニ腰ヲカケ、

足モシドロニカヘルヲミレハ、秦平ノケシキモ長閑ナルニ、ワレラハヒトリ旅ノソラ、家モナケレハ子供モツレス、コノモカノモニ花サケド、折テ手向ケン墓モナク、春ノ遊ヲヨソニ見ル、コノワビシサヲイカニセムト、下ハ對句デ納メタル妙作ナリ、

雨中

何得之

閉門連日雨霏々。一醉誰憂生事違。睡起不知風色暮。北窓花氣濕人衣。

雨中一醉ノ快ヲ述フル也、毎日々々雨フリツヅキ、ケフモ亦雨天ナレハ、朝ヨリ門ヲトヂテ、一杯酒ヲクメハ、早ヤ醉マハリテ、生計ノ算段ガタガヘルモ、何カ憂ヘント、醉餘一睡、高イビキ、起アガレハ、ハヤ日モクレテ、北窓ノ花氣雨ニ和シ、シツボリト人衣ヲウルホシケルモ、シラズ、ツイ〜寝過シタト、皆是酒吞ノアリガチノ事ナリ、

新秋

釋祖可

雨歇籬籬秋暗生。高林涼葉未知驚。炎蒸惡客元無用。新月故人双眼明。

新秋ノケシキヲ寫セルナリ、籬籬ハ、トコムシロ也、新月ハ雨餘ノウツクシキナリ、秋ニ入テ、ヒトサメスレハ、ハヤ秋氣ノ涼シクテ床席モシカズナリヌレトモ、高林ノ涼葉ハ、マダチリモハシメズ、炎蒸ノ惡客ハ去、新月ノ故人ハ來ル、故人ハ青眼モテ邀フレドモ、惡客ハ全ク御免ジャト、是モ三四對句ヲ以テ結ヲナス、

秋登涪陽城

李群玉

穿針樓上閉秋煙。織女佳期又隔年。斜漢夜深吹不落。一條銀浪掛秋天。

七夕モスギテ全ク秋ノケシキヲ云ナリ、女ドモ今宵九孔ノ針ニ糸ヲトホスモノハ、願事ガ叶フトテ、争テ二階ニ上リケルモ、夜フケトナレハ、皆々又争テ二階ヲ下リ、アトハ秋煙ノトヂフサガルノミナリ、サレハ星合ノ佳期モ、マタ〜一年スギタホトニ、

仰テ空ヲミレハ、天ノ河モ西東、風ハ吹ケトモ、下ニハオチス、只一條ノ銀浪、涼天ニ掛カルヲミル、サテ、イヅコヲミテモ、秋ノケシキジャトナリ、題ノ潯陽城ニ登ルノ意、終ニ詩中ニミエス、七夕ナドニ改ムヘシ、且、秋煙ト云テ、又秋天ト云、吹ト云テ、風ヲカクシタトモミエス、無作法ナル作也、秋天ハ、涼天ナトノ字ニ改ムヘシ、思フニ是ハ群玉ノ作トアレトモ、恐クハ偽作ナルヘシ、

重陽

文々山

世事濛々醉不知。南山秋意滿東籬。黃花何故無顏色。應爲元嘉以後詩。

重陽ノ菊ヲミテ、陶淵明ヲ慕ヘル也、世事ハ濛々トシテ煙ノ如シ、何ガナニヤラ吾ハ醉テシラス、而モ今日ハ重陽ジャニヨツテ、菊ノ杯ヲ重ヌルノジャ、オモヘハ彼ノ陶靖節ハ、採菊東籬下。悠然見南山。トウタヒシガ、今ニ南山ノ秋意ハ東籬ノ下ニミツレトモ、何トナク今ノ菊ニハエナキヤウナルハ、何故ゾトイヘハ、靖節ハ宋ノ

文帝元嘉年中ニ歿シテ後ハ、復、靖節ノ如キ忠臣ハ出テス、菊ノ詩ヲ作ルトモ、只淵明ノ口マネナレハ、菊ノ花マテモ、顔色ナキヤウニミユルモ尤ジャトナリ、淵明ハ、宋ニ仕ヘス、文山ハ、元ニ仕ヘス、兩人ハ眞ニ是レ曠古ノ知己ナレハ、ソノ言カクノ如シ、

冬日即事

馬定國

歲暮行人竟不來。空吟溪樹覓寒梅。何時消盡關山雪。收拾春風入酒盃。

冬ハ行人ノ歸ヘラヌヲ憶フ也、年ハクレユク、待ツ人ハ來ラス、年内ニ手ヲ携ヘテ寒梅ヲサグリ、一杯クマバヤト思設ケシニ、トウ、カヘラサルハ、關山ノ雪ニフリコメラレシニヤ、シラズ雪モキエテ春ニナリ、互ニ酒クミテ無事ヲ悦コハンハ、何ノ頃ゾトナリ、竟ノ字、着眼、關山ノ字、行人ニ應ス、溪樹ノ樹ハ、畔ナトノ誤ナルヘシ、定國字ハ子卿、在中ノ人、薺堂集アリ、

錦繡段俚解卷二

○懷古 上 題詠 二十七首

蒼頡臺

汪導

觀迹成文代結繩。皇風儒教浩然興。幾人從此休耕釣。吟對長安雪夜燈。

文字制作ノ利害ヲ述ヘシ也、蒼頡ノ出ツルマテハ、結繩ノ世トテ、物ヲ記スニ、繩ヲ結ヒタルヲ、蒼頡出テ、鳥迹ヲミテ文字ヲ作り、之ニ代ヘシヨリ、天子ノ風化モ、儒家ノ文教モ、浩然トシテ勃興セシハ、文字制作ノ利ニシテ、蒼頡ノ功大ナリト云ヘシ、抑コノ文字ヲ作りシヨリ、學文ト云コト、ハヤリ出テ、片田舎ノ太郎作モ、濱邊ノ五郎助モ、大事ノ農業ヤ漁業ヲヤメテ、我モ一番大臣トナラン、大將トナラントテ、笈ヲ負テ長安ニ出デ、嚴冬半夜ノ燈ニ對シ、讀書呻吟ハヨイガ、畢竟ハ、大臣大將ハオロカ、一局ノ長ニモナレス、其間ニ休ハヨソル、荒仕事ハイヤニナル、今ハモ

トノ郷里ニ歸テ、百姓モデキス、親ヤ先祖ノ遺産ヲ賣飛シ、京ニ出テ、何ヲスルカ、トミレハ、愚ニモツカヌ兔園ノ冊子ヲカキ、傍ヲ講肆ノ招キニ應シテ、薄イ生計ヲタツルモノ、世ニ幾人ナル、其數シルヘカラス、是文字制作ノ害ニシテ、文字ナクハ、コノ徒^{イタツ}ヲモノモ出^{イテ}クマジキナリ、淮南子ニ、蒼頡書ヲ作りシカハ、天、粟^{ソク}ヲフラシ、鬼、夜哭ストアル註ニ、許慎曰ク、書契ヲ作レハ、詐僞萌生シ、本ヲ去^ステ、末ニ趨リ、耕作ノ業ヲ弃テ、錐刀ノ利ヲ務ム、ソノ時ハ、天下大ニ饑エン、天之ヲシリテ、爲メニ粟ヲフラス、惡鬼モ是マデ惡事ヲシテモ、書留メラレサリシガ、文字出來ノ後ハ、萬事効セラレンカト恐レテ、日夜聲ヲカラシテナキケルト也、コノ話、文字ノ利害ヲ面白ク説ケリトコソ云ヘケレ、鬼ノ夜哭スルハ、文字ノ利ナリ、天ノ粟ヲ雨ラスハ、文字ノ害ナリ、人智ノ開クルニ從テ、蒼頡ノ如キ賢シキ者ヲ生シ、文字ノ作ラル、ニ從テ、アマタノ遊民ヲ生スル、今日ニ至テ極ル、此詩モ右ノ趣ニテ作りシナルヘシ、上二句ハ利、下二句ハ害、耕釣長安ノ文字、着眼、鬼ノ字、一ニ兔ノ字ニカケルハ非ナリ、

磻溪

温庭筠

呂公榮、達子、陵歸萬古煙、波遠釣磯橋上。一通名利路。至今江鳥背人飛。

呂公ニ寄託シテ、世人ノ名奔利走ヲ非ルナリ、呂公、名ハ尙、字ハ子牙、望ト稱ス、本姓ハ姜、イハユル太公望ナリ、磻溪ハ太公カ釣ヲタレシ所、虢縣ノ東南十八里、今ニ兩膝ヲツケル石アリト云、少キ時ハ至テ迂濶ナル人ナリシ由、殷ノ亂ニアヒテ、生計ニ苦ミ、市ニアツテ麵ヲ販ケハ、大風ニアヒ、牛ヲ屠レハ、暑熱ニアヒ、漿ヲ賣レハ、涼氣ニアヒテウレス、飯ヲウレハ、豊年ニアヒテカハレス、何ヲ營ミテモ、損スルコトノミニテ、日ニノ窮セシカハ、後ハ妻ニモ見棄テラレテ、獨暮シトナル、サレト生來學ヲ好ミ、西周ニ聖王マシマストキ、テ、西ノ方ニユキ、磻溪ノ谷間ニ住ミ讀書ノカタハラ、魚ヲツリテ生活シケルホトニ、文王ノ狩ニ出ラル、ニアヒヌ、時ニ王問玉ヒケルハ、ソコナ者、直鈎ヲ垂ル、ハイカニ、尙云、命ニ負ク魚ノミヲトルナ

リ、カクテ幾年ヲカフル、云、只今ニテ一年ヲヘヌ、妻子アリヤ、ナシ、妻子ノナキハ心配セサレトモ、國ニ王者ノナキヲ憂フト云、今上ニハ紂王ノマシマスニ、王者ナシトハイカニ、云、紂王ハ無道ナレハ、王者ナキニ同シト答ヘケルヲキ、テ、奇物ナリトテ、同車ニテ歸ヘラレ、岐州ニ至テ桓檀公ニ封ス、文王崩シテ後、武王尙ヲ軍師トシテ紂ヲ伐チ、號シテ尙父ト云、天下ヲウルニ及テ、齊侯ニ封セラレ、國境ニ至リシトキ、前ノ妻夫婦タランコトヲ求メシカハ、一盃ノ水ヲモチ來レト云、モチ來タレハ、地ニアケヨト云、地ニアケタレハ、取レト云、取ラレスト云ヘハ、恩愛一別、不更重合ト言ハナチテ去リシカハ、其女ハチ怨ミテ、終ニ死ニケルヲ、人埋ミテ冢ヲツキ、惡知馬氏塚ト號シケルト也、右、太公ノ難ニ遭テ性ヲ忍ヘル、後、終ニ帝王ノ師トナレル、妻ナル者ノ夫ヲミステ、遂ニ恨ミ死ケル、イツレモ男女ノ良キ教訓ナレハ、書記シツ、呂公ハカヤウニ榮達セシガ、嚴子陵モ漢ノ光武カ友人ニテ、光武ノ帝トナルニ及テ、一度召出サレタレトモ、仕ヘスシテ歸ヘリ、桐江ニ隱レテ、其世ヲ終ヘタリ、歸リタルハマダヨイガ、呂公ハ功名心ニカラレテ終ニ歸ラス、人ハ定メナイ

者ジャガ、煙波ハイツモ變ラス、舊釣磯ヲ遠リ洗フナリ、カ、ル溪間ニカケタル橋ノ上デモ、一タヒ名利ノ路ヲ開キ通ジテヨリハ、江上ノ鳥モ愛想ツカシテ、相手ニナラス、今ノ世マテモ、人ニ背中ムケテ飛ブ、ソノ桶ヲ作りシハ、呂公ジャ、サテノ高節ヲ全ウスル人ノ少ナイコトカナト、嘆息ノアマリ、子陵ヲ引出シテ、呂公ニ對シ、子陵ヲ揚ケテ、呂公ヲ抑ヘ、萬古ノ煙波ヲ以テ、一時ノ榮達ヲ笑ヒ、至今ノ二字ヲ以テ、後世ノ俗物ヲ警シ、兩三羽ノ江鳥ヲ以テ、萬戶侯ノ呂公ヲ言シル、其抑揚頓挫、諷託切至、何等ノ痛快、何等ノ警策、且榮達名利、煙波江鳥、上下相對シ、作法極テ嚴、

讀 騷

周 衡 之

靈均忠憤不能平。寫出芳蘭杜若情。底事楚煙湘雨外。梅花不肯與騷盟。

離騷ノ中ニ梅花ノミエサルヲ不審セルナリ、靈均ハ屈原ノ異名ナリ、原、名ハ平、楚

ノ太夫ナリ、忠義ヲ盡シテ、上官太夫ニ譖セラレ、謫遷ノ身トナリテ、離騷ヲ作ル、離ハ遭ナリ、騷ハ憂ナリ、憂ニ遭ヘルノ心ナリ、離騷ハ名文ニシテ、後人尊テ經トセリ、故ニ文人ヲ騷人ト云フナリ、又遷客ヲ騷客ナト云ルハ、憂ノ義ヲ取レルナルヘシ、屈原ハ楚ノ人ニシテ、離騷ハ楚文ノ魁ナレハ、楚辞トモ云ナリ、其書ヲミルニ、君子ヲ芳蘭杜若ナトノ草木ニタトヘテ、忠憤不平ノ情ヲノベタリ、シカルニ梅花ハ其地楚煙湘雨ノ中ニアリナカラ、離騷ノ中ニミエサルハ、イカニゾヤ、梅ハ雪霜ヲ冒シテ開クモノナレハ、尤君子ニ喩ヘラルヘキニ、此書ト交盟ヲ結ハサルハ、不審ナリトナリ、按ニ南方ノ人、梅花ヲ木蘭トヨヒケル由、文選ノ註ニミユレハ、梅ヲハ載セサルニハアラデ、名ノカハレルナルヘシ、猶尋ヌヘシ、

范 蠡

呂仲見

一戰功成早掣身。釣竿輕動五湖雲。宮中拾得娥眉斧不獻吾君是愛君。

范蠡ノ功成リ身退クノ後モ、猶其君ヲ忘レサリシヲ述フルナリ、越王勾踐、會稽ノ耻ヲ雪カントテ、范ト吳ヲ謀リケルトキ、范、西施ト云美人ヲ吳王ニ進ム、吳王ヒタト溺レテ、晝夜酒宴ニフケリケルニ乗シテ、終ニ吳ヲ亡シ、威名主ニ震ヒケルヲ、功成リ身退クハ、天ノ道ナリトテ、身ヲハヤク引テ、五湖ノ舟ニ棹サシテ逃去リ、閑アルトキハ、雲底ニイデ、釣竿ヲタレ樂ミケルトゾ、其逃去リケルトキ、吳王ノ宮中ニ入テ捕ヘタル西施ヲ、再ツレカヘリテ、已ガ方ニ留メオキテ、勾踐ニ獻ラサリシハ、吳王ノ二ノ舞センコトヲ恐レテナレハ、是即君ヲ愛スルナリ云々、娥眉ハ、女ノマユヲ云ナリ、女ハ斧鉞ヨリモ恐ロシキ者ナリ、故ニ西施ヲ娥眉ノ斧ト云ルナリ、五湖ハ二說アリ、一ハ廣袤五百里、故ニ五湖ト云、一ハ五湖アルナリ、是ハ一湖ノ五百里アル洞庭湖ヲ云ナリ、范蠡ハ戰國一流ノ人豪ニシテ、越ヲ去リシ後ハ、齊ニ往テ姓名ヲカヘ、鴟夷子皮ト稱ス、ソノ折、齊ニ抱ヘラレテ相トナリシカトモ、程ナク相ヲ辞シテ、陶ト云所ニユイテ居住シ、姓ヲ共ト改メテ商業ヲ營ミ、巨萬ノ富ヲ致シテ、陶朱公ト人ニ稱セラル、陶ハ貿易繁昌ノ地ニシテ、ソコニ十九年ヌミ、財産ヲ三タヒ散シテ、

疎遠ノ兄弟ヨリ、貧交ノ友人マテニ施シタルハ、能ク聚メ能ク散スト云ヘシ、西施ヲ挾レテ去リシコトハ、鶴林玉露ニ載セテ、ソノ説ニ云ク、蠡ハ其色ヲ悦ヘルニアラス、其吳ヲ蠡セシ者ヲ以テ越ヲ再ヒ蠡センモ知ルヘカラス、故ニ之ヲツレテ去リシハ、越ノ禍基ヲ釀ザラシメン爲ナリ、是ヲ以テ言ヘハ、蠡ハ越ヲ去ルトイヘトモ、未嘗テ越ヲ忘レサルナリト云リ、蠡ノ孤忠遠謀ヲヨク發スト云ヘシ、今コノ詩モソノ意ナリ、

同

鄭解

十重越甲夜成圍。宴罷君王醉不知。若論破吳功第一。黃金只合鑄西施。

范蠡ノ金像ヲミテ嘲ケルナリ、越王、范ノ軍功ヲ思テ、黃金以テソノ像ヲキタリト云、越ノ甲兵、夜、吳王ノ宮城ヲ八重十重ニ取圍ミケルニ、吳王酒ニエヒテシラス、酒ニエヘルニアラス、西施ニエヘル也、サレハ破吳ノ功、イツレカ第一ナルト論セハ、正シク西施ナルヘケレハ、范像ヲキルハ無用ナリ、西施ノ像ヲコソキルベケレトナリ、サレトモ、ソノ西施ヲ進メタルハ、范ナレハ、コノ論當ラス、且全篇議論ニシテ、詩ニアラス、

讀秦記

元端

海上空求五色芝。鮑魚風起竟堪悲。桃源自有長生路。却是秦皇不得知。

始皇紀ヲヨミテ、求仙ノ愚ヲ笑ヘルナリ、始皇榮華ノ極、長生ノ慾ヲ起シ、徐福ヲ遣ハシテ、海上蓬萊ノ島ニ渡リ、五色ノ仙芝ヲ求メシム、然ルニ其人歸ラス、始皇待アグミテ巡狩ニ託シ、自ラ往テ沙丘ト云所ニ至テ、病ヲ發ス、時シモ暑キ頃ナリシカハ、死骸ノ次第ニ臭クナルホトニ、其氣ヲマギラカサントテ、鮑魚ホシカヲ後車ニ載セテ歸リ、ヤウヤウニ喪ヲ發シケルトソ、長生ノ藥トテ、外ニハナキ者ヲ、イタツラニ求メシメタルハ、畢竟其命ヲ短クスルノ基ニシテ、ソノ愚悲シムニタヘタリ、看ヨク長生ノ路ハ、其時ノ亂ヲサケテ、桃源ニ隠レシ者ニオノツカラアルナリ、始皇ハ長生ノ術ハ

ソノ人ニアツテ、它ニアラサルコトヲ、御存知ナイトミエタリ、是ガヲカシイゾトナ
リ、コノ詩ノ妙ハ、虎字ノ斡旋ニアリ、空、竟、自、却ノ四字ヲ、ヨク〱玩味スヘ
シ、總ジテ言ハハ、方士ヲ遣ハシタルハ、ムダ事ニテ、畢竟ハ、憐ムニタヘタリ、ソ
レヨリハ、彼ノ避秦ノ人ニオノツカラ長生ノ術アリテ、始皇ハ却テソレヲ知ラサルコ
ソ愚カナレトナリ、是始皇ノミニアラス、世ノ中ノ智者ト云モノハ、多クハ愚ニ歸ス
ルモノナリ、桃源ノ落人ハ、愚ニシテ智ニ歸シ、萬乘ノ秦王ハ、智ニシテ愚ニ歸ス、
ヨイ對照ナリ、

同

蕭澥

築。了。連。雲。萬。里。城。春。風。絃。管。醉。中。聽。淒。涼。六。籍。寒。灰。裏。宿。得。咸。
陽。火。一。星。

秦ノ亡タルハ、秦自ラ亡シタルトナリ、連雲萬里ノ長城ヲ、北ノ界ニツキアゲテ、是
デ安堵ノ高枕、吹クモ長閑ケキ春風ニ、絲竹管絃ノ聲サエテ、フクルモシラス醉中ニ、

キ、アコガル、秦王ノ、心ノ中ヤイカナラン、三墳五典モ何カセント、一朝百家ノ書
ヲ娶メ、灰ニナシタルソノ中ニ、火ノ子ノコリテ咸陽宮、三月ニワタル大火事、是ヲ
項羽ノ燒打ニシタリト思フハ、人ガヨイト、秦ノ一興一亡、ミナ自ラ爲シ、所以ヲ、
連雲春風寒灰星火ノ文字ヲ蟬聯落下、一氣呵成ニ作りナシタル、傑作ト云ヘシ、轉結、
焚書ヨリ咸陽宮ノ火ニ結付ケタル、落想尤妙、上二句ハ興、下二句ハ亡、

李斯

陳仲猷

八荒同軌託雄圖。是古非今盡剗除。可惜當時猶漏網。不焚圮
上老人書。

李斯ノ愚ヲ誹ルナリ、李斯ハ楚ノ上蔡ノ人ニシテ、年ワカキトキ、郡ノ小吏トナリ、
鼠ヲミテ歎シテ曰ク、役所ノ廁ニ入タルハ、不淨ヲ食テ人ヲ恐レ、倉中ニ入タルハ、
米ヲ食テ人ヲ恐レス、人ノ賢不肖モ、コノ鼠ノゴトキジャ、ソノ自處スル何如ニヨル
トテ、憤然志ヲ立テ、苟郷ニ從ヒ、帝王ノ術ヲ學ヒ、學ステニ成テ、奉公セント欲ス

レトモ、六國ノ諸侯ミナ弱クシテ、功ヲ建ツル所ナシトテ、西ノ方秦ニ入テ、終ニ宰相トナリシ人ナリ、故ニ八方ヲ一家トシ、車ハ軌ヲ同クシ、書ハ文ヲ同クセント欲スルハ、李斯卡一生ノ雄圖ニシテ、一身ヲ之ニ託シ、古ヲ是トシ、今ヲ非トスルモノハ、時ノ治安ニ害アリトテ、儒者ヲ坑ニシ、六經ヲ焚テ、其害ヲ除キタルハ、ヨイガ、惜シイコトニハ、當時尙ソノ法網ニ漏レタルハ、圯上老人ノ書ニシテ、コノ書ヲ焚カサリシ故ニ、張良其書ヲ授カリテ、漢祖ノ師トナリ、終ニ秦室ヲ亡シタリト、圯上ノ老人ニ託シテ、坑儒焚書ノ禍源ヲナスコトヲ知ラサルノ愚ヲソシルナリ、剷除漏網、素書同軌、相反シ相應ス

項羽

杜牧之

勝敗兵家不可期。包羞忍恥是男兒。江東子弟多才俊。卷土重來未可知。

項王ノ江東ニ還ラサルヲ惜ムナリ、勝敗ハ兵家ノ常ニシテ、豫期スヘカラサルコトナ

リ、故ニ一タヒ敗軍ニ及フトモ、羞ヲ包ミ耻ヲ忍フハ、男兒ノワザナルヘシ、殊ニ江東ノ子弟ニハ、才俊モ尙多キコトナレハ、土ヲ卷テ重ネテ攻メ上ランコト、出來カタキコトニモアルマジキニ、ヲシキコトヲシタル者ナリトナリ、此論一往尤ナル言事ナレトモ、項王ハ承服ハナルマジキナリ、蒼溪カ漁隱詩話ニ、牧之ノ題咏ニ於ケル、人ニ異ナルコトヲ好ムトイヘルゴトク、何カ人ニカハリタルコトヲイハント巧ムガ、牧之ノ癖ナリ、後ヨリイヘハ、何トデモイヘルコトナレトモ、項王ヲヨク知リテ、論ハタツヘキナリ、當時項王ノ人トナリヲヨクシルハ、范增ニシクハナカルヘシ、其言ニ、項王ハ不忍ナリトアツテ、情ニアツキ人ナリ、其烏江ノ亭長ニイヘル詞ニ、藉與江東子弟八千人。渡江而西。今無一人還。縱江東父兄憐而我。我何面目見之。縱彼不言。藉獨不愧於心乎。トイヘルナト、千載ノ下、讀ムモノヲシテ泣カシム、且亭長ハ長者ナリトテ、其愛馬騅ヲ與ヘテ、吾騎ニ此馬ニ五歲。所當無敵。嘗一日行千里。不忍殺之。トイヘル、何トヤサシキ人ナラスヤ、カクノ如キ人ニシテ、天下ノ遂ニ漢高ノ手ニオチシハ、仁暴ノ勢シカルナリ、サ

レトモ漢高ノ仁ハ、假ニシテ暴ハ真ナリ、項王ノ暴ハ、假ニシテ仁ハ真ナリ、タトヒ假ナリトモ、仁ナレハ人之ニ從ヒ、暴ナレハ人之ニ背クハ、世ノ中ノナラヒニシテ、天下ノ向背ハ、之ニ決ス、而シテ其真假ハ、人之ヲ問ハサルモノナリ、イハンヤ天下ノ民ニ於テヲヤ、故ニ項王ノ一死以テ江東ノ父兄ニ謝スルハ、是項王ノ耻アツテ忍ヒサルノ情ニ厚キ所ナリ、亦是項王ノ後人ニ思ハレテ、千古ニ朽チサル所以ナリ、故ニ項王ハ、コノ論ニ承服ハスマジト云ルナリ、

進履橋

周衡之

博浪沙頭恨未消。斃秦踏項不終朝。漢家四百年宗社。開闢洪基在此橋。

漢室四百年ノ業ハ、張良ノ功ナルヲ言ナリ、進履橋ハ、下邳ノ土橋ヲ云ナリ、土橋ノ上ニテ、黄石公ニアヒ、履ヲトリテ進ラセシヨリ、コノ名アリ、張良ハ韓ノ人ニテ、良カ家五世韓ノ宰相タリ、トイヘハ、歷々ノ家ノ生レナリ、父ノ名ヲ平ト云、シカルニ

韓ノ悼惠王二十二年ニ卒シ、廿年ヘテ秦王韓ヲ滅ス、ソノ頃ハ良マダ年ワカニテ、韓王ニ仕ヘス、弟アツテ死セシカトモ、葬ルコト叶ハス、ヨツテ家財ヲウリテ、刺客ヲタノミ、韓ノ爲メニ仇ヲ報セント圖リケルホトニ、秦王東遊シテ博浪沙ニ至ルト聞キ、良、力士ヲタノンテ、鐵椎ヲ投ウチケルニ、副車ニ當リテ、當ノ敵ニアタラス、始皇大騒シテ、曲者ヲ求メタレトモ得ズ、良仕損シタリトテ、恨骨髓ニ徹リ、更ニ工面ヲ運ラシケル程ニ、フト下邳ノ圯上ニテ、黄石公ニアヒ、一卷ノ兵法ヲ授カリ、日夜苦學、後沛公ニ從テ項梁ニアヒ、韓ノ公子橫陽君成ト云ラ立テ、韓王トシ、更ニ沛公ヲ助ケテ秦ヲ亡シ、以テ韓ノ仇ヲカヘシ、後項王ヲ踏フス、其間朝ヲ終ヘスシテ、其志ヲ遂ク、故ニ漢室四百年ノ宗廟社稷ヲ開キシ、其洪基ハ、コノ橋ニテ、太公ノ兵法ヲ受ケタルニ原ストナリ

四老席

杜牧之

呂氏強梁嗣子柔。我於天性豈恩讐。南軍不袒左邊袖。四老安

劉是滅劉。

四皓ノ安劉ハ姑息ナリト云ルナリ、呂氏ハ強梁ニシテ、戚姫ハ寵ヲ恃ミ、漢高其子ヲ立テント欲シテ、嗣子惠帝ノ位地危カリシニ、張良ノ計ニテ、商山ノ四皓東園公、綺里季、夏黃公、角里先生ト云皆八十以上ノ老人ヲ召ヨセ、惠帝ノ仁柔ヲ稱賛セシメシカハ、高祖羽翼已ニ成レリトテ、終ニ太子ヲ廢セサリシハ、四老ノ功ナレトモ、四老ニ於テハ、元來彼我ニ恩讐ハナキナリ、只張良ノ計ニ從テ、芝居ヲセシノミナリ、它日諸呂ノ亂ヲ起サントスルトキ、呂氏ノ方人カタウトスルモノハ、右ノハダヲヌゲ、劉氏ノ方人スルモノハ左ノハダヲヌケト、周勃ノ令セシトキ、南軍左ノ祖ヌガスンハ、四老ノ一時劉氏ヲ安セシト云モ、畢竟ハ是劉氏ヲ滅スコト、ナリツランモ、知ルヘカラネハ、何ノ功カアルトナリ、是モ非理窟ニテ、一時劉氏ヲ安セシハ、事實ナリ、異日ノ事ヲ引來テ、ソノ事ノ成ラザランニハ、最初ノ安劉モ滅劉ニ同シトハ、是何タル言ゴトソヤ、且嗣子ノ仁柔ヲ言ハントテ、呂氏ノ強梁ヲ言フハ、轉結ノ呂氏ノ亂ヲ言ハントテニヤ、イトイブカシ、我於天性ト云フモ、ケンカラヌ文字ナリ、北軍ヲ南軍ト云ルモ、

史實ニタガヘリ、要スルニ、コノ作杜氏ノ作トモ覺エス、カウヤウノ詩ヲ何トテ采取セシニヤ、五山ノ僧ノ詩ニ暗キモ甚シト云ヘシ、

明妃曲

許愧甫

漢宮眉斧息邊塵。功壓貔貅百萬人。好把香閨舊脂粉。淡粧濃抹上麒麟。

明妃ノ蠱媚ハ、兵力ニモ勝ルト云ルナリ、明妃ハ王昭君ヲ云、昭君ハ王嬙ノ字ニシテ、明妃ハ其美ヲ稱セシ號ナルヘシ、漢元帝竟寧元年、單于入朝シテ、漢ノ婿トナツテ、和親ヲ永ク結ハント乞ヘルニ、帝昭君ヲ賜ヒシカハ、單于大ニ喜ヒ、上書シテ上谷ヨリ西ノ方燉煌マテ、備塞ノ吏卒ヲ引拂ヒ、彼我ノ民ヲ休養セシメント請フ、因テ有司ニ下シテ議セシムルニ、皆以テ便トセリ、ト匈奴傳ニミュ、又漢宣帝ノ時、功臣ヲ麒麟閣上ニ圖畫セシメタルコトアリ、言ハ漢宮ニ王昭君ト云美人アリ、娥眉ノ斧鉞ヲ以テ、邊塞ノ兵塵ヲ息メ、兩國ノ和親ヲ永ク結ハシメタル、其功ハ貔貅百萬ノ兵ヲ壓倒

スルニ足ル、故ニ功臣ノ像ヲカイテ、後世ニ傳ヘントナラハ、昭君ノ部屋ニ殘レル舊脂粉ヲ以テ、淡彩濃染、ソノ像ヲイカニモ美シクカイテ、麒麟閣上ニカ、ゲタル方、尤恰好ナラントナリ、思ヒキツタル作ナリ、

又

同

馬背東風去路賒。幾多幽意寄琵琶。妾身若是能傾國。盡捲胡沙入漢家。

昭君ノ意中ヲ寫セルナリ、頃ハ彌生ノ春ノ空、花ノ都ヲアトニミテ、ウツシノ駒ニ策ウチテ、知ラヌエミシノトツ國ニ、ハル／＼向フ昭君ガ、心ノウチコソ哀レナレ、ヨルベモナミノ捨小舟、ハタニ語ラフ人モナク、千々ノ思ヲ引キナラス、琵琶ニヨセテゾナグサムル、女性ノ身ニモマストラヲノ、猛キ心ノアリトシモ、誰カハ知ラン雄々シクヤ、妾カ身ニテトツクニノ、城ヲ傾ケ國ヲシモ、傾ケンコトノ叶ヒナバ、荒野ノ沙ヲ吹キタツル、嵐トナリテシコ草ノ、エミシヲナベテ大君ノ、境ノ内ニ入レマシモノ

ヲ、ト思フ心ノアリヤ否ヤ、シラネトモ、見ル人ノカク作ルモ、一ノ趣向ナリ、

又

陳澗

驪山舉燧因褒姒。蜀道蒙塵爲太眞。能遣明妃嫁夷狄。畫工元是漢忠臣。

明妃ヲ夷狄ニ嫁セシハ、畢竟畫工ノ功ナリトナリ、元帝毛延壽ト云フ畫工ニ、宮女ノ形ヲカイテミセヨ、ソノ中ニテミメヨキヲ愛セントアリツルニ、宮女爭テ延壽ニ賂ス、然ルニ昭君ヒトリソレニ例ハサリシカハ、至テ醜クカケケリ、サル程ニ、呼韓耶單于、漢ノ婿タラント請フ、因テ昭君ヲ出シテ單于ニ嫁セシムルニ、美人ナリシカハ單于ノ寵愛一方ナラス、之ニ因テ兩國ノ平和ヲ保チタレハ、畢竟畫工ノ延壽ハ忠臣トコソ云ヘケレトナリ、是ソノ趣向ニシテ、之ヲ言ハントテ、前ノ二句ヲ説起セルナリ、昔周幽王褒姒ヲ后トス、姒、笑ハサル女ナリシカハ、何トカシテ笑ハシメントテ、兵モ至ラサルニ、烽火ヲアゲシカハ、諸侯悉ク至ル、姒ソレヲミテ大ニ笑フ、後、犬戎ノ攻

入リシトキ、烽火ヲアゲシカトモ、諸侯前ニ懲リテ至ラス、犬戎ヨリテ幽王ヲ驪山ノ下ニ殺シキ、唐ノ玄宗揚貴妃ヲ愛シ、安祿山ノ叛心アルコトヲモ知ラス、終ニ蒙塵シテ蜀ニオチユキ給フ、何レモ女ニヨツテカ、ル禍ヲ招キタルナリ、周幽ノ禍モ、漢元ノ福モ、ミナ女ノワサニテ、ソノ福ヲ致シ、ハ、書工ノ昭君ヲミニク、カキシニヨレハ、延壽ヲコソ忠臣トモスヘキニ、後ニソノ事露ハレテ、棄市セラレタルハ、氣ノ毒ナリトノ意、言表ニアリ、上二句ハ禍、下二句ハ福、太真ハ貴妃ノ字ナリ、

同

僧皓然

自倚嬋娟望主恩。誰知美惡忽相翻。黃金不買漢家貌。青塚空埋秦地魂。

單于ノ漢ニ婿タラント請ヘルカ、明妃ノ不幸トナリシヲ云ルナリ、明妃其嬋娟ヲ自恃テ、主恩ヲ望ミタルニ、延壽ノ手ニヨツテ、美惡忽ウラハラニナラントハ、明妃モ思ハサリシナルヘシ、モシ單于ニ黃金ヲ出シテソノ女ヲ買ヘトイハツ、單于トテモ買フ

マジキヲ、漢ノ婿タラント乞ケルル、黃金ヲ口ニセスシテ、ソノ尤ミニクキヲ與ヘラル、是明妃ノ不幸ナル身ニアヘル原因ニシテ、終ニカノ地ニテ死ケルガ、イカ斗恨ノ殘リケム、胡地ハ寒氣ツヨクシテ、草色ミナ白ミケルニ、明妃ノ塚ニ生フル草バカリハ、イツモ青カリシトゾ、倚ハモタル、ナリ、故ニ自恃ム心ニ用タリ、漢家貌ハ、延壽ノカキシ畫中ノ貞ヲサスナリ、宮中ノ貞ヲサスニ非ス、秦地ハ漢地ヲサスナリ、漢ノ代トナリテモ、猶秦トヨヘルハ、後世ニ至テモ、ヤハリ漢唐ノ名ヲ以テ呼ヘルカ如シ、下二句對、黃金青冢、不買空埋、漢家貞秦地魂、讀テコノ詩ニ至テ、馬頭始見米囊花ノ感アリ、

同

僧李潭

玉貞風沙勝畫圖。琵琶難寫舊恩疎。宮中咫尺如千里。况復如今萬里餘。

明妃ノ怨ヲ寫シ、ナリ、玉貞ハ胡地ノ風沙ニ晒サレテモ、畫圖ノ醜クキニハマサルヘ

シ、カ、ル醜女ニウツサレタルヲ、何ノ吟味モナク、ソノマ、ニ胡地ニヤラレタル、
 舊主恩ノ疎ナルヲウラムルノ情、琵琶ノ哀音ニモ寫シカタシ、サテモ漢宮ノ中ニアリ
 シトキスラ、咫尺ノ玉階モ、千里ノ如ク隔タリタルヲ、マシテヤ只今萬里餘ノ外ニア
 ルヲヤトナリ、サラノトカキ流シテ、明妃夜々ノ恨、人ヲシテ想像ニタヘサラシム、
 此詩風沙ヨリ主恩、主恩ヨリ宮中、宮中ヨリ萬里ト轉シテ、萬里ノ風沙、宮中ノ主恩、
 オノツカラ項針回環ヲナス、妙ナリ、

楊雄

劉潜夫

執戟浮沈亦未迂。無端著頌美新都。白頭所得能多少。枉被人
 書莽大夫。

揚雄ノ晩節ヲ全ウセサルヲ惜メルナリ、雄、黃門侍郎タリ、郎官ハ、守門戶。故ニ執
 戟ト云、今ノ宮中ノ警官ナリ、無端ハ、何ノワケモナキ也、新都ハ、王莽ノ爵名ナリ、
 新都侯ニ封セラレシヲ、雄、劇秦美新ノ頌ヲ作りテ稱賛セリ、後、宋ノ朱子ニ至テ、

通鑑綱目ヲ編シ、莽太夫卒スト書セリ、言ハ黃門郎トナリテ、終身コノ世ニ浮沈スト
 モ、節ヲ失ハスンバ、世事ニ迂ナリトハ、イハレマジキヲ、何ノワケモナク、節ヲ變
 シテ頌ヲ作り、王莽ヲ美メタルハ、何タル鄙怯ソヤ、ソレモワカキ時ナラハ、尙恕ス
 ヘキヲ、白頭ノ年ニ至テ、忽ニ變節漢トナル、知ラス其得ル所ヨク幾許ゾヤ、只ソレ
 晩節ヲ全ウセサルバカリニ、宋ノ朱子ニ莽大夫卒ト柱ケテ書カレタルハ、口ヲシキワ
 サナラスヤ、カ、ル汚名ヲ流サンヨリ、黃門郎ノ官ハ卑クトモ、ソノ操ヲダニ變セス
 ンハ、苦節ノ名ハ、百代ノ後マテモ、殘ルヘキニ、ト返々モ雄ノ爲メニ惜メルナリ、
 上一句清、下三句汚、上一句卑、下三句高、高ヲ貪テ名ヲ汚シ、卑ヲ嫌テ清ヲ失ス、
 世間雄タラサルモノ幾ト希ナリ、可鑒可戒、

子陵釣臺

戴復古

萬事無心一釣竿。三公不換此江山。平生恨識劉文叔。惹得虛
 名滿世間。

子陵ノ高節ヲ美スルナリ、子陵ハ嚴光ノ字ナリ、劉文叔ハ、後漢光武帝ナリ、帝姓ハ劉、字ハ文叔、子陵ト同學ノ友タリ、位ニ即クニ及テ、召セトモ至ラス、ワサ〜其家ヲ尋ヌ、後一タヒ至ルトキニ、諫議大夫ニ任セントスレトモ、固ク辞シテツカス、歸テ富春山ニ耕シ、時々釣ヲタレテ遊フ、ソノ處ヲ嚴陵灘ト云、桐廬縣ノ南ナリ、釣臺數百丈、往來ノ客、詩ヲ題セサルハナシトソ、起一句全篇ノ主眼、下三句ミナ此句ヨリ流出ツ、萬事無心故ニ一釣竿ヲ弄フ、コノ江山ノ樂ハ、三公ニモカヘガタイ、故ニ光武ノ聘ヲ絶ツナリ、只其聘ヲ絶ツノミニアラス、光武ト同學ノヨシミアリテ、懇意ナリシガ、恨ジャ、只懇意ナリシ故ニ、光武モ尋來ラレテ、ソノ友ニハ嚴子陵ト云高士アリテ、終身仕ヘサリキ、トツマラヌ虛名ヲ世間ニ傳ヘラル、ナリ、ト子陵ノ腸ヲハカリテ云ルナリ、無心虛名、一竿三公、江山世間、不換恨識、双々呼應、亦是佳作、范希文カ詠ニ、漢包_ニ六合_ニ英豪_一。一箇冥鴻惜_ニ羽色_一。世祖功臣三十_六。雲臺爭似_ニ釣臺高_一。是モ佳作ナリ、我邦攝ノ池田ニ富逸ト云人アリ、字ハ日休、桐江ト號ス、モト武士ニシテ來リ隱ル、是我邦ノ嚴子陵ナリ、

同

無名氏

生涯千頃水雲寬。舒卷乾坤一釣竿。夢裏偶然伸_ニ双脚_一。渠知天子是何官。

子陵カ胸中ニ功名富貴ノナキヲ云ナリ、其胸中ノ寬キコト、千頃ノ陂ノ如ク、生涯一釣竿ヲタレテ、天地ノ間ニ、優遊自得セル、恰モ釣絲ヲ卷舒スルニ似タリ、カ、レハコソ脚ヲ伸シテ光武ノ腹ニモタセカケタルナレ、ソノ心ハ、天子ハは何ノ官ゾトミルガ故ナリトナリ、天子ヲミルコトスラ是ノ如シ、何ソ況ンヤ其餘ノモノヲヤ、是オノツカラ革命國ノ口吻ナレトモ、功名富貴モ江山ノ快樂ニカヘサル、ソノ高風卓節ニ至テハ、一服ノ清涼散ト云ヘシ、千頃ノ水雲ヨリ一竿ノ乾坤ヲ呼起シ、萬乘ノ舊朋ヲ双脚ノ下ニ踏ヘタル、雄絶快絶、一讀爽然、

同

成齊堂

節。義。功。名。總。不。輕。南。宮。圖。像。煥。丹。青。如。何。只。畫。風。雲。將。不。畫。桐。

江。一。客。星。

人主ノ功名ヲ貴テ節義ヲ輕スルヲ誹ルナリ、節義ノ士ハ世道ヲ維持シ、功名ノ士ハ、軍國ヲ經營ス、イツレモ重ンスヘキモノナルニ、南宮ノ凌雲閣ニ、名臣ノ圖像ヲ掲ケタルヲミレハ、丹青ノ蹟煥然トシテ人ヲ照ラス、然ルニソノ圖像ニハ、風雲ニ乗シテ軍國ノ殊勳ヲタテシ名將ノミヲカイテ、カノ桐江ニ釣ヲタレテ一生節義ヲ變セサリシ一客星ノ嚴子陵ヲカ、シメサリシハ何事ソヤ、シラズ功名ガ重キカ、節義ガ輕キカ、上、光武帝スラ功名ヲ重ンジテ節義ヲ輕ンスルコト斯ノ如シ、天下ノ名利ニ走リテ節義ヲ顧ミサル、亦何ソ怪シムニ足ランヤト、憤慨ノ意、口吻ノ表ニ迸シルヲミル、此詩、名教ニ補アリ、節義功名、一句並提、圖像丹青、二句暗叙、風雲將一客星、三四明叙、風雲以テ功名ヲ結ヒ、客星以テ節義ヲ結フ、

同

沉庸齊

山凍江流激素灘。羊裘立盡暮雲寒。早知釣餌成虛設。多却當

時一釣竿。

子陵ノ意釣魚ニ在ラサルヲ云ナリ、寒山ノ雪凍リテ氷ノ流出ツル、白波ノ灘上ニツキアタリテ聲ヲナス、コノ冬ノ寒キニ、羊裘ヲキテ、日ノ暮ル、マテ立チツクシテ、魚ヲツリシト云傳フルガ、然シ餌ヲツケテ釣ヲタル、ト云モ、コシラヘ事ニシテ、ソノ意ハ魚ニアラス、江山ニアリ、トツトニ知ルナラハ、ソノカミ寒サヲ厭ハデ、用ヒタル一釣竿モ、無用ノ長物ニシテ、多スグル也、トケチヲツケタルナリ、一釣竿ヲ暮雲ノ寒キニ引合セテ心ウヘシ、又釣餌ノコシラヘゴトナルヲイハントテ、素灘ニ激スト云ル也、白波ノタチサワグ處ニハ、釣モナルマジキナリ、

同

夾谷之奇

赤帝青氈僅已還。華勛高躅未容攀。詩家總認歸休意。不到狂奴兩字間。

子陵ガ狂奴ノ故態ヲ失ハサルノ意ヲ述フルナリ、赤帝ハ漢帝ヲサスナリ、漢ハ火徳ヲ

以テ王タリ、青氈ハ王子敬カ故事ナリ、盜アリテ子敬カ家ニ入リ、萬ノ物ヲトツテ去
 ラントス、子敬ミテ云、ソノ青氈ハ重代ノ物也、ソレバカリハ取ルナト云ケレハ、盜
 驚キテ逃去ルトゾ、漢帝ノ位ヲ王莽盜ム、ソレヲ光武ノ取還シタルヲ、重代ノ青氈ニ
 タトヘシナリ、華ハ舜ノ名、重華、助ハ堯ノ名、放助、助華ト云ヘキヲ、文字ノ調ニ
 ヨツテ倒用セシナリ、狂奴ハ光武、侯霸ト云者ニ、手書ヲモタセテ、子陵カ許ニ遣ハ
 シ、カトモ、子陵屈セサリケレハ、光武聞テ狂奴ノ故態サコソト云ハレシトソ、尙其
 折ニ出仕ヲ強ラレシカハ、昔、唐堯ハ著徳、巢父ハ洗耳、士故有志、何至相迫乎ト
 云リトソ、之ヲミテ此詩ハ作りシナリ、光武ハ漢帝重代ノ位ヲヤウノニ取還シタレ
 ドモ、ソレバカリテ、堯舜ノ高蹤ニヨヂ上ランコトハ中々ナリ、堯舜ノ時スラ許由巢
 父耳ヲ洗テ仕ヘス、マシテ光武ノ時ヲヤ、是子陵ノ高踏スル所以ナルヲ、詩人ソノ意
 ヲシラス、タ、歸休ヲ好テ出仕セサルモノト認ムルハ、子陵モ迷惑ニオモフヘシ、只
 歸休ノ意ナラハ、誰モスルコト也、畢竟狂奴ノ二字ヲ玩味セサルカ故ニ、子陵ノ本意
 ハ知ラレサルナリ、ト詩人ニ託シテ子陵カ見識至テ高キヲ寫ス、妙也、赤帝華助、歸

休狂奴、上下相對シ、僅已未容、總認不到、左右相應ス、

赤壁

龍鱗洲

踏呂推袁虎視眈。阿瞞氣勢捲江南。磯頭一霎東風轉。天下江
 山自此三。

赤壁ノ一戰ニテ天下三分トナリシヲ云ナリ、呂ハ呂布ナリ、袁ハ袁紹袁術ナリ、阿瞞
 ハ曹操カ幼名ナリ、磯頭ハ赤壁ノ南岸ヲサス、コノ時、曹ハ北岸ニアリ、孫權ハ南岸
 ニアリ、一霎ハ一シグレニテ、頃刻ノ間ヲ云ナリ、曹ハ呂布ヲ踏シクツカヘシ、袁ノ
 兄弟ヲ推シツブシ、猛虎ノ眈々タルカ如ク、其眼中ニハ既ニ江南ノ孫權ナシ、巴蜀ノ
 劉備ハイフモ更ナリ、然ルニ赤壁ノ一戰ニ、東南ノ風オコリテ、周瑜カ火船ニ全軍燒
 キタテラレ、霎時ノ間ニ勝敗決シ、曹這々ノ体ニテ逃歸リシヨリ、天下始テ分レテ三
 國トナリヌ、虎視氣勢、東風江山、字々映帶、

蘇子訓

陸務觀

世上年光東逝波。咸陽銅狄幾摩挲。神仙不死成何事。只向秋風感慨多。

蘇子訓ニ付テ長生ノ無益ナルヲ云ナリ、子訓ハ長命ノ人ニテ、後漢書ニ傳ミユ、サレトモ咸陽ニテ銅狄云々ノ事ハミエス、銅狄ハ始皇天下ノ兵ヲ咸陽ニ聚メ、鎖シテ金人十二造ル、ソノ重サ各千石、宮廷ノ中ニオクトアリ、其形ハ、ミナ狄人ナル由、故ニ金狄トモ、銅狄トモ云リ、薊ハソノ銅狄ヲ鑄タルヲミテヨリ、ステニ五百年ニナリヌトテ、摩挲シケルトソ、言ハ世上ノ年光ハ東逝ノ水ノ如ク、ユイテカヘラス、咸陽ニテ銅狄ヲ鑄タルヲ目撃シテヨリ、ハヤ五百年ニナルト云テ、ソノ銅人ヲスリミガイテ居タト云ガ、何才マテ生タ人ヤランシラス、中々ノ長命ジヤ、シカシ神仙不死ノ藥ヲ服シ、長命ストモ、ツマラヌモノデ、只人生ノ有爲轉變ヲミテ、感慨ヲマスノミジヤ、コトニ秋風ノ吹キタツコロニハ、一層アハレニ思フゾヨトナリ、先ツ年光ノ二字ヲ下シテ、末ニ秋風ノ二字ヲ下シテ結フ、手法極テ佳ナリ、

張季鷹

杜晦之

千里懷歸便自歸。蓴鱸聊以寄吾思。洛中戰鼓轟天地。正是松江獨釣時。

季鷹カ幾ヲ見テ歸ルノ神ナルヲ賛セシナリ、晉書張翰カ傳ニ、齊王問辟シテ大司馬東曹掾トス、翰、秋風ノ起ルヲミテ、吳中蓴菜ノ羹鱸魚ノ膾ヲ思テ云、人生貴得適志。何能羈官數千里以要名爵乎。ト遂ニ駕ヲ命シテ歸ル、時ニ問許昌ヲ鎮シ、兵ヲアゲテ趙王倫ヲ討チ、敗レテ誅セラル、人ミナ機ヲ見ルニ明カナリト云ケルトソ、千里ハ湖水ノ名ナリ、蓴菜ヲ産ス、松江ハ鱸魚ヲ産シ、各名アリ、サレトモ蓴菜ヤ鱸魚ガ食タタナツタト云ハ、イヒ草ニテ、ソノ實ハ齊王問ガ亂ヲ起サントスルヲ避ケシナリ、ハタシテ齊王ノ亂オコリテ、洛中大騷トナツタガ、ソノ頃ハ、丁度季鷹ガ吳ノ松江ニ釣ヲタレ、獨立超然、岡目八目デ、悠々自樂シメル時ジヤ、易ニ曰ク、知レ幾者其神乎、蓋季鷹ヲ云ナリ、季鷹ハ翰カ字ナリ、千里松江、懷歸獨釣、上下呼

應、尊鱸ノ二字、承上起下、妙々、

王導

蕭服之

揮淚新亭歲月多。可憐席筭竟蹉跎。西風空舉元規扇。如此胡塵漠々何。

王導ノ相才ナキヲ非ルナリ、ソノ頃五胡ノ乱起リテ、中原半バ胡奴ノ手ニ落テ年久シクナリヌルヲ、時ノ諸公イタク嘆キ、一日新亭ト云所ニ宴シケルトキ、周顛等相顧テ、風景不殊、舉目有山河異。ト言テ泣ケルヲト、メテ、導云、諸君須ク力ヲ王室ニ合セテ神州ヲ尅復スヘシ、何ソ楚囚トナツテ對泣センヤ、ト言シトハイヘトモ、アハレムヘシ、席筭モトカクシクジリガチニテ、ハカバカシカラス、ソノ頃外ニハ庾亮字ハ元規ノ強兵ヲ擁シテ、内、朝權ヲモ握リケルヲミテ、導平ナラス、西風ノ起ルニ扇ヲアゲテ、元規カ塵汚レ人ト、權門ノ風ヲ避ケタルハ、ヨケレトモ、中原ノ漠々タル胡塵ニ埋没セルヲ一掃スルコトモ叶ハサリシハ、相才ノナキ証ナリト也、

謝靈運墓

黃子耕

心雜難爲蓮社友。翻經肯與俗流通。可憐一對登山屐。埋在池塘芳草中。

靈運カ墓ニ詣テ、其終リヲ全セサリシヲ、憐ムナリ、廬山ノ遠禪師、淨土ノ業ヲ修シ、諸賢ト社ヲ結テ、白蓮社ト號ス、靈運モ尋テ入社ヲ乞シニ、心雜ナル人ナリトテ、容サレヌ、サレトモソノ寺ニツイテ臺ヲツキ、涅槃經ヲ翻ズルヲミレハ、一輩ノ俗流トモ見ラレマジキヲ、惜イカナ心雜ナルカ故ニ、永嘉ノ守護トナリテ、妓ヲ携ヘテ東山ニ遊フヨリハ、一對ノ屐ヲツケテ、上下ニ前後ノ齒ヲヌキシト云フ風流ノ遊ヲナシ、弟惠連トハ至テ仲ヨク、逢ヘハ必佳句ヲ得ト云、一日永嘉ノ西堂ニキテ、一句得ント思ヘトモ、思案出テス、フトマドロム中ニ惠連ヲ夢ニミシカバ、忽池塘春草生ノ妙句ヲエタリト云、カ、ル人ナレハ、隨分立身モスヘキヲ只心雜ナルカ故ニ、後終ニ叛ヲハカリテ誅セラレ、東山ノ豪遊モ一時ノ夢ニシテ、世間ニハタゞ池塘春草ノ句ヲ傳フ

ルノミナレハ、東山一對ノ履ヲ池塘春草ノ墓ニ埋メタランカ如シトナリ、心雜ノ二字、
 靈運一生ノ斷案ニシテ、遠公ノ爛眼炬ノ如シ、故ニ此詩開口一句、先コノ二字ヲ下シ、
 通篇抑揚ヲ以テ章ヲ成ス、第一ハ抑、第二ハ揚、第三ハ揚、第四ハ抑、下二句、揚ハ
 抑ノ中ニアリ、尤妙、

錦繡段俚解卷三

○懷古 下 題詠 四十六頁

梁武帝

蕭服之

肯把朝衣換法衣。君王選佛是耶非。捨身一語終成讖。捨到臺
 城贖不歸

武帝ノ溺佛ヲ譏ルナリ、梁武ハ一量見デ、朝衣ヲヌイテ法衣ヲキ、殆ト僧ノ如ク、董
 腥ヲタチ、佛心天子トイハレタ帝ナリ、一体、一天萬乘ノ君ニマシクテ、選佛場ニ
 入り給フハヨイコトカ、ワルイコトカ、三尺ノ童子モ知ル處ニテ、物体ナキコトナリ、
 初メ達磨ヲミシトキ、朕寺ヲ興シ僧ヲ度スル、何ノ功德カアル、ト問ハレシニ、功德
 ナシ、ト答ヘケル、サリトモシラス、終ニ身ヲ佛寺ニ捨テ、名ヲ羯磨ト改メテ歸ラス、
 群臣億万ノ錢ヲ出シテ帝ヲ贖ヒ歸テ位ニツカシメシカ、後、侯景反ヲ謀テ、臺城ニ逼
 リシトキ、援兵ミナ敗レテ、圍ヲ受クルコト五月ニテ陥リ、帝位ヲ下サレテ、飲膳マ

テ裁損セラレ、憂憤病ヲ成シテ、終ニ八十五ヲ一期トシテ、靜居殿ニ殂ス、コ、ニ至テハ、億万ノ錢ヲ以テ贖ヒ返ヘサントストモ、返スコトヲエス、捨身ノ一語、果シテ未來記ヲナセリトナリ、吾國ノ聖武帝ニ似タル愚主ニシテ、アタラ佛法ヲ信シテ佛トナルコトヲエス、魔道ニ陷テ餓鬼トナル、千古ノ鑒戒ナリ、此詩、結ノ捨ノ字、力ナシ、去ノ字ナトニ改ムルヲ佳トス、

陳後主祠

洪舜愈

眞珠簾下變離聲。多少嬙妃掩袂聽。贏得窄愁三万斛。孤舟撐入大梁城。

後主ノ暗愚死ニ至テ悟ラサルヲ寫セルナリ、後主ハ太子タリシトキヨリ、詹事ノ江総ト、長夜ノ飲ヲ張リ、即位未幾ナラスシテ、臨春、結綺、望仙ノ諸閣ヲツキ、各高サ數十丈、連延數十間、皆沈檀ヲ以テ作り、金玉珠翠ヲ飾トシ、珠簾寶帳、ミナ瑰麗ヲ極メ、サテ其下ニハ、石ヲツミテ山トナシ、水ヲ引テ池トナシ、花草ヲ雜ヘウエテ、四時タ

エス、陳主ハ臨春ニスミ、貴妃ノ張麗華ハ、結綺ニスミ、龔孔ノ二貴嬪ハ、望仙ニスミ、複道ヨリ往來ス、江総ハ宰相タリシカトモ、政事ヲ執ラス、日ニ孔範等ノ文士ト、後庭ノ宴ニ侍ス、之ヲ狎客ト稱シテ、諸貴嬪ト唱和セシム、其曲ニ玉樹後庭花ナトアリテ、君臣酣歌、夕ヨリ且ニ至ルト云、カ、ル愚主ノイカデカ世ニ存ラフコトヲエン、隋ノ韓擒虎ト云モノ、横江ヨリ、夜、采石ヲ渡リテセメ上リシニ、守兵^{ナガ}ナ醉テ知ラス、遂ニ新林ヨリ進テ、直ニ朱雀門ニ入リシカハ、上ヘ下ヘトタチサワギテ、眞珠簾下、後庭ノ曲モ、離別ノ歌ト變リ、アマタノ宮女モ袂モ掩テ聽クニタヘス、今ハカウヨト、皆自ラ景陽宮ノ池中ニ身ヲ投ケシヲ、軍人池ヲ窺テ石ヲ下サントスルニ、聲ヲタテ、叫シカハ繩モテ引上ケ、張麗華孔貴嬪等ト一ク、リニ、ク、リテ囚人トシ、舟ニノセテ隋ノ大梁城ニ送リツケタリシトナン、サレハ後主一生ノ榮華モ、黃梁一炊ノ間ニシテ、何一ツ仕出シコトモナク、牢獄ニ入ラレタルトキ、三万斛ノ愁涙ヲ舟ニノセテ、オシツサ、ヘツシテ、苦海ニ打沈メラレタルガ、一色ノ儲モノジヤトナリ、贏得ノ二字ハ、是ガセメテノマシヤト云心也、三万斛ノ窄愁ハ、眞珠簾ノ珠ヨリモ多ク、多少ノ宮女

モ、一孤舟ノ中ニ投込マレ、誰一人扶クルモノモナケレハ、孤舟ノ二字ヲ下シテ、ソノアハレヲ寫シタル、極メテ力アリ、

臺城

韋莊

江雨霏々江草齊。六朝如夢鳥空啼。無情最是臺城柳。依舊煙籠十里堤。

六朝ノ跡ヲ弔スルナリ、臺城ハ金陵ノ臺城ニシテ、六朝ミナコノ處ニ都セリ、殊ニ隋ノ煬帝ハ、都ノ街道スヂニ楊柳ヲウエ、名ツケテ隋堤ト云ルトソ、六朝ハ吳、東晋、宋、齊、梁、陳ナリ、又隋ヲ加ヘテ吳ヲ除テ六朝トモスルナリ、渭南ノ春雨シツボリトフルタビニ、若草ヒトシク生茂リ、花咲キ、鳥啼ケトモ、六朝ノ盛モ、昨ノ夢ノ跡、ミル人モナケレハ、聞ク人モナク、花ハ空シクサキ、鳥ハ空クナクノミナリ、殊ニツレナキハ、臺城ノ柳ニテ、チトバカリハ、替ルヘキニ、人ハカハレト、柳ハモトノマ、ニテ、十里堤上、春タツ煙ヲコメテ、青々ト春メクケシキ、今ハ見ルモウラメシキ

トナリ、草ヨリ鳥、々ヨリ柳ニウツリ、六朝ヨリ臺城、々々ヨリ隋堤ニウツリ、風景ハカハラネトモ、目ヲ舉クレハ、人事ノコトナルアリノ感慨、一面並到、何ノ議論ヲモツケスシテ、懷古ノ情、言外ニ溢ル、是詩ノ正聲ニシテ、唐調ノ貴フヘキ所コ、ニアリ、上ノ諸作ト比照シテ、ソノ格調ノ高卑雲泥ナルヲ知ルヘキニコソ、

華清宮

崔魯

草遮回磴絕。鳴鑿雲樹深。々々碧殿寒。明月自來還。自去更無人倚玉欄干。

行幸絶エテ宮殿ノ荒廢セルヲ寫セルナリ、天子ノ行幸モ久シク絶エテナケレハ、蔓草ハエタイマ、ニハエテ、廻リ上ル石段ノ上ヲ遮キルナリ、鳴鑿ハ御車ノスマナリ、四方ヲミレハ雲樹奥深ク茂リアヒテ、碧殿ノ中ニ、火ノ氣モナク、至テ陰氣ナレハ、身モ冷々スルサマナリ、夜ニナレハ、只月ノ木ノ間ニ來去スルノミアリテ、サラニ玉欄干ニモタレテ、月ノ夜比ハ、毎夜觀月ノ宴ヲ催サレタル處ナルヲ、世ノ中ノカハレバ、

カハルモノカナト、是モ一句半句ノ議論モツケズシテ、議論ソノ中ニアリ、轉ハ承ヲウケ、結ハ起ヲウク、起結吻合、承轉合接、コノ法尤多シ、蓋シ文理シカルナリ、此詩ノ尤妙ナル處ハ、承句ニアリ、雲樹ト云、深々ト云、碧殿ト云フ、木深キ中ニ、苔ムシタル宮殿ノカミサビテミユル、ウチミルモ寒ク覺ユル体、宛然畫ノ如シ、官ハ驪山ノ温泉宮ニシテ、太宗ノ建ラレタルヲ、玄宗ニ至テ、天寶六年ニ、今ノ名ニ改メラルトソ、

華清宮風流陣

趙漢宗

玉殿晴暉颺彩旌。承平天子亦知兵。嬌兒慣識風流陣。傳列漁陽藝始精。

玄宗ノ兵ヲ習ヒナカラ、安祿山ノ謀反ヲ知ラサルヲ非ルナリ、開元遺事ニ、明皇、楊貴妃ト酒酣ナルニ至ルゴトニ、貴妃ヲシテ宮女百餘人ヲ統ヘシメ、帝ハ小中貴百餘統ヘ、兩陣ヲ掖庭ノ中ニ排ヘテ、風流陣ヲツクリ、サテ雲被錦袿ヲ張テ旗幟トシ、鬪合テ負

ケタル者ニハ、巨觥ヲアゲテ酒ヲ飲マシメ、罰杯トシテ、戲レ笑フ、時ノ人聞テ不祥ノ兆トセシカ、後果シテ祿山ノ兵オコル、祿山ハ貴妃ノ養子トナリテ、祿兒トヨバル、句中ノ嬌兒ハ、祿山ヲサスナリ、謀反ノトキハ、漁陽ヨリセメ上リシナリ、言ハ華清宮中ハレシキ日ニ彩旌ヲ南山オロシニヒルカヘシ、大平五十年ノ天子ト云ハレシ玄宗皇帝モ、兵法ヲシロシメスカヤ、貴妃等ヲ相手ニ、風流陣ヲツクリテ、鬪ヲナラシ玉フ、ソレヲ彼ノ祿兒マテモ、見慣レテキタルニヤ、ソノ法ヲ傳ヘテ、漁陽ニ至リ、ソノ藝始テ精トナリ、都ニセメ上リシガ、玄宗終ニ蜀ニオチユキ給ヒ、貴妃ハ馬嵬山下ノ塵トナル、嘘ガ誠トナルトハ、コノ事カヤ、玄宗ノ戲ガ、終ニ實際ノ兵トナリテ、太平ノ天子ハ、忽チ乱世ノ天子トナル、ゲニモ不祥ノ兆ナリケントナリ、時ニ帝年四十八ナリシト云、彩旌ヨリ、知兵ヲ出シ、知兵ヨリ風流陣ヲ出シ、風流陣ヨリ漁陽ノ兵ヲ出ス、蠶ノ絲ヲ吐クカ如シ、

長安覽古

張芸叟

黃鵠高飛去不還。百年世事奕碁間。沈香亭畔千株石。散與人
家作假山。

長安宮裏ノアレハテタルヲ弔スルナリ、黃鵠ト云鳥ハ、世間ノ興廢ヲ知テ人ニ告タト
云傳フルガ、カ、ル鳥モ去テ歸ラネハ、今ハ治亂興亡ノ機ヲシル者ナシ、賢人君子ノ
急退高踏、ソノ位ニ居サルニ喩フル也、賢人君子去テ、ソノ位ニアラサレハ、百年ノ
世事奕碁ニ似タルモ、怪シムニ足ラス、アハレヤ沈香亭ト云、御茶屋ノホトリニハ、
色々ノ奇石ヲツミテ、玄宗ノ朝夕樂ミ給ヒシモ、ハテハ町人百姓ノ家ニ散シテ、築山
淺水ノ石トナリ、是ハモトノ沈香亭ノ飛石ジヤ、イヤ是ハ長安城ノ手水鉢ジヤナド、
モテハヤサル、其實ハナフリモノニセラレテ、千古ノ辱ヲ貽スナリ、人ハ質素ナルモ
ノヲ殘セハ、人取テソノ賢ヲ慕ヒ、贅澤ナル者ヲ留ムレハ、人ミテソノ愚ヲ笑フモノ
ゾ、人ハ一代、名ハ末代、世ノ富榮奢侈ニフケルモノ、亦以テ戒ムルニ足ル、黃鵠假
山、奕碁千古、有意無意ノ妙アリ、

讀天寶遺事

陳仲猷

蜀山眇々蜀江長。玉骨幽沉草木黃。萬苦皆從甜處得。長生殿
裡荔芰香。

苦ハ樂ヨリ生スルヲ云ナリ、蜀山ハル々蜀江長シ、カ、ル遠方萬里ノ蜀ノ方へ、玄
宗皇帝ノ落ちサセ玉フ、貴妃モ引立ラレテ、馬嵬山下ニ至テ、ナブリ殺シニセラレ、
ソノ玉骨ハ、ソコニ埋メラレテ、幽魂ハ浮ハス、頃ハ秋ノ空、草木黃ミテ物アハレ也、
抑コノ萬種ノ苦ミヲ受給ヒシハ何如ト問ヘハ、餘リ甘スギタル處ヨリ得給シナリ、聞
ク貴妃荔芰ヲ好ミシカハ、遠ク南海ヨリ馬ニテ宿送リニシ、七日七夜カ、リテ京ニ至
ルホトニ、路ニテ人馬ノ斃ル、アリテ、其役ニ百姓ミナ々々苦ミケリトカヤ、長生殿
裡荔芰香シト云ヘトモ、天下ノ百姓ミナ之ヲ臭シトス、故ニ殿ハ長生ト云ヘトモ、人
短命ナルハ、樂スギテ苦生シ、甜餘テ蟲生スルナリ、荔芰ハ南海ノ遠キニアツテ、之
ヲ長安ノ近キニ致ス、之ヲ長安ノ近キニ致シテ、身ハ西蜀ノ遠キニ死ス、香芰ノ榮ハ、
黃草ノ枯トナリ、長生殿ノ住居ハ、長短亭ノ西巡トナル、是苦甜ノ翻覆、盛衰ノ轉換、

讀ム人、其曲折盤旋ノ妙ヲ看ヨ、

醉杜像

曾朝伯

翠輦蒙塵赤子寒。澆愁每恨酒盃乾。憂心如醉非眞醉。莫做愁劉一樣看。

杜甫ノ醉ハ、憂國ノ愁ヲ掃フニアルヲ云ナリ、天子ハ蒙塵、庶民ハ飢寒、杜甫ハコノ愁ヲ掃ハントテ、酒ヲヒツカブタモノジヤ、ソコデイツモ醉テハキタレトモ、眞ノ醉ニハアラス、憂心如醉ト云ル類ジヤニヨツテ、晋ノ嵇康ヤ劉伯倫ナト、一樣ニハ、ミナスナヨトナリ、後漢ノ劉寛カ傳ニ、寛常ニ酒ニエヒヒチテ、ソノ坐デ眠リフス、帝大尉エヘルカト問給ヘハ、仰ムキナガラ對テ、臣敢テ醉ヘルニハアラス、但任重責大、憂心如醉ト云ケルトソ、之ヲトレルハ、ヤガテ杜ヲ寛ニ比セルナリ、轉、起ニ應シ、結、承ニ應ス、

李白

僧藏叟

脫韓殿上醉陽狂。觸撥春風睡海棠。放逐一身窮不恨。三郎入蜀更郎當。

李白ノ忠諷ヲ嘆セシナリ、李白一日長安市上酒家ニ醉フ、時ニ玄宗皇帝御苑沈香亭ノ北ニ、木芍藥ノ花今ヲ盛リト咲勻ヘルヲ御覽セントテ、照夜車ニ乗テ臨御アリ、楊貴妃步輦ニノリテ御供仕ル、上、梨園ノ才子十六人選テ歌舞セシメラル、李龜年ト云者、歌ノ名手ナルガ、一曲奏セントスルニ舊曲デハフサハシカラスト、上意アツテ、遽ニ白ヲ召シテ、新曲ヲツクラシメラル、白、召ニ應シテ參内シ、靴ヲハキナガラ金鑿殿上ニ登リ、玄宗ガ寵兒ノ高力士ニ靴ヲヌガシム、是陽狂ナリ、白、宿醒未タサメサルホトニ、筆ヲ援テ清平調ノ詞三章賦シテ奉ツル、唐詩選ニ引ケル是ナリ、ソノ詩ヲミルニ、通篇諷諫ナリ、今コノ第二句ハ、夫レヲサス也、春風ハ玄宗ニタトヘ、海棠ハ妃子ニタトヘシナリ、觸撥ハ氣ヲツケサスルナリ、一日、上、貴妃ヲ召サレケルニ、妃、酒ニエヒテネムタキ体ナリシカハ、此ハ海棠花ノ睡マダ足ラサルニコソ、ト戲レ給ヒ

シカラニ、睡海棠トハ云ルナリ、然ルニカノ高力士韓ヲヌガセラレケルヲ、無念ニ思ヒ、白ヲサンノニ讒セシカハ、白、夜郎ト云所へ謫セラル、サレトモ聊カモ君ヲ恨奉ラス、三郎ハ玄宗カ幼名ナリ、玄宗スラ都ヲオチサセラレテ、西ノ方蜀ニミユキアリ、ソレニ比フレハ、何ノ恨カアル、萬乗ノ君スラ此ノ如シ、況ンヤ匹夫ニ於テヲヤ、玄宗ノ西巡、之ヲ我ニ比フレハ、サラニ郎當ナルゾトナリ、郎當ハ瑯瑤ナリ、玉ノユラグ音ナリ、明皇ノ蜀ニ幸アル、車上ノ鈴聲、人ノ物言フニ似タリ、何トキクゾト、黄幡綽ニ問給フニ、三郎々當、々々々々ト云フニ似タリト申上ケルトソ、是ヲ割リテ用ヒシナリ、天子ヲ三郎ト云ハ、穩カナラヌ語ナレトモ、ソノ聲カヤウニ聞エシト云故ニ、カク云ル也、コ、ニ用ヒシモ、ソノマ、用ヒタル也、玉鈴ノ鳴ル、必ユラグモノナリ、故二人ノオチブレユクニ喩フルナリ、潦倒ト云フ語モアルハ、之ト音通ニテ同義ナリ、此詩第一句ニ陽狂ノ二字ヲ下シテ、主意ヲサマシ、第二句ハ觸撥ノ二字ヲ以テ、之ヲ承ケ、醉陽狂ヲ以テ睡海棠ニ對セシメ、以テ諷諫ノ意ヲ斂フ、放逐郎當ノ四字ハ、

上下ニオキテ對比一番、白ガ忠諫萬死ストモ恨ミサルノ底意ヲ寫シテ、上文ノ陽狂觸撥、總テ其忠誠ニ出タルノ意ヲ言外ニ顯ハス、

李白墓

盧疎齋

大雅清風久不聞。一盃聊爲洗荒墳。朱絃三嘆無今古。說與江東日暮雲。

李白歿シテ大雅ノ久シク絶ユルヲ嘆スル也、大雅ハ白カ詩ニ、大雅久不作ト作レルヲ取ル、朱絃三嘆ハ、禮記ニ、清廟之瑟、朱絃而疎越、一唱而三歎、有遺音矣、トアルヲトル、三嘆ハ、一人唱テ三人之ヲ嘆スルナリ、江東云々ハ、杜詩春日懷李白ノ作ニ、渭北春天樹、江東日暮雲、トアルヲトル、渭北ハ杜ノスメル處、江東ハ、白カ居ル處、日ゲレニナレハ、雲ノアナタヲミヤリテ、李ヲナツカシク思フナリ、全篇ノ心ハ、白歿シテ大雅ノ作ヲ聞カス、清風ノ音モ殘ラス、古往今來、白ヲ知ル者ハ、抑何人ソヤ、

其墓常ニアレテ、誰一人香花ヲ供フルモノモナイ、吾偶ソノ墓ヲ尋ネテ、ソノ人トナ
 リヲ欽シ、一盃ノ神酒ヲ手向テ、聊カ李ノタメニ、荒墳ノ苔ヲ洗ヒテ、祭ツルジヤ、サ
 レトモ野中ノ清水、クム人ゾ知ル、李カ作ハ宗廟ノ大雅ノ如ク、朱絃ニシテ疎越、ソ
 ノ聲大ニシテ調高ク、一人唱オコシテ三人從ウテ嘆スルハ、今モ昔モカハラヌコトジ
 ヤ、サレバコソ杜ハ江東日暮雲ト説テ、ソノ人ヲ忍ヒケレ、コノ情ハ千載ノ後モ同シ
 キコトジヤトナリ、畢竟、江東日暮ノ雲ハ、平生景慕ノ情ニシテ、一盃洗荒墳ハ今日
 景慕ノ志ヲ遂ケシナリ、第三ハ第一、第四ハ第二ニ應シテ、一篇ヲ構成ス、大雅朱絃、
 清風三嘆、一盃説與、荒墳暮雲、句々掩映、字々蟬聯、

東坡

僧樵隱

人間得喪果何憑。空裏浮華日裏氷。瓊海不知身是客。生前慣
 作水雲僧。

東坡ノ心中ヲ描セルナリ、人間ノ得喪、果シテ何ヲカ憑ムヘキ、空裡ノ浮華日裡ノ氷、

誠ニハカナイモノジヤ、二句東坡ノ意ナリ、東坡ノ意、大悟茲ニ至ルハ、外ニアラス、
 生前水雲ノ僧体トナツテ、方外ノ生活ニ慣レタルカ故ナリ、ソレ故ニ、瓊州ノ海邊ニ
 謫セラレテモ、ソノ身ノ客タルコトヲウチ忘ル、ナリ、是二句、東坡ノ悟道ヲ斷スル
 ナリ、生前ハ死後ニ對シテ云ル詞也、生レヌ前ト云心ナラバ前生トカクヘキ也、抄註
 ニ、五祖戒禪師カ再誕ナリトテ、冷齋夜話ヲ引ケルハ非ナリ、東坡洞山ノ雲庵ニ逢ヒシ
 トキヨリ、衲衣ヲ常ニキタリト云フ、故ニシカ云ルナレハ、平生ノ義ニ用タリトシテ
 可也、

詠史

洪舜愈

泗水飛沉周寶鼎。灞城遏住漢銅人。人心不似無情者。多少英
 雄入魏秦。

無情ノ器物ニ託シテ、有情ノ輕薄ヲ誹ルナリ、奉始、周鼎ヲ取ラントスルニ、泗水ニト
 ビシヅンテ、取ラレス、魏武、漢ノ金銅仙人ヲ取ラントセシニ、仙人涙ヲナガシテ動

カス、因テ瀾城ニ留メオキシト云傳フルニ、人情ハコノ無情ノ器物ニダニモ似ズ、或ハ秦ニ降り、或ハ魏ニ降テ、一己ノ富貴ヲ圖ルゾアサマシキトナリ、英雄ノ二字面白シ、眼ヲツクヘシ、匹夫ハ却テ降ラヌモノナリ、故ニ世俗ノイハユル英雄ト云モノハ、大カタハ鄙夫ニシテ腰拔ナリ、魏秦ノ二字、千鈞ノカアリ、

讀隱逸傳

陸務觀

終南處士入都門。少室山人補諫垣。畢竟只供千載笑。石封三品雀乘軒。

隱士ニ隱節ヲ保ツ者ノ少ナキヲ笑ヘルナリ、鶴林玉露ニ、終南ノ處士盧藏用、字ハ子潜、終南少室ノ二山ニ隱レテ、世ニ用ラル、ニ意アリケレハ、人名ツケテ隨駕處士ト云リ、司馬承禎、嘗テ召サレテ闕下ニ至ルトキ、藏用指ニ終南曰、此中有嘉趣トイヒケルニ、司馬云、仕官之捷徑耳ト云、後、中宗ノ朝ニ至テ、中書舍人トナル、故ニ都門ニ入ルト云リ、李渤字ハ濬之、廬山ニカクレ、後、少室山ニウツリ、元和ノ

初、召サレテ右拾遺トナル、故ニ諫垣ニ補セラルト云リ、方輿勝覽十四ニ、建康府ノ法寶寺ハ城北ニアリ、臺城寺トモ名ツク、前ニ醜石四アリ、各高サ丈餘、俗ニ三品石ト呼ヘリ、政和ノ間、取テ京師ニ送ル云々、衛懿公、賢士ヲ愛セスシテ、鶴ヲ愛シ、大夫ト稱シテ同車ス、國人之ヲ惡ミ、狄人ノ來リ侵スニ及テ、ミナ云、鶴ヲシテ拒カシシムヘシ、狄人遂ニ公ヲ殺ス云々、言フ心ハ、盧李ノ二人、皆世ニ出テジト言オリシガ、後イツレモ召サレテ朝ニ仕ヘタリ、畢竟終南少室ニカクレテ高キヲ養フハ、頭位高官ニ用ヒラレンノ捷徑トスルノミニテ、後世ノ笑草ニ供スルニ過キス、是ハ盧李ノ二人ノミニハアラス、イハユル隱君子トイヘル者ハ、大カタ此徒ナリ、何ノ働モ無イモノドモナレハ、三品ニ對セラレタル石ノ如ク、君ト同車シテ出入シタル鶴ノ如シ、頑石ヲ三品ニ封ジ、野鶴ヲ車ニノセテ、笑ヲ千載ニ留メシ君モアレハ、終南ノ石ヲ學テ、頑ニシテ耻ナク、少室ノ鶴ヲマネテ、品ハ高ケレトモ、用ヲナサヌ臣モアリ、イツレモ千古ノ笑草タルハ免レストナリ、一体、支那ニハ隱士トヤラン、逸民トヤラン云モノアリテ、山ニカクレテ終身官ニ仕ヘサルモノ、アンナルハ、是革命國ニ生レシ士君

子ノ變ナリ、主辱メラルレハ臣死シ、國亡フレハ士隱ル、ハ、ソノ國ニ仕ヘシモノ、當然ノ事ナリ、故ニ古ヘハコノ隱士逸民ノ中ニ、賢者モヲレハ、義士モキタル者ニテ、勝國ノ君ヨリハ、之ヲ用ヒント思フカラニ、彼ノエセモノマデモ、名山勝地ノ中ニ隱レテ、何カ一物アルヤウニミセカケテ、名ヲ貪リ利ヲ釣ル者ノ多クナレルハ、流弊ノナラヒニシテ、畢竟ハコノ詩ニ笑ハル、ヤウノ隱逸者ヲミルモ、怪シムニ足ラヌコトナリ、彼ノ仕官之捷徑ノミトイヘルノ一言ハ、實ニ千古ノ斷案ニシテ、上ハ聘ヲ厚クシテ、求賢ノ名ヲトリ、下ハ高ヲ養テ仕官ノ利ヲ圖ル、天下交々僞ヲ以テ俗ヲナセルハ、支那革命國ノ通患ニシテ、我邦ノ如キ、萬世一系ノ國ニハ、嘗テナイコトナリ、故ニワガ邦人ハ、古來山ニスミテモ、隱ル、ニアラス、世ニスミテモ、顯ハル、ニアラス、モト／＼隱顯行藏ハ、ワカ邦、士君子ノ身上ニナイコトナレハ、出處進退トモニ、ソノ君ニ仕奉リテ、各其心力ヲ竭スナリ、故ニ深草ノ元政上人ハ、扶桑隱逸傳ヲカ、レシカトモ、之ヲ支那ノ隱逸傳ニ比フレハ、全ク同名異實ノモノナリ、思ヒマガフヘカラス、此詩、石ノ字、終南ヲ受ケ、鶴ノ字、少室ヲ承ケ、處士ヲ石ニ比シ、山

人ヲ鶴ニタトヘ、都門ニ入テ三品ニ封セラレ、諫垣ニ補セラテ華軒ニ乗ル、而シテ其無能ニシテ何ノ功ヲモ立テス、終南ノ石、少室ノ鶴、均ク是レ滑稽ニスギス、上一句、何ノ事モナクカキツラネテ、下二句ニ至テ、石鶴ノ故事ヲヒキテ、忽然上ヲカヘリミテ、比興骨ヲ刺ス、オノツカラ是大家ノ老手段、

感舊詩卷

白居易

夜深吟罷一長吁。老淚燈前濕白鬚。二十年前舊詩卷、十人酬、和九人無。

十人ノ仲間、吾ノミ殘レルト嘆キシナリ、二十年前ノワガ友人唱和ノ卷ヲトリ出デ、ミルニ、十人ノ中、九人ハミナ今ハ此世ノ人ニアラス、我一人殘レルト思、今ハ、老ノ涙白鬚ヲ沾ストナリ、マシテ夜闌青燈ノ下ニミレハ、別シテ感フカキ体ナリ、ソハ我モ長クアルマジト思フ故ナリ、コノ詩、上下逆敘ナリ、

禹廟

陸務觀

禹巡九國二千歲。陳迹銷沉渺莽中。豈獨江山無定主。苔磯知換幾漁翁。

革命ノ激變ヲ痛歎セシナリ、大禹九州ヲ巡リテ、水土ヲ定メラレシヨリ、茲ニ三千載、ソノ古蹟モ、アレハテ、今ハ渺莽ノ中ニアリ、カヤウニカハリハテタル世ノ中ニハ、タ、江山ニ定主ナキノミニハアラス、漁翁カ釣スル苔磯マテモ、幾人ヲカ換ヘヌラン、今革命ノ激變ハ全ク之ニ似タリトナリ、禹庶ハ、臨江縣ノ南、岷江ヲ去ル二里ノ處ニアリ、ソコニ詣テ、作リシナレハ、渺莽、江山、苔磯、漁翁等ノ字ヲ下シテ、革命ノハゲシキヲ痛ミシナリ、殊ニ大禹ハ九州ノ水ヲ治メシ君ナレハ、水ヲ以テクミ立タルナルヘシ、ハタ又禹王ニ至テ、子ニ位ヲ讓ラレシナレハ、萬世一系ノ國体トモナルヘキニ、サハナクテ、殷、周、秦、漢六朝唐宋トアサマシクモ、カハリユクヲミル、ソノ國ニ生レテ心アルモノ、誰カハコ、ニ至テ大息流涕、其生ノ不幸ヲ嘆セサラン、作者モ上ハ五代ノ革命ヲ顧ミ、下ハ祖國ノ喪乱ニ逢ヒ、サテコノ禹庶ニ詣テシ故、コノ

作アリシナリ、其心事信ニ悲シムヘク、憐ムヘシ、

過武丁庶

劉從益

早則爲霖水則舟。若人端合夢中求。荆王枕上陽臺雨。版築英雄老死休。

武丁ノ夢中ニ賢ヲ求メラレシヲ美スルナリ、武丁傳説ヲ夢中ニ得テ、早セハ汝ヲ霖トセシ、水イデバ、汝ヲ舟トセン云々、カ、ル人ハ、マコトニ夢中ニミルホトニ思テコソ、求ムヘケレ、ソモ、楚ノ襄王陽臺ニ井テ、巫山ノ仙女トアヒ、朝ニハ行雲トナリ、暮ニハ行雨トナルト詠セシトカヤ、夢中ニ賢ヲ求メスシテ、枕上ニ仙女ヲ求ム、カ、ル世ニアリタランニハ、傳説ノゴトキ、版築ノ間ニ隠ルトモ、老死シテ休スヘシ、イカデカ世ニ用ヒラレテ、後ニ傳ハラン、サレハ君臣ノ遇合ト云モノハ、風雲ノ相遇フカ如ク、上ニ襄王アツテ、仙女枕上ニアラハレ、上ニ武丁アツテ、傳説夢中ニミユ、畢竟傳賢ノ世ニ出タルハ、武丁ノ賢ナルカ故ナリトナリ、此詩、通篇借客形主ノ法ヲ用

テ、武丁ノ賢君タルヲ寫シ、ナリ、故ニ武丁ノ句ハ、僅ニ承句一句ニシテ、轉ノ一句ハ、襄王、初終ノ二句ハ、傳説、傳説ノ賢ヲ以テ、武丁ノ賢ヲ形シ、楚王ノ愚ヲ以テ、更ニ武王ノ賢ヲ出ス、極メテ妙、

始皇陵

羅隱

長策東邊極海隅。鼉鼉奔走鬼神趨。憐君未到沙丘日。肯信人間有死無。

始皇ノ大欲ヲ笑ヒシナリ、長策ハ賈誼ノ過秦論ニミユ、長策ヲ振テ海内ヲ撻チ、東、日出ノ處マテ極メントス、三十七年天下ヲ巡リ、平原ニイタリシトキハ、始皇全盛ノ極ニシテ、鬼神モ之ヲサケ、海若モ影ヲカクシ、ガ、アハレヤ平原ニテ病オコリ、沙丘ニ至テ崩御ナリケルガ、ソノ日マテ、始皇ハ人間ニ死ト云モノ、アルコトヲ夢サラ信ゼサリシナルヘシトナリ、下ノ句ニ短命ノ字ヲカクシテ、上ノ句ニ長策ノ字ヲ出シ、暗ニソノ愚ヲワラヒシナリ、結句、無ハ有ノ反ニアラス、肯信ノ二字ニカケテソノ

反ヲ云ルナリ、

長城

權德輿

秦築長城比鐵牢。蕃戎不敢逼臨洮。焉知萬里連雲色。不及堯階三尺高。

始皇ノ長城ハ、堯階ノ三尺ニ及ハストナリ、始皇三十二年、長城ヲツク、臨洮ヨリ起シテ、遼東ニ至ル、ソレヲ遙ニミヤレハ、誠ニ万里連雲ノ景色アリ、サレトモ茅茨剪ラス、土階、三尺ノ高サニ及ハス、仁暴王覇ノ差カクノ如シ、我邦ノ皇城ヲミルモ亦シカリ、平安城裏、塹溝モナケレハ、石壁モナシ、サレトモ源平足利徳川ノ世、一人ノ之ヲ踰ユルナシ、之ニ反シテ大阪城、江戸ノ廓、ミナ是長城連雲ノ類ナルニ、ソノ亡フルニ及テハ、深溝高壘モ、百姓ノ柴墻ニ異ナラス、王者ハ四海ヲ以テ家トナス、壘溝ヲ恃マサル所以ナリ、霸者ハ廓内ヲ家トス、障壁ヲ築ク所以ナリ、故ニ万里ノ長城ハ、大ニシテ却テ小サク、堯階ノ三尺ハ、低シテ却テ高シ、ソノ氣象ニ大小アルカ故ナリ、

此詩モ、前ノ隱逸傳ヲ讀ムノ作ト同シク、上二句骨ヲラズ書キナガシテ、下二句ニ至テ、焉知ノ二字ヲ以テ、陡轉カヲツケ、万里連雲、堯階三尺ノ文字ヲ連下シテ始テ文ヲ成ス、亦是名家ノ好手段、堯秦呼應、長城萬里、

關下

雀道融

百二山河壯帝畿。關門何事更開遲。應從漏却田文後。每度聞雞不免疑。

昔ノ函谷關ヲ詠セシナリ、百二ノ山河、帝畿ヲ壯ニス、シカルニコノ關門ヲ、何トテ、今ヨリ更ニ遅ク開クヤウニハナリツルゾ、ト問ヘハ、彼ノ田文孟嘗君ヲ逃シ、ヨリ後、每度、鷄ノ音ヲキクゴトニ、ニセノトリニハアラジカ、ト疑ハル、故ナリトカヤト、ソコニ宿シテノ心モテ作レル故、題ニモ關下トハシタルニヤ、ソハトモアレ、愚作ニシテ、句々穉氣ヲ帶フ、百二ノ文字、史記高祖紀ニミエ、二說アリ、秦地ハ險固ニシテ二万ノ兵アレハ、諸侯ノ百万ニ當ル、故ニ百二ト云、今一說ハ、諸侯ノ兵百万ニ

シテ、秦ノ兵ハ二百万ニアタル故、持戟百万、秦得百二ト云ルナリトソ、前ノ說穩カナルヘシ、我邦鹿兒島城下ノ作ナトニ、百二ノ都城ナト云ルモ、ソノ地險固ニシテ、一夫城山ノ關ニアタレハ、萬夫モ過クルコト叶ハスト云サマナレハ、此文字ヲカリシナリ、都城ノ多キヲ言フニハアラス、

商山廟

白居易

卧逃秦乱起安劉。舒卷如雲得自由。若有精靈應笑我。不成一事謫江州。

江州ニ謫セラレテ四皓ニ面目ナキノ情ヲノベシナリ、盖元和十五年ノ秋、江州九江郡ノ司馬ニ左遷セラル、ソノ時、路、商山四皓ノ廟ヲスギ、參拜シタルナルヘシ、臥シテ秦ノ乱ヲサケシハ、其才ヲ卷テ懷ニセシナリ、起テ劉氏ヲ定メシハ、其才ヲ舒ヘテ世ニ施シ、ナリ、一卷一舒雲ノ如ク自在ナリ、モシ四皓ニシテ知ルコトアラハ、我等ヲイカニ笑フラン、何ノ事ヲモナサス、ハテハ江州ノ司馬ト云フ微官ニウツサルトナリ、

只自ラワラフノミナラス、天下後世ノ樂天カ如キモノハ、ミナソノ大笑ヲ免レサルヘシ、支那人ハ、古ヨリ地方官ニ左遷セラル、ヲ、殊ノ外オソレタル者ニテ、ソレガイヤナラハ、官ヲコトワリテヨキナリ、高踏ノ勇モナク、兼善ノ才モナキモノ、ソノ身ヲ四皓ニ比フルモ、過分ノ事ナリ、樂天ハ禪學ニ溺レタル人ナレトモ、徹底セサリシトミユ、此詩語意淺薄覆醬ニ充ツルニ足ルノミ、

讀四皓記事

顧謹中

西漢儲皇羽翼成。商山歸去紫芝榮。後來莽卓欺孤日。可惜斯人不再生。

四皓定儲ノ功ヲ美スルナリ、西漢ノ儲皇、惠帝カ羽翼トナツテ、其位ヲ安ンジ、後又商山ニ歸テ、紫芝ヲ食ヒ、其世ヲ終ヘシト云、後來王莽董卓ガ太子ノ孤ナルヲ欺テ、漢室ヲ奪ヒシトキ、カ、ル人ノ再生シテ助ケサリシハ、惜ムヘキコトナリト也、再生ストモ、ソノ手ヲ再用ヒタランニハ、其事必成ラサルヘシ、マシテ四皓ハモト逸民ニシテ無術ナリ、惠帝ノ時ハ、張良之ヲ使テ事ヲ成シ、ノミ、其功ハ張良ノ力ニシテ四皓ノ功ニハアラス、莽卓ノ世ニ、張良ナシ、四皓アリトモ、亦何ヲカセン、コノ詩モ、淺陋ニシテ論スルニタラス、舊本ニ讀四皓定惠帝一事ト題セシモ、詩題ノ体ニアラス、少々削テオキシモ、ソノ實ハ詠史ナトノ二字ニテ足ルコトナリ、

歌風臺

林寬

蒿棘空存百尺臺。酒酣曾唱大風詞。莫言馬上得天下。自古英雄盡解詩。

漢高ノ木強ヲ回護セシナリ、臺ハ沛縣ノ治東泗水ノ西岸ニアリ、ト大明一統志ニミユ、高祖、英布ヲ征シテ沛ニカヘリ、父老ヲ呼テ宴ヲ開キシ、ソノ百尺ノ臺モ、今ハ蒿棘ノ中ニ、廢礎ノ空シク存スルヲミルノミ、思ヘハカツテ父老ヲコ、ニ招キ、大風ノ詩ヲ作リシ由、サレハ高祖モ只武力ノミニテ天下ヲエタルニハアラス、文雅モアリシナリト回護セシナリ、サレトモ高祖ハ、イカハカリ回護ストモ、木強ノ人物タリシコト

ハ、掩フヘカラス、大風ノ詞ナトヲウタヒシモ、ソノ實、即席ノ一聲ニシテ、ワカ邦
臺閣諸公ノ都々逸位ヲ當座ニツクリ出ツルト一般ナリ、是ヲミテ文雅ヲ解ストハ、イ
カテカ稱スヘキ、イラヌ回護ナリ、

同

張方平

落魄劉郎作帝歸。樽前一曲大風詞。才如信越猶菹醢。安用思
他猛士爲。

高祖ノ功臣ト安樂ヲ共ニセサルヲ非ルナリ、落魄ハオチブレタル也、カノ無職業ノ男
ガ崛起シテ秦ヲ攻メ、終ニ帝トナリテ故郷ニカヘリ、父老ヲヨンデ酒ヲクミ、一曲ノ詞
ヲウタウテ、得意ヲ述ヘシウチニ、イカテ猛士ヲエテシガナ、ト、カコケル、ステ
ニ信越ノゴトキ勇將ヲスシヒシホニシナガラ、サラニ又猛士ヲ思フナトハ、イハレナ
キコトゾトナリ、元來高祖ノコトキハ、天下ノ姦物ニシテ、落託ノ身、時ノ風雲ニ乘
シ、帝トナリテ歸レハ、大風ノ歌ヲウタヒ、信越ヲ殺シテ、復猛士ヲ思フ、猛士ヲ思

フトキハ、衰ノトキニシテ、猛士ヲ殺シ、時ハ、盛ノトキナリ、イハユル艱難ヲ共ニ
スヘク、安樂ヲ共ニスヘカラサルモノナリ、カ、ル鄙夫ノ腸ヲ以テ猛士ヲ得ンナド、
ハ、タマノ以テ其愚ヲ示スノミ、此詩、每句一盛一衰、筆如風車、

讀淮陰傳

李長原

杖劍淮南去復還。擧頭西望識龍顏。堂々竟握眞王印。未害男
兒辱股間。

韓信ノ辱ヲ忍テ志ヲ得タルヲ美スルナリ、杖劍、龍顏、眞王、股間、ミナ史記傳中ノ
字面、男兒ノ二字ハ、小杜カ項羽ノ詩ニ包羞忍耻是男兒トアルヲトリシナリ、信カ淮
陰ヨリ劍ヲツイテオコリ、初ニハ楚ニツキテ志ヲエス、去テ又郷ニカヘリ、西ノ方漢
軍ヲ望ンテ之ニ赴キ、ソレヨリ沛公ニ識ラレ、堂々タル武功ヲ立テ、齊王ノ印ヲ握
リシハ、畢竟少年ノ股間ヲク、リシ耻辱ヲ忍ヒシガ故ナレハ、一時ノ辱ハ、後年ノ榮
ニ妨ナシトナリ、害ハ妨害ノ害ニテ、サマタゲ也、

淮陰廟

錢諫議

築壇拜處恩雖厚。躡足封時慮已深。隆準若知同鳥喙。將軍應有_二五湖心_一。

韓信ノ早ク去ラサリシヲ惜ムナリ、始メ沛公ノ壇ヲツキテ將ニ拜スル、ソノ恩厚シトイヘトモ、ソハ艱難ノ時ナレハ、左モアルヘキナリ、後張良カ沛公ノ足ヲフミテ齊王ニ封セシメタルトキハ、モハヤ安樂ノ時ナレハ、後日ノ慮已ニ深シ、元來沛公ハ、越王勾踐ト同性ノ人ナリ、故ニカノ鼻高親仁ノ越王ト同シク鳥喙ノ人ナルコトヲ知ラハ、將軍ハ范蠡ト共ニ五湖ニ棹サシテ、漢ヲ去ルノ意ヲ決スヘカリシヲ、謀コ、ニ出テス、ソノ恩ニ狃レテ去ラサリシ故ニ、太夫種トソノ死ヲ同クスルニ至ル、氣ノ毒ナリトナリ、若知ノ二字、隆準ノ上ニ回ラシテヨムヘシ、對句ノタメニ倒セシナリ、

項羽廟

陸務觀

江東誰復識重瞳。遺廟欹斜草棘中。若比咿嚶念如意。烏江戰

死尙英雄。

項羽ノ男ヲキヲ稱セシナリ、江東ノ父兄ニハ、モハヤ面目ナシトテ、烏江ニテ戰死セル、後世復コノ重瞳子ヲシルモノモナケレハ、遺廟ハ草ムラノ中ニ傾イテ倒レカ、ル、サレトモカノ高祖ノ婦人ニ迷テ、側腹ノ子ノ如意ト云ヲ世嗣ニセントテ、鄙怯未練ノ言ヲ吐ケルニ比フレハ、烏江ノ戰死ハ、マダ英雄ノ男ラシキ所ゾト也、念フニ兩雄ハ我邦ノ源右府ニ旭日將軍、豊太閤ニ徳川家康ノヤウニテ、沛公ヤ右府家康ハ、皆後世子孫ノ計ニ意アリ、故ニソノワザ、スヘテメ、シクシテ殘忍ナリ、項王ヤ旭日太閤ノ如キハ、全ク後世子孫ノ計ニ意ナシ、故ニソノスル所、スヘテヲ、シクシテ怯心ナシ、カノ寛仁大度ヲ外ニシテ、權謀術數ヲ内ニセルノ姦雄ニクラフレハ實ニ是レ天地ノ差アリ、此詩、上二句ニ抑下二句揚、

李陵

王布聲

撮髮男兒重主恩。兵疲矢竭死無門。秋高若遇南來雁。休說漢

家李廣孫。

李陵カ匈奴ニ降りシヲ非ルナリ、撮髮ハ、結髮ト云カ如シ、男兒結髮從軍、主恩ヲ重
 ンズヘキニ、イカニ兵疲レ矢竭タリトテ、匈奴ニ降參シタルハ、死スルニ門ナシトコ
 ソ云ヘケレ、秋ニ入テモシ南、京師ヨリ來ル雁ノ使ニアフトモ、漢家ニ仕ヘシ李廣カ
 孫ジヤト云フナヨ、李廣ハ胡國ヲ征シテ、勇名ヲ轟シタル人ジヤ、ソノ孫ジヤト云テ
 ハ、李廣モ心外ニ思フコトナルヘシ、ト陵ヲ痛ク斥ケシナリ、漢書、李陵字ハ少卿、
 前將軍カ孫ナリ、善騎射。爲人謙遜下レ士。甚得ニ名譽。武帝以爲有廣之
 風。拜騎射都尉トアリ、シカルニ天漢二年、步卒五千人引キテ、匈奴ヲ征シ、戰
 敗レテ遂ニ降りシハ、司馬遷ノ疏辯モアレトモ、鄙怯ノ罪ハ洗ヒカタシ、惜イ人ナリ、
 此詩、第三ハ第一、第四ハ第二ニ應ス、南來雁、漢使ヲサスナリ、陵ノ降りシ後、漢
 使匈奴ニ至リテ、問答アリ、ソレヲサシテ云ルナリ、一朝主恩ニ肯キシハ、父祖ノ顔
 ヲゴシナリ、男兒タル者ハ、返ス〜モ主恩ヲ重ンスヘキニコソ、唐魏徵モ、人生
 貴ニ意氣。功名復何論ト云ルハ、コノ心也、

茂陵

何宗範

金掌仙人曉露空。茂陵桂樹起秋風。人間自有長生術。不到眞
 珠甲帳中。

漢武ノ長生ヲ求メシ愚ヲワラフナリ、仙人掌上ノ玉芙蓉、或ハ金莖ノ露一杯ナド云テ、
 仙人ノ掌上ニ、芙蓉ノ花ヲ一莖タテ、ソノ中ニ天上ノ露ヲ承ケ、ソレニ玉屑ヲ加ヘ
 テ飲ミ、長生ノ藥トシタレトモ、何ノ功モナカリシ故、空ト云、茂陵ハ武帝ノ陵ニテ、
 長生モ出來ス、七十六歳ニシテ茂陵ニ葬ラレ、一樹ノ桂花、秋風ヲ起スノアハレヲ殘
 スノミ、元來人間ニハ各長生ノ術アリ、他ニ求ムルニ及ハヌコトナリ、ミナソノ身ニ
 チヤント備ハツテアルナリ、故ニオノツカラト云、武帝ハ道具ズキニテ、天下ノ珍寶
 ヲ聚メテ、甲乙ノ帖ニカキツケラレタリトカヤ、シカルニコノ長生ノ藥バカリハ、
 眞珠ヲカザリシ甲帖ノ目錄ニミエサルハ、到來セサリシトミュ、ト言々笑ヲ含ム、妙、
 第一句ハ武帝ノ長生樂、而シテ其功空シク、第二句ハ武帝千歳ノ住所、而シテ秋風ヲ

起スノミ、第三句ハ人間別製ノ長生丸、而シテ武帝終ニ知ラス、第四句ハ武帝ノ藏目錄、而シテコロ一具ヲ闕ク、金掌眞珠、起結呼應、桂樹長生、亦暗應、帳ハ帖ト音通ユエ、借用セルナリ、

梅福

黃魯直

吳門不作南昌尉。上疏歸來朝市空。笑拂岩花問塵世。故人子是國師公。

梅福カ高節ヲ美スルナリ、福字ハ子眞、九江ノ人ナリ、南昌尉ニ補セラレシガ、上疏セントテ歸リ來レハ、王莽漢ヲ奪テ、朝市ステニ空シ、乃官ヲ抛チ、妻子ヲ棄テ、去テ姓ヲカヘテ吳市ノ門卒トナル、其故人劉向ハ、大儒ニシテ、其子、伋、賜、歆、歆字ハ子駿、好古博學、王莽ニ仕ヘテ、國師トナル、福、吳門ノ卒トナリテ、岡目八目デ、塵世ハイカニト問ヘハ、今ハ王莽ノ世デ、ソナタノ友人卯金ノ子、歆カ國師公トナツテキルト云、大儒名家ノ子デサヘ、カクノ如クナレハ、ソノ餘ハトフニ及ハス、

サテ、近頃奇怪ナルコトジャ、ト大笑セルサマナリ、一朝南昌尉トナリナカラ、王莽ノ政ヲ專ニスルヲミテ、忽然辞シ去テ、吳門ニ臥ス、笑拂岩花ユエンナリ、上疏セントテ歸來レハ、朝市ステニ空シ、名門ノ子マテモ、逆莽ニ諂ヒ事フル故ナリ、ア、氣節アレハ彼ノ如ク、氣節ナケレハ此ノ如シ、氣節ノ人ニ於ケル、豈重カラスヤ、舊本題ノ梅福カ下ニ、隱處ノ二字アリ、贅ナリ、削ル、

魏文王

杜牧之

蟪蛄寧與雪霜期。賢哲難教俗士知。可憐貞觀太平後。天且不留封德彝。

魏徵ノ太平ヲ致シ、ヲ美スルナリ、太宗即位ノ初、徵等ト語り、教化ニ及フ、徵ハ易イト云、封德ハカタイト云フ、後太平ヲ致シ、トキニ及テ、上云、徵、我ニ勸メテ仁義ヲ行ハシム、今ニシテソノ効ヲミル、惜イカナカノ封德彝ニミセシメザリシコトヲ、ト宣ヒキ、封ハ、貞觀元年ニステニ死セシ故ナリ、莊子ニ蟪蛄不知春秋トアツテ、

夏蟬ナリ、夏虫ハ三冬ノ雪ヲシラス、俗士ハ賢哲ノ謀ヲシラス、魏徴ハ賢哲ナリ、封
德彝ハ俗士ナリ、徴ハアツバレ貞觀ノ太平ヲ致シ、ニ、カノ封氏ハソレヲ見スシテ死
ニキ、今少クナガラヘタランニハ、必其失言ヲ悔ユヘキニトナリ、蟪蛄俗士、暗ニ封
ヲサシ、雪霜賢哲、暗ニ魏ニ比ス、シカルニ徴ハ暗紋、封ハ明示、明ヲ以テ暗ヲ照シ、
客ヲ以テ主ヲ明ニス、妙々、

驪山有感

李商隱

驪岫飛泉泛暖香。九龍呵護玉蓮房。平明每幸長生殿。不從金
輿唯壽王。

玄宗ノ禍源ヲ知ラサルヲ刺ルナリ、驪山ト云ヘキヲ、平仄ノ爲メ驪岫トカケリ、岫ハ
音シウ、山ノクキナリ、驪山ト云フ山ハ、熱海ノ温泉ニ似タル處ニテ、湯氣ノ香、全
山ニ滿々タリ、玄宗モコ、ニ離宮ヲオキテ、貴妃ヲ伴ヘテ行幸アリ、ソノ湯ハ、文瑤
密石ヲ以テ圍ヒ、中央ニ玉蓮房ヲ設ケ、龍首ノ口ヨリ湯出テ、蓮房ノ中ニ注ク、ソノ

メグラハ、湯池ニテ、蓮房ノ湯ニテ、口ヲソ、ギナトシタルナルヘシ、長生殿モソコ
ニ建テラレシ御殿ニテ、平明ニ毎度ミユキアリシカ、ソノ時ハ御兄弟ミナ御供アリシ
カトモ、只壽王斗ハ、御ナリナシ、ソノ故ハ、貴妃ハモト壽王ノ妃ナリシヲ、玄宗ミ
テ召サレシ故ナリ、是ソモノ、安祿山ノ禍源ナリトモシラテ、長生殿上ニ老子ノ御影
ヲカケテ、天長ク地久シクト長生ヲ祈リシコソ、ヲコノカギリナレトナリ、上二句ハ
長生殿ノ光景、下二句ハ禍乱發源ノ地、殊ニ長生壽王ノ文字、有意無意ノ妙アリ、玄
宗ハ長生ヲ祈テ、壽王ハ從ハス、自業トハイヒナガラ、縁喜ガワロイ、

龍池

同

龍池賜酒蔽雲屏。羯鼓聲高衆樂停。夜半宴歸宮漏永。薛王沈
醉壽王醒。

是モ前篇ト同意ナリ、龍池ハ昆明池ヲ云ナリ、昆明池上ニ御宴ヲ開キ、雲屏ヲタテメ
グラシテ貴妃ト羯鼓ヲ奏セサセ玉フトキハ、衆樂聲ヲトバメテ謹聽シケルトゾ、カク

テ夜フケマテ、遊興マシノテ、還御ナリケルガ、薛王ハ沈醉泥ノ如クナレトモ、壽王ハ一向ニ酒ヲメサレス、素面デマシマセハ、秋ノ夜モ中々ニ永ク、コノ永々シキ夜ヲウタヒ興シテ樂ミ玉フ方モアレハ、無念ノホムヲヲタテ、悶ヘ玉フ方モアリ、イカデカ天寶ノ亂オコラデヤムヘキヤ、龍池ニ雲屏、羯鼓ニ宮漏、サテ醒醉ノ二字ヲ出シテ、賜酒ノ字ヲ結フ、手法極テ密、

同

高蟾

何事金輿不再遊。翠髮丹臉豈勝愁。重門深鎖禁鐘後。月滿驪山宮樹秋。

驪山宮裡ノ淋シキヲ寫セルナリ、何事ノ二字、全篇ニカケテミルヘシ、滿目荒涼、スヘテ驚愕ノ外ナキナリ、徳川ノ亡フル、諸國大名ノ邸宅、一時ニ廢墟トナルヲミテ、カウモナリヌルトハ、夢ニモミサリシト故老云リ、玄宗ノ西蜀ニオチユキ給フ後モ、カ、ルサマナリシナルヘシ、コノ昆明池ハ、尤歌舞ノ地ニテアリナカラ、一朝西巡ア

ツテヨリ、再遊幸ナク、遊幸ナケレハ、翠髮丹臉ノ美人モ、君寵ヲ失テ愁涙ニタヘサルヘク、御門モ禁鐘ノ入相ヲ告クル後ハ、深ク戸サシテ、問來ルモノトテハ、秋ノミヤマノ月影ノミナリ、サテモ世ハ、カウモカハルモノカナト驚嘆セシユエ、何事ソト言起シ、也

馮道吟詩臺

趙秉文

易州山水甲天下。一日太寧如死灰。山意似羞人。識面雨昏丞相賦詩臺。

馮道ノ變節ヲ斥スルナリ、道ハ五代ノ世ニ出テ、四朝ニ歷事シ、長樂老ト自ラ號セリ、變節モ甚シト云ヘシ、カ、ル人面獸心ノモノ、イツクニ生レシソ、ト問ヘハ、天下第一ノ勝地、易州ノ太寧山ヨリ出ツト云フ、情ナイモノジャ、易州ノ山水ハ、天下ニ甲タルニ、一日コノ破廉耻ノ出ツル、其地ノ大耻辱ナレハ、太寧山モ顔色死灰ノ如ク、人ニミラル、ヲ耻カシクヤ思フラン、日々夜々馮道カ吟詩臺上ニハ、雨雲オホヒ

テ、晴ニモ雨フルトカヤ、ナンボウアハレナルコトナラスヤ、吟詩臺ハ、太寧山ニア
ルナルヘシ、故ニ先、山水ヨリ太寧ヲ生シ、太寧ヨリ山意ヲ生シ、山意ヨリ雨昏ヲ出
ス、舊本、題、馮道ガ上ニ、太寧ノ二字アリ、

過故縣

李岫

憲。宗。皇。帝。射。臺。高。氣。壓。蠻。江。萬。丈。濤。玉。輦。不。歸。巖。樹。冷。白。雲。深。
處。醉。蟠。桃。

憲宗ノ晩年ニ仙術ヲ好メルノ愚ヲ斥スルナリ、題ノ故縣ハ、故都ト云フカ如シ、ソコ
ニ射臺ヲツイテ、弓勢ヲ試ミラレシホトハ、王氣万丈、蠻江ヲ并呑スルノ概アリシニ、
晩年ユクリナク、神仙ニ迷ヒ、毒害ニアヒテ、玉輦カヘラス、巖樹凄冷、白雲日ニ鎖
ス、定テソノ迷ハ崩御ノ後マテモサメス、蟠桃トヤラ、碧桃トヤランノ仙藥ニ酔ヒチ
テ、オハスラントナリ、英主ノ愚ニ歸セルヲ寫サントテ、上二句ニ炎々ノ筆ヲ用テ、
憲宗ノ英邁ヲ描キ、下二句ニ突轉、涼々ノ筆ヲ用テ、憲宗ノ迷妄ヲ寫ス、大變化ノ作

ナリ、開口憲宗皇帝ト大書セル、最是春秋ノ筆法ヲ見ル、

鍾山

曾茶山

致。君。堯。舜。事。何。難。投。老。鍾。山。賦。考。槃。愁。殺。天。津。橋。上。客。杜。鵑。聲。
裡。兩。層。攢。

王荆公ノ相業成ラサリシヲ斥スルナリ、荆公ノ朝ニ出ツル、君ヲ堯舜ニ致サンノ志ア
リ、後、呂惠郷ニ陥ラレテ、鍾山寺ニ退キ、鍾山書院ヲタテ、考槃ノ詩ヲ賦シ、ソ
ノ志ヲ述フ、考槃ハ、老テ樂シムナリ、オモヘハ天津橋上ノ客、邵康節ハ、杜鵑ノ聲
ヲキ、テ、南人ノ出テ、天下ヲミダル由ヲ豫言セシガ、果シテソノ言ノ如ク、只君
ヲ堯舜ニ致サ、ルノミナラス、北宋ノ國脉ヲ縮メタルハ、荆公ナルヘケレハ、康節ノ
兩眉ヲ攢メシモ、故アルコトナリトナリ、我邦今日ニ行ハル、行政法律ハ、大カタ荆
公ノ粉本ヲ用ヒシモノナレハ、荆公モ一個ノ名相ナリ、只經濟ノ才アツテ、宰相ノ量
ナシ、相業ノ成ラサリシ所以ナリ、天津ハ初句ニ暗ニ應シ、杜鵑ハ次句ニ暗ニ應ス

讀史

蔡正甫

伯陽名迹世人知。太史成書未免譏。不是道家齊物我。豈容同傳着韓非。

史記老莊ノ傳ニ韓非ヲ附シタルニ一説ヲタテタルナリ、伯陽ハ老子ノ字、太史ハ司馬遷成書ハ史記ヲサス、書ヲ成ストヨムハ非シ、老莊ハ道家ナリ、物我ヲ同視スルニアラスンハ、ソノ傳ニ法家ノ韓非ハツクマジキトナリ、サレトモコノ一説ハ、立ツヘカラス、法家ハ道家ヨリ出ツ、故ニ附傳トシタル、是史公ノ見識ナリ、ソコヲホメテヤルヘキヲ、別ニケシカラヌ説ヲタテ、批難スルハ、作者ノ誤見ナリ、第一ハ第二ヲ生ミ、第三ハ第四ヲ生ム、是ソノ結構、

讀黃太史詩

鄭之德

晚唐詩似晚春景。姿媚有餘風骨輕。千載俄逢古疊洗。摩挲篆籀眼增明。

黃太史ノ復古ヲ美スルナリ、晚唐ノ詩ハ、晚春ノ景色ニ似テ、百花咲乱レテ美シケレトモ、風骨ハ輕薄ニテアダシクタクヨリナシ、イカデコノ風ヲ古ノツヨキニカヘス人モガナ、ト思フホトニ、黃太史出テ、ソノ作ヲ一變セラレタリ、之ヲタトヘハ、骨董ノ中ニ、一ノ古イ疊カメヤ洗コボシヲミイデ、イツノ頃ノ燒物カト高臺ナトヲミガイテミレハ、篆字籀字ナトノ古文字アラハレテ、イヨク其器ノ貴トキ處ノシラレテ、皆人ニ珍重ガラル、ガ如シトナリ、風調ノ蒼古ニシテ、骨格ノ豪健ナルヲ賞セシナリ、サレトモ蘇黃ノ詩ハ、宋詩ノ巨魁ニシテ、晚唐ノ風骨ヲ矯メントテノ作意ナルヘケレトモ、其實天下ノ惡詩ハ、蘇黃ノ二家ヨリ流出ツレハ、此論ソノ人ニ佞スト云ヘシ、且又作ガラモ、下二句ニ至テ、古イ燒物ヲタトヘニ出サントナラハ、晚唐ノ作ヲ、後世ノ新唐トウモノナドニタトヘテコソ云ヘキニ、晚春ノ景色ニタトヘテオキ、未ニ至テ古燒物ヲ俄ニトリ出ス、疎末ナル作法ナリ、

論詩

元遺山

曹劉坐嘯虎生風。四海無人爭兩雄。可惜并州劉越石。不教橫
槩建安中。

一曹二劉ハ、詩ノ三傑ナリト斷スルナリ、曹、名ハ植、字ハ子建、陳思王ニ封セラル、
魏武ノ子也、二劉、一、名ハ楨、字ハ公幹、一、名ハ琨、字ハ越石、并州刺史タリ、曹
植公幹ハ、ミナ建安中ノ詩傑ニシテ、坐嘯風生、コノ兩雄ニハ誰モ抗爭スルモノハナ
イゾ、カノ并州刺史ノ劉越石ヲシテ、今少シク早ク生レテ、建安中ニ槩ヲ横ヘテ詩ヲ
賦セシメハ、兩雄ニ一雄ヲ加ヘテ、天下ノ三傑ト稱セラルヘキニ、借イコトデアツタ
トナリ、虎嘯生風、兩雄橫槩、四海并州、ソノ用字ノ妥當穩健ヲ味フヘシ、

同

同

沉宋橫馳翰墨場。風流初不廢齊梁。論功若準平吳例。合著黃
金鑄子昂。

陳子昂ノ詩勳ヲ美スルナリ、沉宋陳ノ三子ハ、イツレモ初唐ノ大家ニシテ、沉、名ハ

佺期、宋、名ハ之間、一時翰墨場裡ニ馳驅シ、其体ハ齊梁ノ風アリ、サレトモ風流ノ
道ニハ、初ヨリ齊梁ガワロイノ、古風ガヨイノト云フコトハナイ、齊梁ニモヨキ處ア
リ、アシキ處モアルナリ、ソノアシキ處ヲステ、大雅ノ道ヲ開キシハ陳子昂ナリ、
故ニ昔、越王、吳ヲ平ケテカヘリ、其武勳ヲ賞シテ、范蠡ガ銅像ヲ鑄タリシト云フガ、
今コノ詩勳ヲ以テ、ソノ例ニナラハ、陳子昂ガ像ヲキテ、後世ニ傳ヘマホシキモノ
ゾトナリ、是ハ篤論ナルヘシ、文ヲ論スルニ武ヲ以テスル故ニ、橫馳、不廢、論功、
平吳、等ノ文字ヲ用ヒシナリ

讀易

同

揖讓干戈兩不知。巢居穴處各熙々。無端鑿破乾坤秘。禍始羲
皇一畫時。

人智ノ鑿ヲ惡ミテ作レル也、太古ノ民ハ、巢居穴處、揖讓ノ禮モシラネハ、干戈ノ法
モシラス、只ソノ處々ニ群居シテ、熙々トノドコカニクラシ、ナリ、シカルニ伏羲氏

天下ニ主タル、先一卦ヲ書シテ、是ハ天ジヤ、是ハ地ジヤト、人智ヲ以テ、ハシナクモ、天地ノ秘ヲ發キシヨリ、干戈モ起レハ、禍乱モ生セシトナリ、サレトモ巢居穴處ノ鳥獸ニモ、戦争ノヤムトキナケレハ、熙々ノ時ノミニアラス、サレハ易ノ一畫ハ、文明ノ曙光ニシテ、禍ハソノ弊ナリ、故ニ云、コノ作ハ、人智ノ鑿ヲニクミテ作レルナリト、

讀唐人愁詩戲作

同

天恐文人未盡才。常教零落在蒿萊。不爲千載離騷計。屈子何由澤畔來。

情理ヲ裏ムケニシテ作レルナリ、故ニ戲トコトワル、文人モト用ヒラレサルヨリ不朽ノ作モアルナリ、不朽ノ作ヲ得セシメンカ爲メニ、用ヒサルニハアラス、ソレヲウラムケニシテ、天、文人ノオヲ出シツクサヌカト氣ツカヒテ、ワザト貧賤ニ住セシムルナリ、ソノ一例ヲイハハ、天モシ離騷ト云千載ノ名著ヲ作ラシムルノ計ヲナサズンハ、

カノ屈子、イカデカ江澤ノホトリニサマヨヒ來ランヤトナリ、カヤウニコジツケテ作ルカ戲作ナリ、

又

我輩情鍾不自由。等閒白盡九分頭。此懷豈獨騷人事。三百篇中半是愁。

此モ人情ヲオチヤニシテ云ル故、戲作ナリ、トカク我輩ハ、晋ノ王衍ジヤナイガ、子煩惱デ、我ト我身ヲ束縛シ、アレガカワイ、コレガカワイト、イタヅラニ心ヲ勞スルホトニ、頭ノ髮モ、九分バカリハ白盡セリ、シカシ是ハ我等ゴトキ文人ノ身上バカリジヤアルマイゾヨ、今三百篇ノ詩ヲミルニ、大半ハ是レ同シク親子兄弟夫婦朋友ノ煩惱ヲ寫セルモノナレハ、子煩惱モ笑フヘキコトデアアルマイゾトナリ、情鍾ハ、鍾情トモ、鍾愛トモ書テ、子煩惱ノコトナリ、王衍、幼子ヲ喪ウテ、イタク悲シミケルヲ、山簡怪シミケレハ、衍云、聖人忘情、最下不及、情之所鍾、正在我輩ト云

ケレハ、簡モ爲メニ慟哭セリトゾ、其字面ヲ用ヒシナリ、

冬初雜詠

陸務觀

書。生。本。欲。輩。渭。莘。踏。躓。乃。去。爲。詩。人。囊。中。略。有。七。千。首。不。負。百。年。風。月。身。

書生ノ本意ヲ詠セシナリ、伊尹ハ有莘ノ野ヨリ出テ、太公望ハ渭水ノ濱ヨリ起リテ、皆帝王ノ師トナリ、相トナル、元來、書生ト云モノハ、カ、ルモノヲサシテ云ル詞也、後世ノ書生モ、ミナ各伊尹太公ノ如ク、立身報功ノ志ヲタテナカラ、トカク時ト運トノ幸不幸アツテ、踏躓トオチブレテ、ヤムヲエズ詩人トナルナリ、ワガ輩モ初カラ詩人トナラントハ夢サラ思ハサリシナリ、シカシ倒レテモ、タゞニハ起キヌゾ、今囊中ヲサグレバ、大略七千首位ハアル、ソノ作ハ、ミナ百年ノ後ニ傳フルニ足ルト思ヘハ、百年五百年ノ間ニ、詩人トヨバレ、風月主人トホメハヤサル、ニハ、耻カシカラジト自信スルナリ、是ガ書生ノセメテモノ閑事業ニシテ、イハユル達善ニ天下。窮善ニ

其身ト云モノジャ、ドウジャ、ソレニハ相違ハアルマイナ、ト放翁ノ氣焰萬丈、本是老書生ノ放言ニハアルヘカラス、本、乃、略、不負、ノ虚字、味フヘシ、ミナ眼目ナリ、

讀公孫弘傳

李過庭

古來好士數平津。我道眞龍未必眞。一箇仲舒容不得。不知開閣爲何人。

公孫弘ノ好士ソノ實ニ負クヲ斥スルナリ、公孫弘、武帝ニ用ラレテ、平津侯ニ封セラレ、丞相タル時、東閣トテ、東ノ小門ヨリ賢人ヲ引入レテアヒケルトソ、今ノ世マテニ、尊稱ニ閣下ト云ハ、閣下ノ誤ニテ、弘ヨリ始マリシナリ、古來賢士ヲ好ミシ宰相トイヘハ、先ツ平津侯ヲ數フレトモ、吾ハ、サハ思ハス、眞龍未必眞ノコトワリニテ、其名、實ニカナハスト云ヘケレ、ソノ故ハ、當時一人ノ大儒董仲舒、弘ヲ從諛トイヒシカハ、弘之ヲニクミテ上ニ奏シ、膠西王ノ相タラシメタルニアラスヤ、サレハ

カノ東閣ヲ開テ賢ヲ延キシトハ、イカナル人ゾヤ、カ、ル大儒ヲ容ル、コト能ハスシテ、開閣延賢ナト云ハ、アカイウソジヤトナリ、上一句ハ他説、次一句ハ自説、三四句ハ其弁證、許多ノ曲折アリ、

題三蘇帖

趙秉文

他年鴻雁各分飛。風雨蕭々有所思。猶記讀書懷遠驛。夜深燈火對牀時。

蘇子兄弟ノ友愛ヲ美スルナリ、東坡懷遠驛ニ滞在シケルトキ、韋蘇州カ何知風雨夜、復此對牀眠、ト云ル句ヲ吟シ、弟ノ子由ト語合ヒ、感慨胸ニミチケルサマニテ、モハヤ仕官ヲヤメテ、共々ニ隱居シテハイカバ、ト言出テタリトソ、サレハソノ後、子由ニ遣ハス詩ニモ、往々風雨對牀ノ語ヲ用ヒ、夜雨何時聽蕭瑟、ナトツクレリ、ソレヲ礎ニシテ、兄弟トモ蜀ノ眉山ヲ出テ、仕官ノ身トナリ、索居離群ハ、鴻雁ノ各分飛スルガ如ク、イツモ風雨蕭々ノ夜ニナレハ、對牀ノ時ヲ思出ツトイヘリ、サ

レハカノ、懷遠驛ニアリテ、子由ト別レケルトキ、古人ノ詩ヲ燈下ニ吟ジ、夜ノフク
ルマテ床ヲ對シテ物語シケルノ一事ハ、イツノマテモ記シテ忘レサル所ナルヘシ、
トカキツラネシナリ、二蘇ニ親ノ蘇洵ヲ加ヘテ三蘇トセル書帖ノアリシニ題セル故、
三蘇トハ云ルナルヘシ、洵ハ年二十一才ノトキ、眉山ノ程氏カ女ヲトリテ、二十八ノ
年ニ、仲子軾ヲ生ミ、三十一ノ年ニ季子轍ヲ生ミ、五十八才ニテ卒ス、時ニ軾ハ三十
一、轍ハ二十八ナリシ、ト年譜ニミュ、長子ハ早死シケルニヤ、ミエス、父子三人ト
モ名儒トナリタレハ、兄弟ノ間モ、話合ウテ、友愛一段厚カリシトミエタリ、吾謂ヘ
ラク、コノ作ヲ讀テ、友愛ノ情ヲ起サ、ルモノハ、イハユル悖德ノ人ニシテ、人倫ニ
アラス、

156
113

昭和七年七月二十日印刷
昭和七年七月二十五日發行

著者 黒本植
金澤市長町七番丁三番地

印刷者 林秀松
金澤市長土堀通廿二番地

印刷所 林兄弟印刷所
金澤市長土堀通廿二番地

發行所 稼堂叢書刊行會
金澤市下木多町三番丁九番地

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

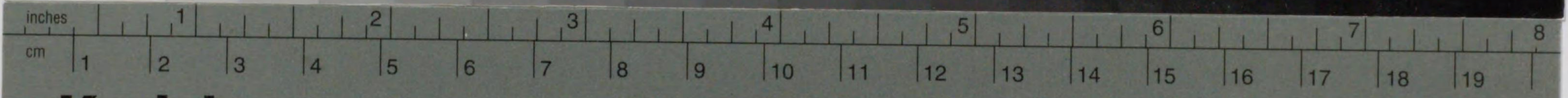
【第十七回配本】

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

